

<2024年度>

第7回理事会議案書

2024年 11月 19日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2024年度 第7回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 全構協 第1会議室

日 時：2024 年 11 月 19 日（火）
14：00～17：00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告（定款第36条）

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

第1号議案 電帳法事務処理規則の件 ----- [理 24-7-議 1] (p3-)

6. 報告事項

(1) 2025 年賀詞交歓会実施について ----- [理 24-7-報 1] (p7)

(2) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会 ----- [理 24-7-報 2①] (p8-)(別冊)

② 技術委員会 ----- [理 24-7-報 2②] (p15-)

③ 図面問題対応検討 WG ----- [理 24-7-報 2③] (p18)

④ 一次加工品質管理 WG ----- [理 24-7-報 2④] (p19-)

⑤ 外部団体との意見交換会対応 WG ----- [理 24-7-報 2⑤] (p23-)

⑥ 人づくり研修（研修実施概況） ----- [理 24-7-報 2⑥] (p25)

(3) 青年部との意見交換会について ----- [理 24-7-報 3] (別冊)

(4) 工場認定条件の保持状態の確認について ----- [理 24-7-報 4] (p26)

(5) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について ----- [理 24-7-報 5] (p27)

(6) その他（管理責任者等の届出について） ----- [理 24-7-報 6] (口頭)

7. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 24-7-他 1] (p29-)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 24-7-他 2] (p34)

(3) 2024 年度主要会議日程 ----- [理 24-7-他 3] (p35)

(4) 支部報告 ----- [理 24-7-他 4] (p36-)

8. 閉会の辞

以上

第1号議案 電帳法事務処理規則の件 [議案書 p3～5]

電帳法事務処理規則について、ご審議のうえ承認いただきたい。

電子取引情報の適正保存に関する事務処理規則

制定 2024 年 11 月 19 日

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 本規則は、電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法の特例に関する法律第 7 条に定められた電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存義務を履行するため、一般社団法人全国鐵構工業協会（以下「協会」という。）において行った電子取引の取引情報に係る電磁的記録を適正に保存するために必要な事項を定め、これに基づき保存することを目的とする。

(適用範囲)

第 2 条 本規則は、協会の全ての役員及び従業員（契約社員、パートタイマー及び派遣社員を含む。）に対して適用する。

(管理責任者)

第 3 条 本規則の管理責任者は、事務局長とする。

第 2 章 電子取引データの取扱い

(電子取引の範囲)

第 4 条 本規則に定める電子取引は以下の各号に定める取引とし、それに付随して発生する電磁的記録を、本規則においてデータという。

- (1) 電子メールを利用した請求書等の授受
- (2) クラウドサービスを利用した請求書等の授受
- (3) インターネット上で商品を購入した際の明細、領収書等の授受
- (4) クレジットカードの利用明細
- (5) EDI システム（インターネットバンキング等）を利用した取引の授受
- (6) その他上記各号に類する取引

(保存対象となるデータ)

第5条 保存するデータは以下のとおりとする。

- (1) 見積依頼情報
- (2) 見積回答情報
- (3) 確定注文情報
- (4) 注文請け情報
- (5) 納品情報
- (6) 契約情報
- (7) 支払関係情報
- (8) その他上記各号に類する情報

(データの保存)

第6条 前条に定めるデータについては、クラウド上の電子保存専用ソフトに法定保存期間である7年間保存する。但し、法令改定の場合はそれに従う。

(運用体制)

第7条 データの管理責任者及び処理責任者は以下のとおりとする。

- (1) 管理責任者 事務局長
- (2) 処理責任者 経理担当者

(訂正削除の原則禁止)

第8条 保存するデータの訂正及び削除は原則禁止とする。

(訂正削除を行う場合)

第9条 業務処理上やむを得ない理由によって保存するデータを訂正または削除する場合は、処理責任者は「取引情報訂正・削除申請書」に以下の内容を記載の上、管理責任者に申請する。

- (1) 申請日
- (2) 取引伝票番号
- (3) 取引件名
- (4) 取引先名
- (5) 訂正・削除日付
- (6) 訂正・削除内容
- (7) 訂正・削除理由
- (8) 処理責任者名

- 2 管理責任者が「取引情報訂正・削除」の申請を受けた場合は、正当な理由があると認める場合にのみ、申請を承認する。
- 3 管理責任者が前項において承認した場合は、処理責任者に対してデータの訂正または削除を指示する。
- 4 処理責任者がデータの訂正または削除を行った場合は、当該データに訂正・削除履歴がある旨の情報を付すと同時に「取引情報訂正・削除完了報告書」を作成の上、管理責任者に報告する。
- 5 「取引情報訂正・削除申請書」及び「取引情報訂正・削除完了報告書」は、対象となった取引データの保存期間が満了するまで、処理責任者が保存する。

附則

本規則は、2024 年 11 月 19 日に制定され、2024 年 1 月 1 日に遡って適用するものとする。

報 告 事 項

【理24-7-報1】

2025年新年賀詞交歓会〔1月17日（金）〕 当日のスケジュール（案）

1. 場 所 鉄鋼会館
〔東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10
TEL 03-3669-4856〕

2. 時 間 割

(1) 三 役 会	9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0	第一会議室（全構協）
(2) 理 事 会	1 1 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0	8 0 2 号室
(3) 全国理事長会	1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0	8 0 1 号室

〔次 第〕

〔進行：平井事務局長〕

② 会長挨拶 14 : 00-14 : 10

② 事業報告等 14 : 10-15 : 30
(各説明:5~10分)

〔
* 図面問題対応
* 運営委員会
* 技術委員会
* 各種研修会、講習会関連
* 特定技能外国人材
* 鉄骨技術者教育センター
* 全国鉄骨評価機構
〕

(4) 新年賀詞交歓会 1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0 9 0 1 号室

〔次 第〕

〔進行：総務部 滝本課長〕

① 会長挨拶 (一社)全国鐵構工業協会 会長 永 井 毅

② 来賓挨拶	参議院議員	佐藤 信秋 様
	参議院議員	足立 敏之 様
	経済産業省 製造産業局金属課長	鍋島 学 様
	国土交通省 住宅局 参事官	前田 亮 様

③ 乾 杯(一社)全国鐵構工業協会 副会長 大竹 良明

④ 中 締(一社)全国鐵構工業協会 副会長 板垣 昌之

以 上

2024 年度 第 3 回 運営委員会 議事要旨

1. 日時 2024 年 10 月 21 日（月）13:00-16:00（予定）
2. 場所 全構協 第 1 会議室
3. 出席者
委員会 妹尾委員長
猪股副委員長・松枝副委員長
高田・松田・川上・倭島・渡辺・原田各委員
※欠席／松尾委員
全構協 平井事務局長・大原総務部長・滝本
4. 議事次第
 - 1) 委員長挨拶
 - 2) 検討課題について
 - ・諮問事項のおさらい(追加等)
 - 今回下りてきた諮問を、カテゴリー別に分けて対応していく(委員長案)
 - 快適職場認定制度(仮称)については、チェックリスト作成までを今回の諮問回答とする。
 - ・諮問別の分科会(仮称)の設置
 - 分科会 1／快適職場認定制度(仮称)
メンバー：猪股リーダー・高田・松田・松尾
 - 分科会 2／共済制度(生命共済・損害保険)
メンバー：妹尾リーダー・渡辺・原田
 - 分科会 3／共済制度(指定塗料・鋸刃他)
メンバー：松枝リーダー・川上・倭島
 - ・各分科会(仮称)の今後のスケジュール
 - 分科会 1：11 月 18 日(月) 15:00- Web 会議
 - 分科会 2：11 月 11 日(月) 13:00- 岡山
 - 分科会 3：11 月 13 日(水) 14:00- 大阪
 - 3) 業績等調査について
 - ・進捗状況報告(調査〆切：10 月 25 日)
 - 当日時点の回答数(回答率)を報告、委員長より各委員へ回答率 70%達成に向けて協力を要請 ※10 月 27 日時点：有効回答数 1,411 件／回答率 65.4%

- ・生産トン数について(確認)

事務局より生産トン数(回答)の判断を確認。「0」と回答している場合は0トン、未回答(白紙)の場合は、該当県・該当グレードの平均生産トン数とする。

(未回答は除外すべきではとの意見有)

※東京組合に確認(10月23日)

未回答の場合／該当県・該当グレードの平均生産トン数でカウント

(最終的に報告する場合は「推定」を明記することが大事とのこと)

4) 人づくり研修について

- ・進捗状況報告

事務局から中国支部・北陸支部での実施内容、傍聴した各委員から報告を行った。

- ・来年度以降の研修開催について(人づくり研修WGと意見交換)

次回の運営委員会(来年1月開催予定)で人づくり研修での意見をまとめる。

人づくり研修WGと意見交換を行い(3月14日)次年度の研修計画を立てる。

5) 今後の進め方

分科会(3つ全て)は年内までに内容をまとめる(来年1月の委員会で中間報告)

→委員会の結果を基に次のステップに入る(3月まで)

→3月の委員会で最終報告

※次回の運営委員会は、2025年1月22日(水)14:00-(全構協で開催)

資料

- ・諮問回答の方策 …別紙
- ・快適職場に係る日建連基準 実施要領(日本建築業連合会) …別紙
- ・大阪組合共済事業カタログ:PDF …別冊

運営委員会

分科会設置について

- ・快適職場認定制度(仮)、人材教育と資格手当の連動、共済事業の充実の検討に向けて、3つの分科会を作り、進める

分科会 1 (仮)誰もが働きたい 鉄工所認定制度のチェックシート作成 快適職場をフォーマットとした 独自のチェックシート作成 離職率の低減 若年層への鉄骨業周知 機械化等の課題検討 業界の地位向上に向けた検討	※第一段階はチェックシートの作成 (令和 6～7 年度) ※第二段階でその運用を検討 (制度認証, 評価方法や周知方法、ロゴの制定等) (令和 7～8 年度)
分科会 2 共済の充実(保険に関する部分) ・ 福利厚生のあるべき姿の整理 ・ 全構協の提供する保険の整理 ・ 退職金や弔慰金の取扱い ・ 労災に関して準備すべき事	分科会 3 保険以外の共済事業の検討 ・ 現状の商品の評価 (ペンキの複数社化の是非) ・ 新たな商品の模索 (大阪府鉄構組合の成功事例)
個々のキャリアパスの構築 ・ CCUS の活用、レベル認定 ・ 資格取得と手当の関係 会社の健全性、持続性に関する事項 ・ BCP、SDGs、ISO の認証取得 ・ その他持つべき認証等の整理	※CCUS の対象となる職種を確認 ※必要な資格の洗い出しが必要 ※会社として持つべき、持てばよい認証の 洗い出しの実施

2023年度 共済事業に関する組合宛給付・還付金一覧
(2024年3月末時点)

一般社団法人 全国鐵構工業協会
(単位:千円)

入金時期	生命共済			指定塗料	鋸刃	オートリース	損害保険	共済事業	合計額
	制度運営費 2023.10/2024.03	配当金(組合分) 2023.08	新規加入奨励金 2024.03	販売協力費 2023.04	販売協力費 2023.04/2023.10	紹介手数料 2024.03	普及推進費 2024.03	販売奨励負担金 2024.03	
北海道	218	104		2,402	328		21	59	3,131
北海道支部	218	104	0	2,402	328	0	21	59	3,131
青森	184	94		348	93			39	758
岩手	506	220		692	212	22		103	1,755
宮城	80	48		112	94			22	357
秋田	155	98		496	81			34	863
山形	138	72	20	698	61		90	27	1,106
福島	138	80		824	70			30	1,143
東北支部	1,200	612	20	3,170	611	22	90	255	5,980
茨城	105	51		757	24			22	958
栃木	28	22		649	65			10	774
群馬	220	104		1,799	162		89	50	2,423
埼玉	100	61	20	679	60			22	943
千葉	101	52		419	166		14	26	778
東京	121	57		240	84			28	529
神奈川	31	14		304	47		187	9	592
新潟	286	131		912	159			62	1,549
山梨	310	146		56	31		21	58	622
長野	14	9		1,409	163			8	1,603
関東支部	1,315	645	20	7,225	961	0	311	293	10,772
富山	111	63		727	220	55		32	1,208
石川	257	121		749	103	44	12	51	1,337
福井	193	94		575	137			40	1,038
北陸支部	560	278	0	2,051	460	99	12	123	3,583
岐阜	84	46	20	1,139	139		2	19	1,448
静岡	157	82		641	75			31	987
愛知	277	158		1,025	431		39	71	2,001
三重	47	36		598	100		50	13	844
中部支部	565	322	20	3,403	745	0	91	135	5,280
滋賀	49	30		226	23			9	337
京都	103	51		194	21			19	388
大阪	477	234		1,578	184		28	93	2,596
兵庫	334	180		1,035	222		2	73	1,846
奈良	28	18		111	41			7	206
和歌山	58	26	40	58	75			14	270
近畿支部	1,048	539	40	3,203	567	0	30	216	5,643
鳥取	24	15		130	77		33	7	285
島根	16	10		137	42	22		5	233
岡山	296	104		260	89			56	804
広島	200	106		807	267			55	1,435
山口	115	68		145	124			26	478
中国支部	652	303	0	1,479	599	22	33	148	3,236
徳島	120	55		326	43			23	567
香川	63	34		355	55			16	523
愛媛	223	97		351	70			44	785
高知	189	97		249	46		7	34	620
四国支部	595	283	0	1,280	215	0	7	116	2,496
福岡	85	45		1,522	95		122	23	1,894
佐賀	16	10		171	28			5	230
長崎	62	29		358	16		168	12	646
熊本	20	8	60	659	211			18	977
大分	68	42	20	229	49		64	15	487
宮崎	119	42		355	96		14	29	655
鹿児島	20	11		490	86		40	10	657
沖縄	238	118		101	22			42	521
九州支部	629	305	80	3,886	603	0	408	155	6,067
合計	6,783	3,391	180	28,099	5,088	143	1,004	1,500	46,187
昨年度実績	6,890	3,267	520	26,530	5,321	88	975	1,200	44,683

(単位:千円)

					2024年度				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	昨年(3月時点)と比べて	4年前(3月時点)と比べて		
	2021年3月時点	2022年3月時点	2023年3月時点	2024年3月時点	10月時点	差額	%	差額	%
北海道	94,675	89,320	100,975	99,610	104,335	4,725	104.7%	9,660	110.2%
北海道支部	94,675	89,320	100,975	99,610	104,335	4,725	104.7%	9,660	110.2%
青 森	88,740	85,905	86,535	84,750	83,070	-1,680	98.0%	-5,670	93.6%
岩 手	274,590	259,185	243,960	222,855	224,010	1,155	100.5%	-50,580	81.6%
宮 城	40,335	40,650	39,730	37,205	35,945	-1,260	96.6%	-4,390	89.1%
秋 田	79,170	77,700	74,025	69,720	70,140	420	100.6%	-9,030	88.6%
山 形	65,715	63,510	64,350	65,085	63,825	-1,260	98.1%	-1,890	97.1%
福 島	107,645	75,930	66,370	63,425	61,535	-1,890	97.0%	-46,110	57.2%
東北支部	656,195	602,880	574,970	543,040	538,525	-4,515	99.2%	-117,670	82.1%
茨 城	37,845	37,635	47,925	49,080	48,450	-630	98.7%	10,605	128.0%
栃 木	13,860	14,385	13,650	11,445	6,720	-4,725	58.7%	-7,140	48.5%
群 馬	94,360	92,150	98,240	102,125	104,645	2,520	102.5%	10,285	110.9%
埼 玉	42,480	46,945	46,210	48,180	45,765	-2,415	95.0%	3,285	107.7%
千 葉	50,905	47,860	46,810	47,230	49,435	2,205	104.7%	-1,470	97.1%
東 京	53,810	54,440	53,180	57,485	56,435	-1,050	98.2%	2,625	104.9%
神奈川	13,140	13,140	14,505	14,505	14,295	-210	98.6%	1,155	108.8%
新 潟	138,010	133,390	129,295	131,710	130,345	-1,365	99.0%	-7,665	94.4%
山 梨	142,800	140,595	141,750	144,805	143,860	-945	99.3%	1,060	100.7%
長 野	7,770	6,405	6,405	6,300	5,565	-735	88.3%	-2,205	71.6%
関東支部	594,980	586,945	597,970	612,865	605,515	-7,350	98.8%	10,535	101.8%
富 山	54,705	53,445	62,385	48,630	45,480	-3,150	93.5%	-9,225	83.1%
石 川	132,675	131,100	119,970	115,140	108,315	-6,825	94.1%	-24,360	81.6%
福 井	95,270	91,700	89,735	87,320	88,055	735	100.8%	-7,215	92.4%
北陸支部	282,650	276,245	272,090	251,090	241,850	-9,240	96.3%	-40,800	85.6%
岐 阜	38,960	39,695	38,960	38,750	37,805	-945	97.6%	-1,155	97.0%
静 岡	65,250	75,870	78,425	67,600	72,970	5,370	107.9%	7,720	111.8%
愛 知	133,665	142,590	129,860	128,390	123,560	-4,830	96.2%	-10,105	92.4%
三 重	32,130	33,390	22,260	20,475	18,375	-2,100	89.7%	-13,755	57.2%
中部支部	270,005	291,545	269,505	255,215	252,710	-2,505	99.0%	-17,295	93.6%
滋 賀	27,615	26,775	26,460	20,580	21,105	525	102.6%	-6,510	76.4%
京 都	47,150	47,255	47,570	47,045	45,680	-1,365	97.1%	-1,470	96.9%
大 阪	247,525	235,525	220,405	215,820	219,300	3,480	101.6%	-28,225	88.6%
兵 庫	158,555	159,185	156,035	154,250	152,565	-1,685	98.9%	-5,990	96.2%
奈 良	13,240	14,920	14,080	12,715	13,450	735	105.8%	210	101.6%
和歌山	23,320	25,315	28,150	25,525	26,050	525	102.1%	2,730	111.7%
近畿支部	517,405	508,975	492,700	475,935	478,150	2,215	100.5%	-39,255	92.4%
鳥 取	11,760	12,285	12,915	11,025	10,815	-210	98.1%	-945	92.0%
島 根	8,085	8,085	7,770	8,400	9,450	1,050	112.5%	1,365	116.9%
岡 山	151,410	138,285	137,445	138,500	150,995	12,495	109.0%	-415	99.7%
広 島	100,840	93,585	91,590	89,910	87,180	-2,730	97.0%	-13,660	86.5%
山 口	56,290	55,555	55,975	51,775	50,200	-1,575	97.0%	-6,090	89.2%
中国支部	328,385	307,795	305,695	299,610	308,640	9,030	103.0%	-19,745	94.0%
徳 島	44,205	44,415	56,385	55,335	55,440	105	100.2%	11,235	125.4%
香 川	27,090	27,300	29,715	30,345	30,975	630	102.1%	3,885	114.3%
愛 媛	93,665	92,825	104,795	99,330	103,215	3,885	103.9%	9,550	110.2%
高 知	93,235	89,035	88,090	87,460	87,145	-315	99.6%	-6,090	93.5%
四国支部	258,195	253,575	278,985	272,470	276,775	4,305	101.6%	18,580	107.2%
福 岡	39,565	37,675	40,405	38,620	38,965	345	100.9%	-600	98.5%
佐 賀	8,610	8,505	7,875	7,245	7,035	-210	97.1%	-1,575	81.7%
長 崎	35,175	30,975	28,245	28,770	28,770	0	100.0%	-6,405	81.8%
熊 本	4,725	5,355	8,820	11,445	11,970	525	104.6%	7,245	253.3%
大 分	29,505	28,665	28,985	32,135	32,765	630	102.0%	3,260	111.0%
宮 崎	55,920	53,605	58,025	54,445	54,445	0	100.0%	-1,475	97.4%
鹿児島	19,425	17,640	9,135	9,765	10,815	1,050	110.8%	-8,610	55.7%
沖 縄	115,920	119,910	114,660	108,255	111,195	2,940	102.7%	-4,725	95.9%
九州支部	308,845	302,330	296,150	290,680	295,960	5,280	101.8%	-12,885	95.8%
都道府県計	3,311,335	3,219,610	3,189,040	3,100,515	3,102,460	1,945	100.1%	-208,875	93.7%
	331億円	321億円	318億円	310億円	310億円				単位(万円)

指定塗料 缶数実績推移 (直近5年間)

単位(缶)

	2020年度 年間実績	2021年度 年間実績	2022年度 年間実績	2023年度 年間実績	2023年度(前年度)				2024年度
					2022年度(3月時点)と比べて		4年前(3月時点)と比べて		2024年4-9月 実績(期中)
					差額	%	差額	%	
北海道	32,079	30,504	27,341	22,815	-4,526	83.4%	-9,264	71.1%	16,225
北海道支部	32,079	30,504	27,341	22,815	-4,526	83.4%	-9,264	71.1%	16,225
青森	4,612	3,599	3,958	5,423	1,465	137.0%	811	117.6%	2,990
岩手	6,937	7,498	7,880	7,253	-627	92.0%	316	104.6%	5,057
宮城	2,416	1,875	1,280	1,124	-156	87.8%	-1,292	46.5%	425
秋田	4,637	6,124	5,647	3,608	-2,039	63.9%	-1,029	77.8%	2,112
山形	3,404	4,070	7,941	8,294	353	104.4%	4,890	243.7%	4,601
福島	9,012	9,117	9,377	7,690	-1,687	82.0%	-1,322	85.3%	3,514
東北支部	31,018	32,283	36,083	33,392	-2,691	92.5%	2,374	107.7%	18,699
茨城	9,113	9,285	8,617	6,377	-2,240	74.0%	-2,736	70.0%	3,378
栃木	3,671	5,236	7,394	6,572	-822	88.9%	2,901	179.0%	1,278
群馬	16,016	18,476	20,477	15,179	-5,298	74.1%	-837	94.8%	6,835
埼玉	4,552	5,728	7,735	4,630	-3,105	59.9%	78	101.7%	3,233
千葉	4,226	4,077	4,772	4,501	-271	94.3%	275	106.5%	4,251
東京	2,627	1,880	2,734	2,764	30	101.1%	137	105.2%	1,196
神奈川	3,224	4,226	3,459	2,978	-481	86.1%	-246	92.4%	1,178
新潟	10,374	12,311	10,381	12,111	1,730	116.7%	1,737	116.7%	6,028
山梨	769	551	637	535	-102	84.0%	-234	69.6%	378
長野	8,861	11,787	16,046	12,330	-3,716	76.8%	3,469	139.1%	6,506
関東支部	63,433	73,557	82,252	67,977	-14,275	82.6%	4,544	107.2%	34,261
富山	5,414	7,646	8,281	5,638	-2,643	68.1%	224	104.1%	3,506
石川	7,107	10,862	8,528	7,359	-1,169	86.3%	252	103.5%	3,024
福井	5,768	5,620	6,544	6,846	302	104.6%	1,078	118.7%	3,976
北陸支部	18,289	24,128	23,353	19,843	-3,510	85.0%	1,554	108.5%	10,506
岐阜	12,080	10,900	12,963	12,423	-540	95.8%	343	102.8%	7,286
静岡	8,795	7,880	7,302	8,609	1,307	117.9%	-186	97.9%	4,881
愛知	7,567	7,793	11,667	12,192	525	104.5%	4,625	161.1%	5,946
三重	6,386	6,230	6,806	6,082	-724	89.4%	-304	95.2%	2,374
中部支部	34,828	32,803	38,738	39,306	568	101.5%	4,478	112.9%	20,487
滋賀	1,763	1,951	2,576	2,821	245	109.5%	1,058	160.0%	1,016
京都	3,204	3,200	2,209	1,287	-922	58.3%	-1,917	40.2%	572
大阪	17,201	20,208	17,969	21,375	3,406	119.0%	4,174	124.3%	10,948
兵庫	12,157	10,997	11,788	10,580	-1,208	89.8%	-1,577	87.0%	5,840
奈良	1,416	1,697	1,269	863	-406	68.0%	-553	60.9%	1,123
和歌山	1,063	644	658	903	245	137.2%	-160	84.9%	824
近畿支部	36,804	38,697	36,469	37,829	1,360	103.7%	1,025	102.8%	20,323
鳥取	849	1,075	1,481	1,308	-173	88.3%	459	154.1%	546
島根	1,353	1,144	1,564	1,202	-362	76.9%	-151	88.8%	711
岡山	1,100	1,573	2,956	3,510	554	118.7%	2,410	319.1%	1,612
広島	8,379	8,630	9,188	6,713	-2,475	73.1%	-1,666	80.1%	3,348
山口	1,597	1,700	1,646	2,193	547	133.2%	596	137.3%	1,680
中国支部	13,278	14,122	16,835	14,926	-1,909	88.7%	1,648	112.4%	7,897
徳島	4,284	3,304	3,713	4,315	602	116.2%	31	100.7%	2,275
香川	2,131	2,527	4,039	3,089	-950	76.5%	958	145.0%	987
愛媛	4,364	3,944	3,993	5,032	1,039	126.0%	668	115.3%	2,572
高知	2,948	2,860	2,829	2,811	-18	99.4%	-137	95.4%	949
四国支部	13,727	12,635	14,574	15,247	673	104.6%	1,520	111.1%	6,783
福岡	12,520	12,777	17,332	13,965	-3,367	80.6%	1,445	111.5%	7,176
佐賀	1,830	2,521	1,952	3,179	1,227	162.9%	1,349	173.7%	1,485
長崎	3,183	4,166	4,079	4,678	599	114.7%	1,495	147.0%	2,612
熊本	4,944	8,164	7,504	4,324	-3,180	57.6%	-620	87.5%	3,871
大分	1,659	1,935	2,603	3,959	1,356	152.1%	2,300	238.6%	1,964
宮崎	4,025	5,200	4,040	5,884	1,844	145.6%	1,859	146.2%	2,407
鹿児島	5,000	5,637	5,579	6,680	1,101	119.7%	1,680	133.6%	2,682
沖縄	1,319	1,238	1,149	1,102	-47	95.9%	-217	83.5%	556
九州支部	34,480	41,638	44,238	43,771	-467	98.9%	9,291	126.9%	22,753
都道府県計	277,936	300,367	319,883	295,106	-24,777	92.3%	17,170	106.2%	157,934

27万缶

30万缶

31万缶

29万缶

年間目標達成率/53%(達成基準/50%)

前年同期比/95%

〈 2024～2025 年度 〉

第 3 回 技術委員会 議事録案

1. 日 時 2024年10月23日（水）14：00～17：00

2. 場 所 全構協 第一会議室

3. 出席者 岩永委員長、西山副委員長

成澤、今泉、和田、佐野、山本、谷本、川野 各委員

Web 参加：船山副委員長

（事務局）平井、新村、瓜生、尾下、安藤

4. 議事次第

1) 委員長挨拶

2) 前回議事録の確認

第2回技術委員会議事録案

3) 技術委員会での検討事項について

①JASS6 及び関連指針の次期改定に向けて（建築学会への提出資料報告）

②溶接施工 WG 活動進捗

③鉄連/コラム溶接施工合理化委員会からの情報共有

④全構協/検査基準マニュアル 誤植への対応

4) その他

①機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討

②S 造化の推進（S 造シェア推進、SDG's 推進に向けた情報収集、関係先との連携）

③次回開催について

5) 委員長まとめ

5. 議事要旨

1) 委員長挨拶

岩永委員長より、JASS6 改定への対応など今までの課題に加え、新しい課題も出てきているので皆様のご協力を引き続きお願いしたい、と挨拶が行われた。

2) 第2回技術委員会議事録案の確認

事務局より前回の議事録案の報告があり、内容について了解された。

3) 技術委員会での検討事項について

①JASS6 及び関連指針の次期改定に向けて

- ・理事会での承認を経て建築学会へ9月に資料を提出、運営委員会の山田先生から依頼があったので山田先生限りで要望数をお伝えしたことを報告した。
- ・理事会に判断を伺うことにしていた「コラムのフランジ精度」の問題については、本来メーカー側の問題であるとの考え方で提案しないことになった。
- ・理事会にて、JASS6 に関する意見聴取をまとめた資料は、あくまでも要望段階の資料であり、全部が認められるものでもないことから、理事止まりとし、建築学会以外の外部には開示しないことになったことを報告した。

②溶接施工 WG 活動進捗

- ・昨年度成果の学会発表、今年度溶接施工試験について事務局より進捗報告がなされた。9 月に日伸鉄工で柱梁試験体を用いた溶接施工試験、および筑邦製作所（福岡）で平板継手試験体を用いた溶接施工試験を実施。今後、11 月に高松工業（北海道）で平板継手試験体を用いた溶接施工試験を実施する予定。関東地区での溶接施工試験はスケジュール調整中。
- ・機械試験の予定や実施時期、柱梁試験体の RG パラメーターの設定根拠、30kJ/cm 以下 450℃以下の条件は 40kJ/cm 以下 350℃以下の条件よりもパス数が多くなるがトータルの溶接時間は短縮できるのか、といった質問があった。

③鉄連/コラム溶接施工合理化委員会からの情報共有

- ・昨年、上記委員会より要望を受け全構協より溶接ワイヤのミルシートを提供した。先方より溶接ワイヤのミルシートの化学成分から降伏耐力、最大耐力を統計的に分析した結果を受領したので、事務局より結果報告がなされた。
- ・検討の目的、強度推定式の妥当性などについて質問があった。

④全構協/検査基準マニュアル 誤植への対応

- ・検査基準マニュアルの誤植及び JASS6 と異なる箇所について事務局より報告がなされた。
- ・赤字で表記した、単位や図に関する単純な誤植は修正案通りとする。
- ・検査基準マニュアルに記載されていない JASS6 検査基準（完全溶込溶接角部余盛高さ）は、マニュアルに追加する。
- ・検査基準マニュアルでは、アンダーカット・突合せ継手の食違いは告示の内容を記載しているが、告示を優先し現行通りとする。
- ・JASS6 検査基準にはない項目（ウェブの平坦度・仕口部の角度（相対差）・ラチス梁のせい・仕口の対角）は記載根拠がないので削除する。
- ・JASS6 検査基準のうち、オーバーラップ・ブレースガセットの長さおよびせい・鋼板壁の高さと長さ、については実務面での必要性が低いことを考慮し検査基準マニュアルには載せない。
- ・工作基準について、JASS6 の内容が記載されていない箇所があるので、上記の修正内容と合わせて事務局で再整理し、次回の技術委員会で報告する。

4) その他

執行部より技術委員会に検討を依頼された下記①、②の課題の経緯について事務局より報告がなされた。また、本テーマに対する課題意識、対応方針案について委員長より説明がなされた。

① 機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討

- ・今回の検討では時間と費用を勘案し、委員会内で生産性向上に関わるニーズを調べ、必要に応じて関係先にヒアリングを行うことを当面の活動方針として共有した。
- ・協議の中で出た意見は以下の通り。
 - ・加工機器や溶接機器に限らず管理や検査業務における DX の活用も考えられる。バーコードや QR コードは自動認識技術でありヒューマンエラーが起きずに入力

や手書きが不要なので製品や出来高管理の手間が省けるのではないかと。

- ・機械メーカーのマニュアルの外国語版を作って欲しい。大きな設備投資は足元の環境では難しい。個社の相談ではメーカーは動いてくれないが団体からの要請であれば影響が大きいと思われる。

- ・各支部で生産性向上を阻害している要因、困っていること、およびそれらへの対応・対策案などについてヒアリングし意見をとりまとめていただくことになった。ヒアリングに先立ち、事務局でその内容について整理を行う。

② S 造化の推進（S 造シェア推進、SDG's 推進に向けた情報収集、関係先との連携）

- ・上記の課題同様に、委員長より課題意識および対応方針案について説明がなされた。本課題は「技術委員会で深掘りすべき事」として捉ええると非常に難しい状況であると思われるので、鉄連との連携を中心に進めていくことを共有した。

- ・協議の中で出た意見は以下の通り。

- ・行政機関に S 造の PR を鉄連で行ったことがあるが、鉄連はその時の主管会社によって対応に温度差がある。

- ・本課題はファブ単独では難しいので鉄鋼メーカーの活動にのって一緒に進めていくことはできないか。

- ・木造とのコスト面や環境性能に関わる比較結果が欲しい、鉄連は各種のデータを保有しているのではないかと。

- ・今後技術委員会での協議を通して、鉄連への確認・要望事項を整理していく。

③ 次回開催について 12/17（火）15 時-17 時、Web 会議

5) 委員長まとめ

岩永委員長より、活発な意見交換が行われたことに対して謝意と今後の活動に対しての協力のお願いが述べられた。

以 上

図面問題対応検討WG 報告

1. 報告書 「ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令」(2分冊)

1. 契約編
2. 法令編(取扱注意)

2. 今後の進め方

(1) 1次説明会(説明者:全構協、対象者:支部) 12月～(個別調整)

(2) 2次説明会(説明者:各県組合、対象者:構成員) ～3月

各県組合での開催をお願いします

資料 (2次説明会までに全構協→各県組合に送付)

説明会出席者に2冊とも配布し説明

(欠席者には組合から2冊送付)

説明要領 ・内容説明

・見積条件書特記事項(一斉使用の協力要請)

(3) 構成員への周知徹底方法(話を聞くことで理解が深まる)

- ・2次説明会以降も、随時、組合の様々な場を使って説明してください
- ・青年部などの会合も活用
- ・運営委員が説明会開催のフォロー
- ・全構協HP(会員コーナー)に資料掲載

(4) 「見積条件書 特記事項」の一斉使用開始 2025年4月

(それ以前の使用は任意)

以上

〈 2024～2025 年度 〉

第 1 回 一次加工品質管理 WG 議事録 (案)

1. 日 時 2024年9月25日(水) 14:00～17:00
2. 場 所 全構協 第一会議室
3. 出席者 リーダー：岩永 特別参加 : 永井会長
(敬称略) メンバー：西山、上柿、金本 オブザーバー：全鉄評 高野社長
(事務局) 安藤、新村

4. 議事次第

資料 No.

- 1) 永井会長挨拶及び経緯説明
 - 2) WG リーダー及びメンバー紹介
 - ・ 2024 年度～ 2025 年度 WG 名簿 No. 1
 - 3) 一次加工品質管理 WG での検討事項について
 - ・ 一次加工品質管理 WG 発足の理事会資料 No. 2
 - 4) その他
 - ・ 次回開催について
 - 5) WG リーダーまとめ
- ### 5. 議事要旨

1) 永井会長挨拶及び経緯説明

永井会長より、ご参集いただいたメンバーへの謝意と岩永リーダーを中心として検討を進めて頂きたい旨の挨拶があった。これまでに準備会議にて議論してきた内容も確認頂き、一次加工の品質・精度が向上することによる生産性向上のメリットを Fab が享受できることを目的としてWGを立ち上げた経緯説明があった。

2) WG リーダー及びメンバー紹介

岩永リーダー及び各WGメンバーの自己紹介をして頂いた。学識者の先生方には全構協としての進め方を全構協メンバーで方針決定後に参加いただくこととさせて頂いている事及び全鉄評高野社長にはオブザーバーとして参加頂くことを報告した。

3) 一次加工品質管理 WG での検討事項について

資料 No. 2 に基づき事務局より本WGの設立の背景、目的、スケジュール案などについて説明した。岩永リーダーより本WGの意義について全構協内部での周知が先ずは必要であり、フローチャートなどを使った解りやすい説明書を作成するとの提案があった。

準備会議にて議論した内容について事務局より資料を配布し下記説明を行った。

- ・ 本WGで扱う「一次加工」は切断、孔あけ、開先加工、摩擦面処理を対象とし、溶接を伴う加工や曲げ加工は外注加工として範囲外とする。
- ・ 鉄骨製作工場の性能評価では、切断・孔あけなど溶接接合を伴わない加工のみを施した一次加工品は「購入品」扱いで運用されているが、現在は開先加工を含む溶接部に直接影響する一次加工が一般的になっている。
- ・ 技術指針(日本建築学会)によると、図面や仕様書を支給して行う一次加工は、購入ではなく外注と定義されており、発注者(鉄骨製作工場)は外注先に対する管理や指

導・教育が必要であることが記述されている。

- ・現状の一次加工の範囲であれば外注品として本来は受入検査が必要
- ・一次加工業者では検査がなされているかは不明。精度管理基準が提示されておらず検査を行っていないという情報もある。
- ・一次加工業者の品質管理体制の評価区分、項目の案を作成

上記内容を受けてWGメンバーで議論し今後の活動の進め方を下記内容とした。

① 全構成員に向けての一次加工に関するアンケートの実施

- ・アンケート案を10月4日までに事務局にて作成
- ・WGメンバーで確認、修正し、10月22日三役会に提示
- ・了承後理事会メール審議を経て全構成員へアンケート実施
- ・内容は答えやすい様にチェックボックス形式を主とし記述式は最小限とする。
- ・Google又はMicrosoftのアンケートソフトを活用

② 全構協の内部コンセンサスを得るための説明書の作成

- ・一次加工にフォーカスした場合分けのフローチャートなどを用いた説明書案を岩永リーダー及び事務局にて作成
- ・WGメンバーで確認、修正し10月22日三役会に提示を目標とする

③ 一次加工の精度管理基準の標準の作成

- ・事務局にてJASS6精度基準に一次加工管理基準欄を設けたフォーマットを準備
- ・次回以降のWGにて管理基準値の標準案を作成

④ 品質管理体制の評価対象、項目の検討

- ・準備会議の案を参考にWGにて次回以降検討
- ・概略案を作成後学識者2名にも参加をお願いすることとする。

4) その他

執行部とWGの役割分担について

- ・WGは具体的検討に注力し、執行部はWGからの提案、報告を受けて理事会への説明を行う。また、鉄建協など外部との連絡・協議は執行部が行う。

次回開催について 11/21(木) 10時～12時 @全構協第一会議室

5) WGリーダーまとめ

岩永リーダーより、本WGは結構ハードで盛沢山であるが皆様のご協力を是非お願いしたいとの挨拶をもって会議終了

以 上

一次加工品質管理 WG の設置目的と方向性について

1. 前書き

一次加工品質管理 WG の設置に伴い、各方面から何を主目的とした WG であるのか問い合わせを頂いている。

全構協理事役員が数多く入れ替わったのも相まって、これまでの経緯や目的が把握しにくい状況であることは否めない。又、設置に際し十分に趣旨説明ができたのかという疑問が残るところである。

ついては、当 WG がどのような経緯で何を目的としているのかをフロー図等を交えながら再度説明するものとする。

2. 経緯

(一次加工品に対する品質管理の検討 WG について より)

1) 背景

鉄骨製作は製作業態として専門化・分業化が進んでおり、一次加工は専門化が定着している。切断・孔あけのみならず開先加工や摩擦面処理などを含め一次加工業者で加工されることが増えてきており、溶接の品質や骨組全体の安全性に影響する事項も含まれるようになってきている。

鉄骨製作工場の性能評価では、切断・孔あけなど溶接接合を伴わない加工のみを施した一次加工品は「購入品」扱いで運用されており、具体的には、材料管理責任者が発注書及び納品書により適切に品質管理されていることを前提として審査している。

「購入品」扱いとした当時の専門業者の一次加工は、切断・孔あけのみが主流であったが、現在は開先加工、摩擦面処理を含む接合部の性能に直接影響する一次加工が一般的になった。

技術指針（日本建築学会）によると、図面や仕様書を支給して行う一次加工は、購入ではなく外注と定義されており、発注者（鉄骨製作工場）は外注先に対する管理や指導・教育が必要であることが記述されている。

一次加工は、鉄骨骨組の安全性に関わる重要な工程であり、特に接合部の品質管理については溶接やボルト接合の品質に直結する最も重要な管理項目であるので、製作実態の変化に伴い、一次加工の品質管理の在り方について再検討する必要がある。

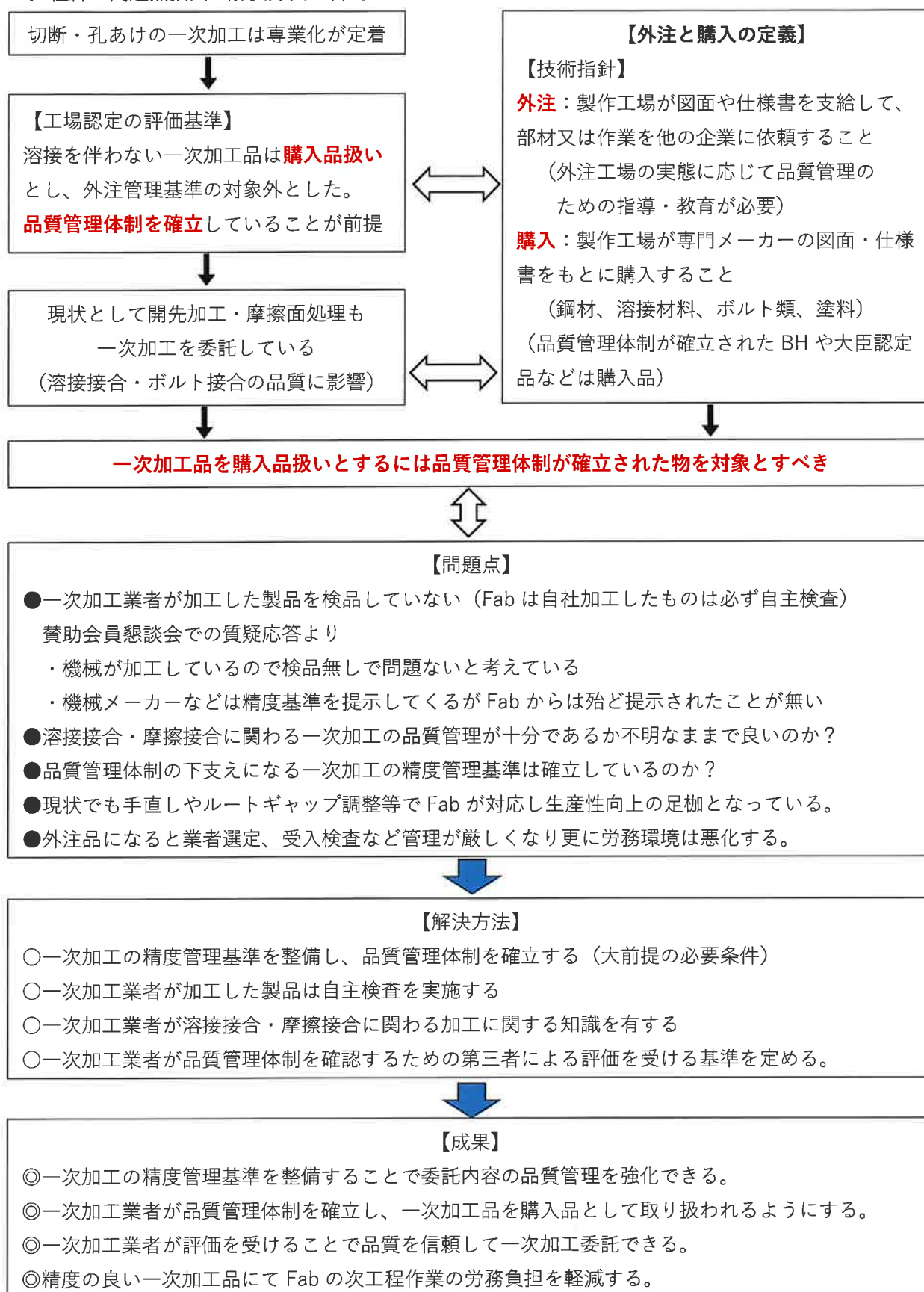
2) 目的

鋼材（素管材を含む）切断、孔あけ、開先加工、摩擦面処理などの一次加工の契約状況及び製作実態を把握し、必要に応じ品質管理のあり方について必要な対策を検討する。

一次加工業者が必要な品質管理をできる体制であることを確認する方法を検討し、鉄骨製作業界として生産効率を上げ、働き方改革にも繋がる活動とする。

以上の背景と目的を踏まえ、WG としての経緯確認と目的を 3. においてフローを利用し説明する。

3. 経緯と問題点抽出・解決方法・目的のフロー



「外部団体との意見交換会対応」WG の活動について（案）

1. まえがき

中国支部、四国支部、九州支部連名で JSCA 等との意見交換会の開催要望が出された。

現状、各県と JSCA 地区会との意見交換会は数多く実施されているものと認識しております。しかしながら、全構協も大きな問題として WG を設置し対応されています「図面承認の遅れ」に対しては、一地方の意見交換会では解決の糸口から程遠いものと考えております。

その中で、図面問題の技術的側面である納まりや図面整合性や欲しい矩計・仕様等を設計者に要望するにあたり、JSCA を始め、設計者団体・元請団体等の中央組織と大学教授等学識経験者を交え全国鐵構工業協会主催で産・学の意見交換会を開催できないでしょうか。

時期的にも、今回の JASS6 改訂の時期に差し掛かっており、意見交換会開催の好機ではないかと思われ、かつこの意見交換会を基礎に、将来的には発注者側である官にも働きかけることが可能となるのではないかと考えます。図面の承認遅延問題の解決の一助となればと考える次第です。

（要望書抜粋）

上記要望をもとに WG 設置（委員長；登尾理事）が承認された。その後の関係者の協議をもとに、本 WG の活動内容をあらためて下記のように整理する。

2. 活動の目的

各地区で行っている外部団体との意見交換会の実態を調査し、好事例の横展開を図ることで支部・組合の活動の活性化につなげる。また、設計者団体・元請団体等の外部団体との意見交換会を行い、図面問題の技術的側面を中心に要望を伝え現状の改善を図る。

3. WG メンバー（敬称略）

WG リーダー	登尾鉄工(株)	登尾 昌弘	Hグレート	四国支部長
メンバー（東北/岩手）	(株)カガヤ	川村 義和	Hグレート	東北支部
メンバー（関東/群馬）	(株)鐵建	長谷川 泰大	Hグレート	関東支部
メンバー（九州/熊本）	明和工業(株)	原 一博	Hグレート	九州支部

4. 活動の内容

- ① 各支部の意見交換会の実態調査、結果整理
(状況に応じて) 活動の活発な支部の背景・歴史、具体的な取り組みなどをヒアリング
(状況に応じて) 優れた事例を他へ横展開
- ② 設計者団体・元請団体等の外部団体との意見交換
意見交換先、説明・要望事項などの整理（各地域で情報、要請の足りない点を中央組織につなぐ）
意見交換、(必要に応じて) 学識経験者に入ってください

5. 今後の進め方

2024 年度；

- ① 各支部の意見交換会の調査、好事例横展開
 - ・ WG 発足、活動内容検討 2024.11～12 月
 - ・ WG 内での課題、活動内容（意見交換会）の共有 2024.12～2025.1 月

- ・ 調査項目整理、調査、結果整理 2025.2～4,5 月頃
- 2025 年度；
- ② 設計者団体・元請団体等の外部団体との意見交換
 - ・ 意見交換先、説明・要望事項整理 2025.上期
 - ・ 意見交換および対応整理 2025.下期

以上

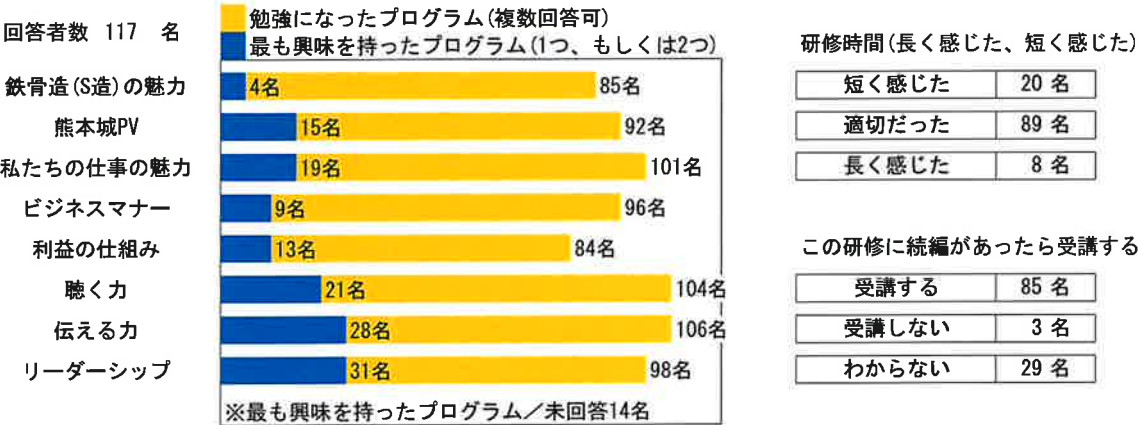
人づくり研修 事後アンケート

5支部合計

※2024年11月19日時点

年代別		グレード別		役職別		鉄骨経験年数	
						5年未満	30名
20代	31名	S	5名	役員	11名	5年以上10年未満	34名
30代	62名	H	54名	管理職	51名	10年以上	52名
40代	23名	M	49名	なし	55名	未回答	1名
50代	1名	R	4名	役員…取締役・常務・専務			
		J	1名	管理職…工場長・副工場長・掛長・係長・主任・職長			
		未認定	4名	なし…未回答含む			

受講者合計	117名
中国支部	28名
北陸支部	20名
北海道支部	27名
東北支部	21名
九州支部	21名



続編があったらどのようなことを学びたいか?(記述式)

今回の研修内容の深掘りをしたい、人材育成、後輩への叱り方、溶接技術、経営コミュニケーション力、検査、マインドを維持する秘訣、テーブルマナー
業務上で起こったことへの対応(事例)、業界の課題・今後の動向、目上の人との関わり方
施工・管理、マーケティング、人間力の高め方、限界の超え方
経営側と社員との溝を埋める方法、時代に合った働き方、作業効率
安全、部下・後輩への指導、人間関係、アンガーマネジメント
パワハラ・モラハラ対策、課長職以上の研修、社会人としてのマナー
鉄骨製作工場における5S、部署のまとめ方、人生の楽しみ方
仕事と趣味の両立、メンタルヘルスケア、交渉術(社内・社外)

※特にありません…19件

配下にスタッフがいるか? 同僚・部下にもこの研修を勧めるか?

スタッフがいる	79名	勧める	105名
スタッフはいない	36名	勧めない	4名
未回答	1名	わからない	7名
		未回答	1名

この研修の改善点は?(記述式)

具体的な事例を紹介して欲しかった、時間を短く(長く)して欲しい
途中でグループ(メンバー)を変えても良かった、上長にコメントをもらうのは気まずい
質問する時間を設けて欲しかった、もう少しラフな場所で受講したい
視察で来ている人(理事・委員)の意見も聞いてみたかった、内容のレベルを上げて良かった
もっと深く学びたかった、話が脱線しやすい
過去の受講者のその後の経過(成長過程)を紹介して欲しい、発表を無くして欲しい

※特にありません…70件

全体と通しての感想(記述式/抜粋)

講師の話の進め方・盛り上げ方が上手かった
似たような課題を持っている人が多かった
今後の仕事に活かしていきたい
自分の人生がこれから変わる!という気持ちになった
同年代の人の色々な意見を聞くことができて良かった
モチベーションが上がるPVがあるのは良かった
普段使っている言葉がビジネスマナー的にはほとんど間違っていることに気付いた
自分の考え方を見つめ直すことができて良かった
自身のモチベーションが低いことを実感した
自分に足りないものが見えた
ファブ同士の交流もできて有意義な時間を過ごすことができた
受講する前は緊張と面倒なイメージがあったが、終わってみると充実した2日間だった
信頼される上司になりたいと思った
この講習のおかげで考えることが楽しくなった

工場認定条件の保持状況確認結果

2024.10.21

	都道府県	認定工場数	回答数	未回答数	回答率	体制変更有り		報告書未提出		資格者一覧未作成	
						工場数	比率	工場数	比率	工場数	比率
	合計	503	501	2	99.6%	197	39%	36	7%	34	7%
	(昨年度)	360	360	0	100.0%	108	30	20	6%	52	14%
1	北海道	18	18	0	100.0%	9	50%	0	0%	2	11%
2	青森	8	8	0	100.0%	4	50%	0	0%	1	13%
3	岩手	6	6	0	100.0%	3	50%	0	0%	0	0%
4	宮城	7	6	1	85.7%	2	33%	2	33%	0	0%
5	秋田	4	4	0	100.0%	4	100%	1	25%	1	25%
6	山形	4	4	0	100.0%	1	25%	1	25%	0	0%
7	福島	14	14	0	100.0%	4	29%	2	14%	0	0%
8	茨城	9	9	0	100.0%	7	78%	0	0%	0	0%
9	栃木	17	16	1	94.1%	5	31%	1	6%	0	0%
10	群馬	12	12	0	100.0%	6	50%	1	8%	0	0%
11	埼玉	9	9	0	100.0%	2	22%	0	0%	0	0%
12	千葉	22	22	0	100.0%	6	27%	1	5%	3	14%
13	東京	12	12	0	100.0%	5	42%	0	0%	0	0%
14	神奈川	13	13	0	100.0%	5	38%	4	31%	4	31%
15	新潟	18	18	0	100.0%	3	17%	0	0%	0	0%
16	富山	7	7	0	100.0%	3	43%	0	0%	0	0%
17	石川	5	5	0	100.0%	2	40%	1	20%	0	0%
18	福井	12	12	0	100.0%	2	17%	0	0%	0	0%
19	山梨	6	6	0	100.0%	2	33%	1	17%	0	0%
20	長野	11	11	0	100.0%	1	9%	1	9%	0	0%
21	岐阜	22	22	0	100.0%	4	18%	1	5%	1	5%
22	静岡	25	25	0	100.0%	12	48%	1	4%	0	0%
23	愛知	24	24	0	100.0%	7	29%	0	0%	5	21%
24	三重	15	15	0	100.0%	5	33%	1	7%	4	27%
25	滋賀	6	6	0	100.0%	4	67%	0	0%	0	0%
26	京都	11	11	0	100.0%	4	36%	1	9%	1	9%
27	大阪	27	27	0	100.0%	13	48%	7	26%	4	15%
28	兵庫	16	16	0	100.0%	7	44%	4	25%	0	0%
29	奈良	13	13	0	100.0%	5	38%	0	0%	2	15%
30	和歌山	9	9	0	100.0%	4	44%	0	0%	0	0%
31	鳥取	3	3	0	100.0%	2	67%	0	0%	0	0%
32	島根	2	2	0	100.0%	0	0%	0	0%	0	0%
33	岡山	7	7	0	100.0%	1	14%	0	0%	0	0%
34	広島	21	21	0	100.0%	13	62%	0	0%	0	0%
35	山口	11	11	0	100.0%	3	27%	0	0%	0	0%
36	徳島	7	7	0	100.0%	3	43%	1	14%	0	0%
37	香川	6	6	0	100.0%	2	33%	0	0%	0	0%
38	愛媛	6	6	0	100.0%	2	33%	0	0%	0	0%
39	高知	5	5	0	100.0%	2	40%	0	0%	0	0%
40	福岡	12	12	0	100.0%	6	50%	3	25%	2	17%
41	佐賀	6	6	0	100.0%	1	17%	0	0%	0	0%
42	長崎	9	9	0	100.0%	5	56%	0	0%	1	11%
43	熊本	8	8	0	100.0%	5	63%	0	0%	0	0%
44	大分	2	2	0	100.0%	1	50%	0	0%	0	0%
45	宮崎	3	3	0	100.0%	1	33%	0	0%	0	0%
46	鹿児島	10	10	0	100.0%	7	70%	1	10%	3	30%
47	沖縄	3	3	0	100.0%	2	67%	0	0%	0	0%

複数の県は斜体太字

正会員に対して、報告書未提出の構成員会社には資格者の充足状況の確認と
速やかな処置の実行、性能評価機関への報告書の提出の指導をお願い

代表理事等の業務執行状況報告

一般社団法人法第91条第2項及び定款第24条第6項に基づき、2024年度4月から現在までの業務施行状況について、下記のとおり報告します。なお、各事項の詳細内容については、2024年度第1回から第7回までの理事会において説明・報告済であるため、本報告は、項目の報告のみといたします。

	代表理事	業務執行 理事(専)
1. 協会の運営全般に関する事項		
(1) 通常総会の開催・運営、参加 第57回通常総会(2024年 6月 14日開催)	◎	◎
(2) 理事会の開催・運営		
・ 第1回理事会(2024年 5月21日開催)	◎	◎
・ 第2回理事会(2024年 6月14日開催)	◎	◎
・ 第3回理事会(2024年 6月14日開催)	◎	◎
・ 第4回理事会(2024年 7月 9日開催)	◎	◎
・ 第5回理事会(2024年 8月27日開催)	◎	◎
・ 第6回理事会(2024年 9月24日開催)	◎	◎
・ 第7回理事会(2024年 11月19日開催)	◎	◎
(3) 委員会の開催・運営、参加		
・ 運営委員会 8月 8日	◎	◎
<特別委員会、WG等>		
・ 人材育成委員会 4月 16日		◎
(人づくり研修WG) 4月 8日～8月 6日 全 5回		◎
・ 一次加工品質管理WG 9月 25日	◎	
・ 図面問題対応検討WG 6月 5日～9月 25日 全 5回		◎
(4) その他会議等の開催・運営、参加		
・ 三役会 4月 11日～11月19日 全13回	◎	◎
・ 全国事務局長会議 4月 11日	◎	◎
・ 青年部 総会 4月 20日	◎	◎
・ 鉄骨技術審議会 8月 21日	◎	◎
(5) 2023年度事業報告及び決算報告とりまとめ	◎	◎
(6) 業務監査対応 4月26日		◎
2. 会員に対する協会運営方針等の説明・周知及び 会員意見の聴取		
(1) 各県組合総会、各県組合周年行事及び支部会等への出席及び意見交換	◎	◎
<各県総会等> 山形 5月15日 愛知 5月16日 北海道 5月17日		
香川 5月23日 大阪 5月24日 兵庫 5月24日		
岡山 5月28日 三重 5月30日 福島 5月30日		
<各支部会> 東北支部 6月 5日 九州支部 6月 7日 関東支部 10月 24日		
<各県周年行事> 岡山 5月28日 岩手 10月10日 大分 10月29日		
(2) 賛助会員との懇談会		
・ 賛助会員35社(団体) 9月24日	◎	◎
3. 陳情活動等		
(1) 共同陳情活動への参加 7月 17日～8月22日	◎	◎
4. 経産省との協議		
(1) 経産省団体ヒアリング 10月 25日		◎
5. 対外活動及び他団体との連携強化		
(1) 評価機構		
○ 総会 6月14日	◎	
(2) 鉄骨製作支援協議会-運営会議 6月 18日	◎	◎
(3) 図面問題要望活動(国交省、中小企業庁、日建連、全建、JSCA) 4月 22日	◎	◎
(4) その他団体等		
○ 日本非破壊検査工業会 総会 6月 10日		◎
○ 日本溶接協会 総会 6月 12日		◎
○ 日本建築構造技術者協会[JSCA] 総会 6月 18日	◎	◎
○ 全国鐵構工業企業年金基金 代議員会 7月 24日		◎

○代表理事＝永井会長

○業務執行理事(専)=小貫専務理事

その他の定例報告事項

【理24-7-他1】

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和6年3月31日現在 (令和5年度増減数)		21	42	2,151
令和6年5月21日 第1回理事会	3月31日	(0)	(9)	2,151
令和6年6月14日 第2回理事会	6月7日	7	6	2,152
令和6年6月14日 第3回理事会	—	—	—	—
令和6年7月9日 第4回理事会	7月3日	3	2	2,153
令和6年8月27日 第5回理事会	8月21日	5	4	2,154
令和6年9月24日 第6回理事会	9月17日	2	0	2,156
令和6年11月19日 第7回理事会	11月13日	2	5	2,153
累 計		19	17	2,153

《グレード別内訳》

S : 8

H : 293

M : 805

R : 557

J : 39

未 : 451

合計 : 2,153

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和6年11月13日現在

区分	登録・取消 承認	増 減									増減差	増 減 後 構 成 員 数
		登録 社数	取消社数									
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	そ の 他	合 計			
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538	
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395	
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260	
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200	
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171	
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158	
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169	
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172	
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201	
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208	
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199	
令和2年度合計		32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197	
令和3年度合計		27	1	10	7	1	0	11	30	-3	2,194	
令和4年度合計		24	1	14	9	3	0	19	46	-22	2,172	
令和5年度合計		21	1	10	4	1	0	26	42	-21	2,151	
令和 6 年 度	第 2 回 (6月7日)	7	0	3	1	0	0	2	6	1	2,152	
	第 3 回 (一)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	第 4 回 (7月3日)	3	0	2	0	0	0	0	2	1	2,153	
	第 5 回 (8月21日)	5	0	3	0	0	1	0	4	1	2,154	
	第 6 回 (9月17日)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2,156	
	第 7 回 (11月13日)	2	0	1	2	0	0	2	5	-3	2,153	
	第 8 回 (月 日)											
	第 9 回 (月 日)											
	第 10 回 (月 日)											
	年度末処理											
	6年度計	19	0	9	3	0	1	4	17	2	2,153	
累 計		1,127	502	716	553	131	80	1,213	3,195	-2,068	2,153	

1. 転・廃業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	転業 0社	転業 2社	転業 4社	転業 0社	転業 0社
	廃業 12社	廃業 8社	廃業 10社	廃業 10社	廃業 9社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
令和3年度	0	2	5	6	0	17	30
令和4年度	0	1	5	7	2	31	46
令和5年度	0	1	11	4	1	25	42
令和6年度	0	0	0	6	0	11	17

構成員登録社数・増減一覽表

(R6. 9. 18~R6. 11. 13)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	76			0	76
	青森	36			0	36
	岩手	31			0	31
	宮城	39		1	-1	38
	秋田	23			0	23
	山形	27			0	27
	福島	60			0	60
関東	茨城	60	1		1	61
	栃木	50			0	50
	群馬	67			0	67
	埼玉	49			0	49
	千葉	56			0	56
	東京	48			0	48
	神奈川	43			0	43
	新潟	84			0	84
	山梨	29			0	29
	長野	63			0	63
	富山	38		1	-1	37
北陸	石川	32			0	32
	福井	42			0	42
	岐阜	72			0	72
中部	静岡	88			0	88
	愛知	125	1	1	0	125
	三重	60			0	60

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	30			0	30
	京都	47			0	47
	大阪	107			0	107
	兵庫	77			0	77
	奈良	35			0	35
中国	和歌山	36		1	-1	35
	鳥取	15			0	15
	島根	22			0	22
	岡山	34			0	34
	広島	80			0	80
四国	山口	37			0	37
	徳島	25			0	25
	香川	45			0	45
	愛媛	40			0	40
	高知	22			0	22
九州	福岡	50			0	50
	佐賀	24			0	24
	長崎	18			0	18
	熊本	26			0	26
	大分	20			0	20
合計	宮崎	25			0	25
	鹿児島	28			0	28
	沖縄	15		1	-1	14
	合 計	2,156	2	5	-3	2,153

(5 社)

[illegible]

【理24-7-他2】

着工面積と鉄骨推定所要量推移 (国土交通省建築着工統計速報による)

2024年11月5日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年 同期比	面積	前年 同期比	面積	前年 同期比	トン数	前年 同期比
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度計		122,466	107.3	45,580	113.3	1,966	104.7	4,656,300	113.1
2022(令和4)年度計		118,676	96.9	41,946	92.0	2,375	120.8	4,313,350	92.6
20 令和 3年度 ～	4月	10,298	91.5	3,912	97.0	158	53.7	399,100	95.5
	5月	8,994	92.7	2,874	84.2	150	49.8	294,900	82.7
	6月	9,177	83.1	2,993	70.5	222	170.8	310,400	72.0
	7月	9,261	82.3	3,137	72.1	218	88.6	324,600	72.6
	8月	9,311	89.4	2,905	83.0	160	126.0	298,500	83.7
	9月	9,200	95.0	3,201	99.5	104	140.5	325,300	100.0
	10月	10,859	109.7	4,015	116.3	161	75.2	409,550	115.1
	11月	8,513	89.0	2,774	80.3	79	49.4	281,350	79.6
	12月	8,712	97.2	3,206	100.6	82	57.3	324,700	99.7
	1月	7,954	85.7	3,175	106.2	64	15.9	320,700	100.5
	2月	7,779	86.3	2,972	86.6	55	94.8	299,950	86.7
	3月	8,256	96.0	3,173	118.8	81	36.0	321,350	115.4
	年度計	108,314	91.3	38,337	91.4	1,534	64.6	3,910,400	90.7
20 令和 4年度 ～	4月	10,095	98.0	3,799	97.1	154	97.5	387,600	97.1
	5月	8,353	92.9	2,756	95.9	135	90.0	282,350	95.7
	6月	8,811	96.0	3,138	104.8	98	44.1	318,700	102.7
	7月	8,726	94.2	3,216	102.5	49	22.5	324,050	99.8
	8月	8,295	89.1	2,734	94.1	204	127.5	283,600	95.0
	9月	8,901	96.8	3,279	102.4	30	28.8	329,400	101.3
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計	53,181	94.6	18,922	99.5	670	66.2	1,925,700	98.6

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

2024(令和6)年度主要會議日程表

[illegible]

2024.9.24 現在

□ → 夏期・年末年始休日

↓土目・祝目

 → 振替休日

◇ → 休日出勤

開催年月日		三役会	理事会	総会	全国理事長会 事務局長会	委員会	その他	備考
2024 年 (令和6年)	4 月 11 日	木	12:00		15:00 ※		16:30 懇親会	※全国事務局長会議
	5 月 14 日	火	14:00					12:00 全鉄評取締役会
	5 月 21 日	火	10:30	14:00 ※				※決算・事業報告・総会招集
	6 月 14 日	金	9:30	11:30	15:00		17:00 懇親会	14:00 全鉄評株主総会
	7 月 2 日	火	14:00					
	7 月 9 日	火	10:30	14:00				
	8 月 20 日	火	14:00					
	8 月 21 日	水					11:30 技術審議会	
	8 月 27 日	火	11:00	12:00				
	9 月 17 日	火	14:00					
	9 月 24 日	火	9:30	11:30			15:00 賛助会員との懇談会	17:00 賛助会員との懇親会
	10 月 22 日	火	14:30					12:00 全鉄評取締役会
2025 年 (令和7年)	11 月 12 日	火	14:00					
	11 月 19 日	火	10:30	14:00				
	11 月 20 日	水					13:00 青年部会との意見交換会	16:00 青年部会との懇親会
	12 月 2 日	木					18:00 事務局職員との懇親会	12:00 全鉄評取締役会
	12 月 13 日	金	14:00				16:00 新年賀詞交歓会	※全国理事長会
	1 月 17 日	金	9:30	11:30	14:00 ※			
	2 月 10 日	月	14:00					
	2 月 18 日	火	10:30	14:00				
	3 月 11 日	火	14:30					12:00 全鉄評取締役会
	3 月 18 日	火	10:30	14:00				

関連団体		その他	
【青年部会】			
総会・会長会議	： 2024年4月20日（土） 東京		

2025(令和7)年度予定	
2025年4月11日（金）	三役会（12:00） 全国事務局会議（15:00） 懇親会（16:30）
2025年5月13日（火）	三役会（14:30） 参考：全統評価協定会（12:00）
2025年5月21日（水）	三役会（10:30） 理事会（14:00）
2025年6月13日（金）	三役会（9:30） 理事会（11:30） 総会（15:00） 懇親会（17:00）
	参考：全統評価主幹会（14:00）

＊

* = 變更箇所

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年) 9月分

(A)		提出日 令和6年10月10日
①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・3日(火) 三役会・役員会 ・18日(水) 例会	・30日(月) 鉄骨製作管理技術者講習会 講師との次年度打合せ
函館		
室苦小樽		
旭川	・9日(月) 営業会議 (4社)	
北見	・18日(水) 三地区合同会議(帯広) ・25日(水) 例会	
帯広	・18日(水) 三地区合同会議(帯広)	
釧路	・18日(水) 三地区合同会議(帯広)	

(B)										
①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	2 ～ 9	1 ～ 5	2 ～ 5	75 ～ 120			○			
函館	2	2 ～ 4	2 ～ 3	80 ～ 100		○				
室苦小樽	6 ～ 9	1 ～ 3	1 ～ 3	90 ～ 110		○				
旭川	4	2 ～ 6		70 ～ 110			○			
北見		1 ～ 6		50 ～ 100			○			
帯広	2 ～ 8	1 ～ 3	1	90 ～ 120			○			
釧路	3	4 ～ 5		100 ～ 150		○				

(C)		現状と今後の状況の見通しについて
支部		
道央	・山積みはS/Hで2～9ヶ月とほぼ変わらず、Mは1～5ヶ月でやや低下傾向、R/J/未は2～5ヶ月で変わらず。工場稼働率はS/Hで75～100%、Mは75～110%といずれもやや低下傾向。R/J/未は90～110%でやや増加傾向。見積りは各グレードとも前月とほぼ変わらず「少ない」が一番多く18社で56%。「同じ」が次いで13社で41%、「多い」は1社で3%。相変わらず「新規・中小物件の見積りが少ない」というコメントが多いが、「仕事減少により単価も落ちてきている」とのコメントも出てきた。 共同積算:1-9月 80,178t 平年比82% 前年比124%	
函館	・各会員共に、先月に引き続き稼働率は高めで推移しているが、年末以降の手持ち及び見積り量は少ない。価格については大きく変わりなし。	
室苦小樽	・春先よりは多少状況は良くなってきているが、小規模案件は依然として低調。来年度物件の概略の引き合いが出てきている。	
旭川	・Mグレードの見通しは、各社10月か11月頃までで、冬加工の物件が決まっている会社が2社。また、来春の見積りは少ないが出てきている。Hグレードは年内は忙しく1月までずれ込んできているが、その先の物件は決定に至っていない。	
北見	・これからの冬場・来春に向けての小規模物件は多少あるが、これといった目立つ物件はない状況。来年度は未確定ではあるが、今年度よりは期待できると思われる。	
帯広	・工場稼働は先月並み。年明けの見積りが出てきているが、今後の冬期間の山は低く不安視している。	
釧路	・前月同様に、各社忙しい状態が続いている。10月、11月と建方が重なってきている。	

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2024年(令和6年) 10月分

(A)

提出日 令和6年11月7日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・ 7日(月) 三役会・役員会 ・10日(木)～11日(金) 函館支部との交流事業	・17日(木) 第5回役員会 全構協北海道支部 共済推進会議 共済協力会社との懇親会 ・18日(金) JSCA北海道支部 構造設計交流会2024 (作品発表) ・24日(木)～25日(金) 全構協北海道支部 「人づくり研修」(27名参加)
函館	・10日(木)～11日(金) 道央支部役員との意見交換会、懇親会 ・26日(土) パークゴルフ大会、懇親会	
室苦小樽		
旭川	・ 15日(火) 営業会議 (4社)	
北見	・22日(火) 例会	
帯広		
釧路		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	2 ～ 9	1 ～ 5	2 ～ 5	75 ～ 120			○			
函館	1 ～ 2	1 ～ 4	2 ～ 3	30 ～ 100		○				
室苦小樽	5 ～ 8	1 ～ 3	1 ～ 3	80 ～ 110		○				
旭川	8	1 ～ 6		70 ～ 110			○			
北見		1 ～ 5		50 ～ 90			○			
帯広	2 ～ 8	1 ～ 2	1	75 ～ 100			○			
釧路	3	4 ～ 6		100 ～ 120		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積みはS/Hで2～9ヶ月と変わらず、Mは1～5ヶ月で低下傾向、R/J/未も2～3ヶ月で低下傾向。工場稼働率はS/Hで75～100%、Mは75～110%、R/J/未は90～100%でいずれもほぼ変わらず。見積りはS/Hは変わらないが、その他は若干減少傾向で、トータルでは「少ない」が一番多く20社で63%。「同じ」が次いで11社で34%、「多い」は1社で3%。相変わらず「新規・中小物件の見積りが少ない」、「図面の遅れに苦慮」というコメントが多いが、「見積り件数は若干増えてきている」とのコメントも出てきた。 共同積算:1-10月 90,278t 平年比83% 前年比119%
函館	・稼働率・山積み共に、バラつきはあるが平均すると低めで推移しており、手持ちも少ない。見積りは中小規模で着手時期は未定だが、計画を含め数件出てきている。価格については大きく変わりはない。
室苦小樽	・景況感は依然として低い。来年春以降の概略見積り案件も出ているが、仕事量の減少による見積り単価の下降を危惧している。現状業務で図面が決まらず、工場製作に遅れが生じている工場が出てきている。
旭川	・Mグレードの見通しは、各社11月頃までで、冬加工の物件が決まっている会社が1社。また、鉄骨以外の仕事で冬場を埋めている会社が1社。来春の見積りは出てきている。Hグレードは年内までは忙しい状態。年明けは、当初の建方予定が早まり3月までは60%程度の稼働を予定している。
北見	・これから先、冬場に向けた発注物件はなさそうであり、現在の手持ち物件のみで工場稼働を予定している。
帯広	・工場稼働は減少傾向。見積りも少なく、資材費高騰も含め冬に向け不安視している。
釧路	・前月同様、各社忙しい状態が続いているが、12月に入ると工場に空きが見られる。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2024 年（令和 6 年）9 月分

(A)

提出日 令和 6 年 10 月 3 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○9/11 会員親睦ゴルフ大会 ○9/19 積算業務担当者会議	
岩手県	○9/2 青年部役員会 ○9/6 鉄構組合・溶接協会合同親善ゴルフ大会 ○9/11 正副理事長会議・50 周年記念誌編集委員会 ○9/18 県南支部会 ○9/20 盛岡支部会 ○9/25 組合第 4 回理事会 ○9/26 後期性能評価申請書記入説明会	
宮城県	○9/12 鉄骨製作管理技術者試験対策講習会 ○9/25 役員会・理事会、顧問との懇談会	
秋田県	○9/25 営業担当者会議	
山形県	○9/5 青年部役員会 ○9/26 三役会、役員及び庄内支部会員合同会議	
福島県	○9/2 技術・品質サポート(1 社) ○9/4 第 3 回理事会 ○9/4,10 図面遅れ問題に関する要望活動(福島県土木部、 福島県建設業協会、福島県建築士事務所協会) ○9/7,14 実践建築設計 3 次元 CAD 技術講習会 ○9/12 第 4 回青年部役員会 ○9/13 福島支部懇親会、郡山支部懇親会	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	3～15	2～8	1～2	60 ～ 120			○			
岩手県	5～10	2～6	1～2	30 ～ 110			○			
宮城県	5～20	3～6	1～2	50 ～ 110		○				
秋田県	5～6	2.5～4	1.5～4	70 ～ 110			○			
山形県	3～19	1～12	1～4	90 ～ 120			○			
福島県	6～9	1～12	1～6	30 ～ 125			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	見積依頼物件数は引き続き少なく、新たな受注も少ないが、手持ち案件の仕事を調整しながら工場稼働率は横ばいを維持。この状況が長期化すればするほど、商社などによる安値にはいつそう注意が必要で、我慢の時期だが、採算を重視した適正価格を徹底し、乗り越えていきたい。
岩手県	少しずつ上昇を続けていた工場加工費が、下落傾向に転じた。工場稼働率、手持ち工事量については、依然高水準ながらやはり低下傾向。建築計画の延期・中止が増え、工場稼働の調整に苦慮する話増加しており、先行きはかなり厳しい状況となりつつある。
宮城県	見積物件数は微増も改修工事が多く、新築工事は少ないように見えるが、小中規模物件には他県 GC や Fab による県内への流入が増えている。受注価格が下がりつつある状況なので、当面は堪え処と思われる。
秋田県	地元物件、見積もり件数が少ない。価格についても不満が多いが今が踏ん張りどころ。
山形県	今月も県内見積依頼件数は少なく、今期一番の落ち込みであり、今後の仕事量確保が心配される。
福島県	元請・設計等からの対応が遅い。承認期限を超えても回答がない。工事自体が延期している。との話が多く聞かれます。今後しばらくは、見積りも仕事量も少ないかもしれませんが、無理な条件での受注はさけていくよう組合員に伝えています。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2024 年（令和 6 年）10 月分

(A)

提出日 令和 6 年 11 月 1 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○10/24 積算業務担当者会議	○10/17 10 月定期役員会（仙台） ○10/29～30 人づくり研修（仙台）
岩手県	○10/9 県南支部会 ○10/10 組合創立 50 周年記念式典・祝賀会 ○10/21 盛岡支部会	
宮城県	○10/16 宮城県建団連定例理事会 ○10/17 工場性能評価審査（1 件） ○10/20 第 34 回建設フェスティバル「K・DAY」 ○10/29 営業担当者会議	
秋田県	○10/23 営業担当者会議	
山形県	○10/11,12 「鉄骨製作管理技術者」受験準備講習会 ○10/23 超音波探傷技術研究会役員会 ○10/29 青年部 会員及び賛助会員との交流事業 ○10/30 山形支部ゴルフコンペ・総会及び懇親会	
福島県	○10/2 工場審査（1 社） ○10/22 公正取引委員会による『出張！トリテキ会議』 〃 第 3 回営業責任者会議	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	3～14	2～8	1～3	60 ～ 120			○			
岩手県	3～10	2～9	0.5～2	50 ～ 100			○			
宮城県	5～20	2～7	1～3	60 ～ 110		○				
秋田県	6～6	2～4	1～4	90 ～ 120			○			
山形県	3～17	1～11	1～6	80 ～ 100		○				
福島県	6～10	2～12	1～6	30 ～ 150			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	今月も見積物件は少なく、一度受注した県内物件が、延期から中止に至ったケースも報告され、工程のズレに依然苦慮している。また新年度の採用に向けて、人材を確保する為の待遇等、講じている施策を情報交換しながら、各社模索している。
岩手県	先月下落した工場加工費は若干持ち直したものの、稼働率・手持ち工事量については低下。特に工場稼働率は令和 2 年 7 月以来、4 年 3 か月ぶりに平均 90%を下回った。この先の景況も「現状維持」との回答よりも「悪化」「やや悪化」との回答が上回り、先行きはかなり厳しい状況。
宮城県	見積件数は増加傾向にあるも Fab によってバラツキがあり、稼働率も含めて全体的には低調に感じる。今後の受注物件について、鋼材価格につられて受注単価まで下がらないように留意したい。
秋田県	地元物件が少なく単価も非常に厳しい状態が続いている。何とかここを維持して乗り切りたいところ。冬場にむけて先行き不安である。
山形県	仕事量、稼働率に大きな変動はみられないようだ。県内見積物件数は前月と同数、広域物件件数は 1 件と厳しく状況である。
福島県	地元・関東・東北物件共に見積依頼数は減少傾向です。材料手配時期になってからの遅延決定、製作途中での工期延期や出荷待ちの事例も散見。承認遅延も顕著で工場稼働に影響。1 つの物件に多数の元請入札があり、値崩れの懸念もあり。

< 関東支部 > 状況報告書

2024年(令和6年)9月分

提出日 令和6年10月3日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	関東支部活動・行事等
東京都	12日 理事会、M部会 18日 東地区会 21日 東構協ゴルフコンペ 28日、29日 鉄骨製作管理技術者受験準備講習会	
千葉県	6日(金)三役・支部長会、理事会 10日(火)役員県庁訪問 11日(水)工場審査説明会 13日(金)青年部役員会 18日(水)工場審査説明会 20日西部支部研修旅行 27日(金)北部支部会	
神奈川県	6日 青年部会役員会、12日 共同受注・購買勉強会、19日 事業運営委員会、 22日 青年部会BBQ大会、26日 総務委員会・役員会	
茨城県	6日 第5回ボーリング大会 7、8日 Uレベル2学科講習会 その他 技能実習生企業監査	
埼玉県	6日(金) 総務委員会 7日(土) 青年部会役員会及び暑気払い 11日(水) 組合理事会 14日(土) 佐野厄除大師安全祈願 19日(木) 性能評価研修会 21日(土) 第23回展示販売会 24日(火) 県東支部会 26日(金) PAWG(フェーズドアレイ実証実験)、県北支部会	
栃木県	9/12 定例理事会 9/26 青年部役員会	
群馬県	9/6青年部研修会、9/25三役会・役員会・サポート委員会	
長野県	7日 UT学科講習会 19日 国土交通省 来局 9日 長野県建設部訪問とご挨拶 26日 Mグレード部会 幹事会 13日 青年部会・懇親会 17日 松本市建設部訪問とご挨拶 18日 常任理事会	
山梨県	1日～2日 高校 ガス溶接講習(航空) 3日～4日 高校 アーク溶接講習(航空) 9日 山梨県労働災害防止団体等連絡協議会 10日 理事会・山梨県溶接技術競技大会及び山梨県高等学校溶接競技会表彰式 14日 溶接技能者評価試験 17日～18日 訓練所 アーク溶接講習 19日～21日 一般 ガス溶接講習 20日 青年部会 24日 西支部会 26日 経営近代化委員会 27日 教育技術委員会 30日 溶接安全委員会	
新潟県	9/10・12工場審査事前説明会(4社) 9/11工場審査サポート 9/20・21鉄骨製作管理技術者講習会(56名) 9/24正副理事長会議 9/26親睦ゴルフコンペ	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	6～15	2～12	2～5	70～100			○			
千葉県	3～12	2～5	2～5	50～100			○			
神奈川県	6～10	2～9	2～3	50～100			○			
茨城県	6～12	6～10	2～3	80～100		○				
埼玉県	4～11	1～10	1～5	60～100			○			
栃木県	2～7	2～9	1～6	80～120			○			
群馬県	6～10	3～6	3	80～100		○				
長野県	5～13	2～6	4	70～110			○			
山梨県	3.0～14.0	0.5～8.0	2.0～3.0	73			○			
新潟県	3～13	2～8	1～6	70～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	物件の引き合い、見積りが増えてきたが、指値が厳しく加工費、経費への圧迫が避けられない。また、図面の承認遅れ等で製作調整していた案件の製作が重なり他社に協力を求めるファブがある一方で、仲間内で仕事を融通し合い仕事量を確保しているファブもあり、二極化が収まらない。なお、下落傾向にある単価や材料価格が高止まりするなか、採算割れをしても受注する企業があり、適正化受注をするファブの障害となっている。
千葉県	発注者が持つイメージと大きく離れた工場があることに不安を抱く発注者の声を耳にすることがある。現行の認定制度の信頼性が損なわれるのではと危機感を持つ。相見で同業での探り合いがある。業界全体で単価を上げる対策はないのか？ 設計図の変更、図面承認の遅れが相変変わらず。仕事の効率化を図れるような環境作りの提言や研修を行っていただきたい。材料価格の下落に引きずられないよう、流れを変えていただきたい。
神奈川県	鋼材価格が少し下がってきた。これを踏まえた値下げ要求が心配です。 地方では仕事量も薄く、手伝いができれば声をかけてほしいと言った連絡を何件か頂いた。 すべての価格が上がっており、民間の小物件では計画自体を中止にせざるを得ないと言った話がありました。また、設計からお手伝いをしていた公官庁案件でも当初予算を40%以上上回る積算結果となり延期になった物件がありました。
茨城県	・全国的に仕事量は少ないようです。仕事量が少なくと受注受注が出てきます。何故鉄骨業者は、値段をすぐ下げてしまうのかと、他の専門事業者から言われると話がありました。バブルの崩壊やリーマンショックの時の教訓をいかにしてないかの指摘がありました。その通りだと思います。少なくともここ5年くらいは、いい時期があったと思うので、余力は多少あるかと思います。今が踏ん張りどころです適正価格を維持して行きましょう。 ・見積もりが減り、決まりも悪くなっている。 ・鋼材一次加工の納期が最近早い。スクラップの値下がりがあるせいか元請けからの鋼材単価について聞かれることが多くなってきた。
埼玉県	鉄骨製作問題の是正・解決に向けた陳情を行っているが、要望書の中に下請け契約で使用する鉄骨工事用の特約条項のひな形の整備を行っており、個別工事での採用をお願いするとの文言があるが、業界として未だできていない。一方、建設業法等の一部改正が行われ令和6年6月14日に公布されており、この中で請負代金等の変更方法を契約書の法定記載事項としての明確化や注文者に通知する義務など表々に関係する改正が行われているので、これらも網羅するひな形の作成を速やかにお願いしたい。
栃木県	・相場物件が少ないとの声が聞かれる。 ・相変わらず、人材不足、人手不足が深刻になってきている。 ・保留事項が多く図面決定が遅れている。 ・他社との価格競争に競り勝つためにギリギリの見積りを出しているが、指値が厳しい。
群馬県	Rグレードの見積りは少ないが、その他のグレードは少しずつ増えてきた。また、材料費が10,000円/㎡以下がりそうで先行不透明である。
長野県	・見積りの引き合いは増加しているが、25～28年度物件の引き合いとなっている。 ・バブル後、リーマン後、単価大幅下落(また巻き込まれるのか?) ・来年は更に悪いらしい。 ・2025年、10～11月頃から仕事がいふ出てきている。見積りも多少値戻しできる兆しが見えてきた。 ・年内の加工については変わらず少ない。 ・9月に入ってから来年の加工物件の見積り引き合い増。 ・価格については安い話しはよく耳にしますが、落とさない方向を保っています。 ・先行の物件発注量に不安が出てきて、以前の不況時のような価格の下落のウワサが出ている。 ・材料価格もメーカー発表で下落していて、先行き不安な状況である。 ・人手が不足している。求人しても面接に来る人がいない。 ・現状は工期のズレにより忙しい。 ・今後は仕事量減の傾向にあるが、取り敢えず半年は見えている。 ・見積り、少ない方向にあり。 ・金額を低く抑えられてしまう。
山梨県	手持量はファブにより大きく異なっており、全体的に若干改善傾向ではあるが、昨年と比較すると少な目である。図面決定に遅れにより工期に若干の余裕が発生しているファブも見受けられる。リニア工事関係では、直接的な好影響が一部で見られ、製造協力を希望した会員に対して、発注元から仕事が入り始めている。
新潟県	手持ち工事量が少なくなっている。 相場物件が少ないのでGCの指値が厳しくなっている。 副資材、消耗品の単価が値上がりしているため、収益が悪化しているという苦情が増えた。

< 関東支部 > 状況報告書

2024年(令和6年)10月分

提出期限11月5日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	関東支部活動・行事等
東京都	17～19日 青年部台湾研修事業	24日(木)第3回関東支部会 (茨城との交流会) 25日(金)関東支部懇親ゴルフ
千葉県	4日(金)青年部ゴルフコンペ 10日(木)三役・支部長会、理事会、理事・賛助会合同会議 23日(水)南部支部会	
神奈川県	1日 50周年記念式典会場視察、11日 共同受注・購買勉強会、15日 事業運営委員会、 16日 青年部会役員会、23日 総務委員会・役員会	
茨城県	4日第4回理事会 インドネシア送出機関面談 12日県西支部研修会(コド・テック工場見学) 24日関東支部出張支部会水戸開催 25日関東支部懇親ゴルフ 23日ベトナム実習生(16期生)入国 26日東関東非破壊検査研究会研究発表会	
埼玉県	2日(水) 総務委員会 9日(水) 組合理事会、STK会(組合親睦ゴルフ)打合せ、共済委員会 11日(金) 県知事陳情(図面問題)、22日(火) 組合会計監査、県東支部会、 24日(木) 青年部会役員会、県西支部会、県南支部会 31日(木) 埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク幹事会、県北支部会 10月中 性能評価サポート1件、工場審査1件	
栃木県	10/8 運営委員会 10/10 定例理事会 10/18 青年部役員会	
群馬県	10/8自民党陳情、10/23(本年度)フィットテスト開始	
長野県	3日 性能評価研修会 4・5日 とび外国人技能検定 随時2級 11日 中央会事務主任者会 通常総会 19・20・26日 UT実技講習会 29日 運営委員会 29日 人材研修会 30日 構造物鉄工・とび技能講習会 打合せ会	
山梨県	1,2,9日 一般健康診断、じん肺、マンガン特殊健診 9日 山梨県安全衛生大会 10日 理事会 11日 全国溶接競技会説明会 12日 溶接JIS検定 15日 甲府市勤労者福祉サービスセンター表彰式 16日 安全点検バトロール 溶接安全委員会 17日 アーク溶接特別教育(～19日) 18日 日本溶接協会東部地区75周年記念式典 22日 中小企業団体中央会情報連絡員会議 23日 青年部会 24日 経営近代化委員会 26日 全国溶接競技会四国地区高知大会開会式 27日 〃 競技会 29日 技術・品質に関するバトロール 教育技術委員会	
新潟県	10/9,10工場見学・静岡県交流会 10/23工場審査1社 10/16,29,31工場審査サポート3社 10/24,25関東支部出張理事会 10/25,26超音波探傷検査講習会 10/30総務委員会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	5～13	2～10	2～3	70～100			○			
千葉県	6～12	2～5	2～5	50～100		○				
神奈川県	5～11	2～10.2	2.0	70～100		○				
茨城県	6～9	2～6	2～3	80～100%			○			
埼玉県	4～30	1.5～9	1～4	60～100		○				
栃木県	12	2～6	1～4	80～120			○			
群馬県	6～8	3～6	3	80～120			○			
長野県	5～13	3～6	2.5～10	50～120			○			
山梨県	8.0～12.0	0.5～7.0	2.0～3.0	40～110		○				
新潟県	3～13	1～6	1～6	70～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	上位グレードを中心に物件の引き合い、見積りが減ってきており、また、厳しい価格交渉が加工費、経費を圧迫させている。更に、適正価格の維持に努めるファブが多い中で、採算割れ覚悟で受注する企業も存在し、適正受注を阻害する要因となっている。なお、図面の承認遅れ等により製作調整していた案件の実製作が重なり納期に間に合わず、他社の協力を求めるファブがある一方で、仲間内で仕事を融通し合い仕事量を確保しているファブもあり、二極化が顕著になっている。
千葉県	図面のチェックが遅いにもかかわらず、建方日が変わらないため、製作工程日数が短くなる。現場員の質の低下。鋼材の単価が下がってきている。BIM・DX化に対する知識を講習会等で開催していただきたい。
神奈川県	物件が少ないという割には県の皆さんはそれなりに入ってはいるが、西の方は少ないようで応援の問い合わせが数件ありました。鋼材価格も落ちており、釣られて工費も下がっていくと思われます。物件としては、2年前に見積もったものが不調で一巡して再見積もりをするような話が数件ありましたが、当初計画とはかけ離れた価格となるので民間の物件はまだ厳しいと感じます。
茨城県	・県内は、全体的に仕事は出ている。来年以降も出てきそう。皆でコミュニケーションを取りながら、仕事を廻して、やって行きましよう。 ・付帯鉄骨協力依頼の声がよくかかる。自社工程の隙間にうまくはまると助かるが、材持ちや図面待ちも多く、あてにし過ぎると製作工程を大きく狂わせる。だいたい先の工事話なのに概算見積りを依頼され、最終設計図となる前に何度も提案や変更図があり、その都度再見積もり、そんな工事が多く受注有無の前に多くの時間を費やされる。 ・現在見積中の2025年秋物件も過当競争により安値が予想されますが、この傾向は2026年以降も続きそうです。
埼玉県	ここ数年当県は後継者不足や人手不足で廃業をよぎなくされた組合員が出ていた。今回、コロナウイルス時期に発案されたゼロゼロ融資を借りその返済が始まったが、いまだ需要も低迷しており、材料等の値上げや労働環境、2024年問題などで生産コストは増加の一途をたどっている。また、今後の見通しも不透明であることから倒産等で取引先や従業員に迷惑を掛けないように、今の時点で会社を清算するいわゆる「身辺整理倒産」を選ぶ組合員が出た。
栃木県	・人材不足、人手不足が多く聞かれる(離職率が高い、日本人若手の働き手がいない、人材の確保が大変、等々) ・2024年問題で輸送費が上がっている。 ・短納期の物件が多くなり困っている。
群馬県	手持量が3～8ヶ月と少なく、また、見積もも少なくなっている。
長野県	・図面の決め込み遅延と変更が多く、工場稼働率に引き続き影響が出ている。(稼働率減) ・ゼモノコンからの指値が厳しい物件も多く、受注環境は厳しい状況。 ・『加工費3万円が出てきた』ってほんとの話ですか? ・工期や仕様で厳しい物件でもファブ決定時の土壌場でもかなり下をくぐって取っていく業者があり、あてにしていた案件が無くなってしまう事が多い。 ・1月・2月の山積み50%程度。3月～7月は、ほぼ100%稼働出来ます。 ・受注単価は低いまま。安くしなければ受注できない。 ・9月と同様。 ・求人を出しても人が来ない。人手不足。 ・先月と変わらない。見積物件 0～1 のため。 ・山積みのすぎ間となり、85%位である。
山梨県	10月に入ってから、材料の高騰が一段落し若干の下落があったものの、それに伴って加工費が下がっている。図面決定が遅い状況は改善されておらず、今年末までの物件数の増加は見込めない。
新潟県	手持ち工事量が少なくなっている。 地場物件が少ないのでGGCの指値が厳しくなっている。 副資材、消耗品の単価が値上がりしているため、収益が悪化しているとの回答が増えた。

＜ 北陸支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年（令和6年）9月分

(A)

提出日 令和6年11月11日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	6日(金) 青年部会・会員交流事業夏の納涼祭 18日(水) 技術・品質サポート(H1社・R1社) 20日(金) 技術・品質サポート(H1社・R1社)	10日(火) 全国鐵構工業協会運営委員会(東京) 24日(火) 全国鐵構工業協会理事会(東京)
石川県	13日(金) 全青会北陸ブロック役員会(福井県) 19日(木) 第4回三役会・第5回理事会 26日(木) 第2回金沢支部会	
福井県	4日(水) UTレベル1学科講習(～6日) 12日(木) 定例三役会、役員会 13日(土) 青年部会例会(工場見学)、全青会北陸BC役員合同懇親会 18日(水) 定例認定部会役員会、例会 19日(木) 総務委員会 25日(火) 共同積算委員会	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～10	2～3	1～2	70～100			○			
石川県	6～10	2～3	1～2	80～110			○			
福井県	6～10	2～3	1～2	70～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大都市圏中心の大型物件は、端境期となり地場物件は見積も少なく盛り上がり欠ける状態が続いている。又、東京製鉄の10月の鋼材販価の大幅な全面値下げがあり、ゼネコンの指値が今以上厳しくなることが予想されるが、今が正念場であり、我慢の時である。
石川県	山積みと工場稼働率は、各グレードとも先月とほぼ変化はなく、見積もりについても少ないままでほぼ変わらず。上位グレードでも手薄になっているところも見られる。能登地方は大雨災害に見舞われたが、工場については特に大きな被害は見られずホッとしている。仕事については改修工事や耐震工事が出てきている様子。価格については現状は維持しているが、仕事量が少ない中、なんとか単価を維持できるよう組合員同士で情報交換していく事が大切と思われる。
福井県	景況については前月(8月)と大きな変化はない。受注単価にも大きな変動はない。見積物件数は相変わらず少ないままで、どのグレードとも年明けから春先についての山積みに大きな不安を抱えたままである。

＜ 北陸支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年（令和6年）10月分

(A)

提出日 令和6年11月11日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	22日(火) 組合員と賛助会員との懇親交流会 24日(木) 中小企業団体全国大会(福井)	9日(水) 全国鐵構工業協会北陸支部役員会(金沢) 17日(木) 全国鐵構工業協会「人づくり研修」(金沢) 18日(金) 全国鐵構工業協会「人づくり研修」(金沢) 21日(月) 全国鐵構工業協会運営委員会(東京) 23日(水) 全国鐵構工業協会技術委員会(東京)
石川県	11日(金)第4回青年部役員会 23日(水)第5回三役会、第6回理事会 23日(水)組合員と賛助会員との交流懇親会	
福井県	11日(金)建築士事務所協会全国大会(福井大会) 12日(土)青年部会例会 16日(水)認定部会役員会・例会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～14	2～3	1～2	70～100			○			
石川県	6～10	2～3	1～2	70～100			○			
福井県	6～9	2～3	1～2	70～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	先月と状況はあまり変わらない。Hグレードは仕事量に格差が出てきており、M・Rグレードについても地場物件は見積を含め少なく、今後不需用期に入るためゼネコンの指値が一層厳しくなるとされる。暫くは我慢の時が続くそうである。
石川県	上位グレードの仕事量は6ヶ月から8ヶ月は確保できているが、その先の見通しはまだ不透明。県内の公共工事や中小物件が少なくMグレードやRグレード企業は仕事量を確保するのに苦慮している。改修工事などはあるが新築物件が少ない。見積りも多少の増加はあってもまだまだ全体的には少ない。組合員同士の交流などで、他社の応援やシェアしながら維持している様子。、能登地方の地震以降にストップしていた工事の再開も徐々に始まっているが、仕事量はあっても人口流出の影響もあって、人手の確保が今後の課題かと思われる。
福井県	相変わらず山積み・稼働率ともに上向き材料がなく、春先にかけての物件確保に不安の声が聞かれる。北陸新幹線開業後、地元駅前の再開発事業においても材料の高値止まりと現場職人不足が工事進捗に対し大きな不安材料となっている。組合員同士の密な情報交換がさらに求められる時期である。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2024年(令和6年) 9月分

(A)

提出日 2024年(令和6年) 10月1日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	19 日 (木)	理事会	10 日 (水)	全構協:運営委員会 出席
静岡県	20 日 (金)	三役会	13 日 (金)	中部支部WEB報告会
	25 日 (水)	役員会	14 日 (土)	青年部:中部BC会議
愛知県	3 日 (火)	女性部会	24 日 (火)	全構協:理事会 出席
	4 日 (水)	西三河支部会	26 日 (木)	鉄骨製作管理技術者
	10 日 (火)	創立50周年実行委員会(記念式典)	27 日 (金)	受験準備講習会
	17 日 (火)	H部会		
	18 日 (水)	女性部会(工場見学)		
	19 日 (木)	創立50周年実行委員会		
	21 日 (土)	青年部 正副支部長会 秋季例会		
	24 日 (火)	性能評価申請説明会		
三重県	20 日 (金)	青年部会		
	25 日 (火)	第5回理事会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	4 ~ 10	2 ~ 8	1 ~ 7	70 ~ 120			○			
静岡県	9 ~ 10	3 ~ 7	1 ~ 4	70 ~ 110		○				
愛知県	9 ~ 20	3 ~ 10	2 ~ 3	50 ~ 120			○			
三重県	10 ~ 12	2 ~ 5	1 ~ 4	88 ~ 112			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・来年春以降の案件が動き始めた。 ・延期になっていた物件をやっており、今は忙しい。 ・商社物件が商社同士で競争が激しく、かなり値崩れが起きている。 ・最近忙しい状態が続いています。ただし12月以降、来春にかけては薄いように感じられます。 ・金額の折り合いが付かず、工事が決まらない。 ・北陸の仕事が無いようで、飛び込み営業が多い。
静岡県	・県内全体で山積みが低い状況。来年の見通しも未だ見えないが景気の回復に期待したい。 ・年度内は山積みが見通し。工事の稼働を平準化できるよう計画を検討していく。 ・来年の1~3月ぐらいの仕事量があまりない。 ・年末から年度末にかけては仕事が薄い、4月以降の見積もりは増えている。 ・現状物件数はあるがボリュームが少ない。来年も低調な見通し。
愛知県	・ひと月前に比べると見積物件数が少なくなった。色んな話が聞こえてくるが何となく不安を感じる。 ・鋼材価格が下がりそれにつられて加工費まで下がってしまうように注意が必要です。 ・鋼材を安く仕入れられるところが喜び勇んで受注価格を下げて営業に行っている傾向があり、原価管理の徹底を呼び掛ける ・一部商社が安値受注をしており、来年以降の値崩れが心配。 ・ゼネコンからの受注が減っている中で商社物件の案件を確認すると、どれも赤字になりそうな安い物件が多いように見受けられます。 ・2025年末から2026年にかけてはスーパーゼネコンの受注が再開されてきており、仕事量が戻ってくる可能性が高い。 ・来年8・9月は異常に工事が薄く他県からの安値参入が懸念される。 ・下半期から来年夏頃まではかなりありそうです。 ・必要があるように感じます。 ・来年の3月くらいまでの受注予定になりそうです。 ・見積りも年内・年明け物件も決まってきましたので、少し落ち着いた感じがです。 ・量は少ないものの来年の話も少しずつ見通しが見えてきた。 ・建物物件は相変わらず無い状態だが、現場工事はそこそこ続いていきそう。
三重県	・受注量は例年より減少、材料の価格も高騰している。一方で受注単価は競争激化で下落しており、収益面は厳しい。 ・見積全体も相変わらず例年に比べて少なく、その上に実現性を疑う見積依頼もある。過去最悪にならないか懸念している。 ・建設関連経費が高騰していることから、減築・減算工事も出てきており、工場の山積みに影響が出ることが予想される。 ・商社が採算面を疑うような単価で受注しだしており、それにつれてファブ間同士で価格競争も激化している。 ・業界全体で歯止めが必要。 ・地域によっては受注しきれないオーダーもあるところがあり、ファブ間(組合員)同士で情報を共有、全体で受注につなげようという意見あり。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2024年(令和6年) 10月分

(A)			提出日 2024年(令和6年) 11月 1日	
①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	25 日(金)	理事会	21 日(月)	中部支部会
	25 日(金)	三重県鉄構工業協同組合との交流会	23 日(水)	全構協:技術委員会 出席
静岡県	9 日(水)	新潟県鉄構工業組合との意見交換会		
	23 日(水)	三役会		
愛知県	3 日(木)	創立50周年実行委員会(記念式典)		
	7 日(月)	座談会事前打ち合わせ会		
	7 日(月)	全国労働保険事務組合連合会 理事会 出席		
	8 日(火)	執行会議・理事会		
	17 日(木)	創立50周年実行委員会		
	22 日(火)	青年部会		
三重県	3 日(木)	後期性能評価事前説明会		
	11 日(金)	経営者向け講習会(FAB・MOT講座)		
	25 日(金)	岐阜県鉄構工業協同組合との意見交換会		

(B)										
①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3 ~ 10	2 ~ 5.5	1 ~ 5	70 ~ 120		○				
静岡県	7 ~ 12	3 ~ 7	1 ~ 5	70 ~ 100			○			
愛知県	7 ~ 20	3 ~ 5	2 ~ 4	70 ~ 110		○				
三重県	9 ~ 12	2 ~ 5	2 ~ 3	89 ~ 115			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・物件によるが、改修工事、神社仏閣、プラント物は、付加価値別格にあり。ニッチでコアな戦略ありかも。一方、大型物件ゆえに安値提示もあったりして、各社様々な判断に出くわす。 ・見積りが多い所と少ない所と二極化している。単価も同様。 ・物流2024年問題で、運送会社のコストアップが当然に扱われ、費用負担を強いられる。4年前から働き方改革が適用されている業界から見ると、不平等を感じる。 ・単価のかなり安い案件が商社絡みで、出回っている。 ・年内は忙しい状況で進みそう。 ・加工費まで値上がりしそう。
静岡県	・未だに来年の仕事量が見えてこない状況である。鋼材の値下げで増えてくることを期待する。 ・先月くらいまでは春先の物件が見えていない状況だったが、少しずつ受注が埋まってきた。 ・見積もり依頼から先に進まない物件があり予定が立たない。 ・現在の仕事量は薄く見積もりも少ない。今年予定していた物件が来年に延期になった。
愛知県	・細々とした仕事が出てきていて、来年の工事の話も少しずつ出てきている。 ・年度末まで仕事が増えつつあるので一応安心はしている。 ・来年の予定物件は依然として少ないが再来年は多い。 ・現在は加工費が非常に安い物件が多く出回っています。 ・鋼材価格は下がりつつあるが、ボルトの価格が上がっている。 ・来年の3月くらいまでの受注予定になりそうでしたが、保留の物件も出てきており、少し見通しがわからなくなってきました。 ・見積もりも年内・年明け物件も決まってきましたので少し落ち着いた感じです。
三重県	・材料費は下降の兆しはあるが、物件量は少なく、来年を含めて先行不透明である。 ・特に来年中盤以降の仕事量は見えない。 ・Hグレードはそれなりに山積は来年度頃までは埋まっており、秋以降に関しても案件はある。 ・Mグレード以下は予定物件が縮小したり、引合時より単価が下がっているケースもあり収益面で懸念されている。 ・見積依頼が普通にあるところも、実効性の低い案件が多い。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2024年(令和 6年 9月分)

(A)

提出日 令和 6年 10月 17日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・9/11工場見学会・理事会・認定工場部会・賛助会員PR活動	9/17 第2回近畿支部会及び近畿整備局との意見交換会
京都府	9/13R会工場見学9/18ZRC講習会9/20四役会・青年部役員会	
大阪府	9/5第2回運営共済事業委員会、9/11第2回技術委員会、9/18市内支部会、9/26後期性能評価審査申請説明会	
兵庫県	・9/6 兵庫県建築士事務所協会 図面要望書 陳情 ・9/10 「化学物質管理者」講習会 59名参加 ・9/11 兵庫県建設業協会 図面要望書 陳情	
奈良県	9/10 第5回三役会、第3回理事会 9/27 青年部定例会	
和歌山県		

(B)

①手持ち工事量(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	5 ～ 8	3 ～ 8	1 ～ 2	50 ～ 100			○			
京都府	3 ～ 12	3 ～ 12	1 ～ 4	70 ～ 100		○				
大阪府	5 ～ 13	3 ～ 4	1 ～ 3	50 ～ 100			○			
兵庫県	6 ～ 12	2 ～ 6	1 ～ 3	50 ～ 100			○			
奈良県	～	3 ～ 8	1 ～ 3	50 ～ 100		○				
和歌山県	8 ～ 13	2 ～ 6	1 ～ 3	50 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	手持ち工事量、新規物件数、仕事量の確保と各社共に低推移な状況が今期以降変化なく続いている。工事の延期や中止が多く発生する中、活発なのは大型工事だけで、依然として中小物件の需要量が少なく、増加する気配は今のところ無い。物件の絶対量が少ない為一部ではあるが採算的に厳しい物件に手を出すファブや鋼材商社も見受けられる。今期後半もまだまだ厳しい状況が続くそうで状況回復には時間がかかりそう。見積依頼も大半が来年後半以降の物件で早ければ来年後半から仕事量の増加が期待されそうである。
京都府	相変わらず引き合い少なく、先行き厳しい状況です。見積りはしているが来年以降の引き合いは少なく不透明。先行き・見通しについては不透明感がある。しかしここで価格競争をしすぎると本来必要な経費が確保できないので、自社工場の改修や効率化を図るための工場設備の見直し、従業員の資格などの取得が必要だと思います。繁忙期にはできない社員教育も実施すべきである。目先だけにとらわれすぎないことも重要である。見積りが増えてきましたが契約までいけず、単価のペースをかなり下げないと受注できません。最終的にその金額でやるか・やらないか。今後に不安ばかりが残ります。春先までは、ゆったりしそう。春先からの物件は、大き目のものが出てきていますが、まだ決定には至っていません。年末にかけての仕事依頼は有るものの、仕事内容は小規模で厳しい状態ではある。年明けにも仕事の話は出て来ているが確定はしていないので不安。秋口から来年初めにかけての見積りが出て来た感がある。鋼材の若干の値下がりにて駆け込み需要が増加するかも。一方、来年の半分位の見込みが確定。来年後半は現在交渉中。年内忙しいという会社もある。
大阪府	物件量、物件数の低迷により、結果受注戦争となり、受注価格は厳しい状況が続く。鋼材、その他の資材関係の値上げラッシュは少し落ち着きを見せている様子。金属製造業の特定技能受入れが可能になったことにより、人材確保継続の道が広がったことは喜ばしい。図面問題による工程管理の困難はまだまだ根深い。
兵庫県	一部に弱気な動きが見られつつも、緩やかな回復傾向が見られてきております。ただ、目先の小さな案件は動きが見られますが、大規模な案件については計画は出てくるもののなかなか動き出さない状況です。受注単価については、仕事量の停滞や建築コスト上昇の反動から下げる方向での圧力が感じられますが、まだ大きな動きにはなっておりません。
奈良県	・年内の仕事量は少ないが、来年の見積もりが増えて来た。年明けからの仕事も決まって来ている。 ・鉄鋼商材が地方工務店、ゼネコンレベルまで来ており、単価の値崩れが激しい状況です。 ・図面のチェックバックが、どの工事にも遅れが生じている。また、物件が有っても、トン数が少ない。
和歌山県	先月に引き続き、県内鉄骨需要は公共、民間を問わず低調な動きです。新規見積案件も非常に少ない状況です。単価のほうも客先からの厳しい指値が続いています。上位グレードファブは、引き続き安定的な加工量をこなしているようです。上位ファブの協力加工を行っているファブも加工量は安定しています。地場案件が中心のファブは新築案件も少なく改修工事・金物加工などを行っているところが多いです。今後の需要に関しても先行きはあまり芳しくない状況が続くと思われます。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2024年(令和 6年 10月分)

(A)

提出日 令和 6年11月8日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・10/7鉄骨製作管理技術者講習会当番・10/9三役会・理事会・認定工場部会・10/12滋賀けんせつみらいフェスタ出展	・10/3鉄骨製作管理技術者講習会準備 ・10/4・5・7・8 1・2級 -〃- 講習会 ・10/17近畿支部理事長会
京都府	・10/2変更届説明会10/8理事会10/28四役会	
大阪府	・10/11中間期工場審査(1件)、・10/16第3回定例理事会、 ・10/18東大阪支部会	
兵庫県	・10/2 後期性能評価説明会 ・10/17 第2回運営委員会 ・10/17 第2回教育技術委員会 ・10/25 第3回三役会第3回理事役員会	
奈良県	・10/24 第6回三役会	
和歌山県	・10月7日 性能評価受審にかかる第2回勉強会 ・10月7日近代化委員会・50周年記念式典協議	

(B)

①手持ち工事量(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	9 ~ 12	3 ~ 9	1 ~ 2	50 ~ 100			○			
京都府	8 ~ 12	2 ~ 12	1 ~ 4	60 ~ 100			○			
大阪府	6 ~ 12	3 ~ 5	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
兵庫県	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	60 ~ 100			○			
奈良県	~	4 ~ 9	1 ~ 4	60 ~ 100			○			
和歌山県	8 ~ 13	2 ~ 6	1 ~ 3	50 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	中小建築物件を製作するファブの仕事量が少なく、下期の手持ち工事量、稼働率の確保がかなり難しく、年末まで見通しが立たず厳しい状況が続いている。中小工事の絶対量が依然不足している中、中小物件の延期や中止・工期遅れなどが生じ鉄骨需要の低調が続くそう。一部では、鉄骨価格競争の激化が見られ値下げ圧力が加わり鉄骨受注価格は下落傾向。適正価格での受注が崩れ、今後は必要な値下げで一層厳しい状況になると思われる。前年同期と比べると厳しい状況になりそうだが鉄骨需要が徐々に回復し継続して今年後半から来年に向けて好転して欲しい。
京都府	来年の半分位の見込みが確定、来年後半は、現在交渉中。物件数、物量とも低迷の為 鋼材費は足元、弱含みであるが、来年初以降の引き合いが多数あるため、値入は注意したい。手ごろな民間物件がない。年明け早々がかなり薄い。春以、降物件が決まりだしている。中小案件は少ないが来年は仕事がありそう。図面のチェックや決定までに時間がかかり工場の段取り、動きが悪い。年末にかけて小規模鉄骨を数件受注。改修工事の引き合いも少ない。纏まった鉄骨工事は他府県H、Mグレードが安値の見積りで競合している様子。値上げにはほど遠い。1月以降未定。見積物件は相変わらず少ない。年内予定あり。年明け受注予定あるものの先の見通しは不安。年末から年明けにかけての見積りは増加してはいるが、鋼材の値下がりに客先からの値引きが厳しい。
大阪府	物件量、物件数についてはなお、少ない見通し。関西の場合、万博が落ち着く来年の秋以降に活発に動き出すのか？物件量が少ない分、必然的に見積りは少なく、値段は下がる。来年の後半からの物件に期待するため、今から一年間耐えしのぐため、何かしらの工夫が必要かも。
兵庫県	見積案件は相変わらず少ない状況である。見積単価が下がり気味であるのに対し、運送費が上がる傾向にあるため、厳しい状況が続いている。 その上、人材確保が難しく時間外の規制により工場の稼働時間が限られてきているため生産性が低下している。法改正により、特定技能外国人の受入が可能となるため、採用を視野に入れて活動していく。
奈良県	・商社等からの加工費指値が厳しく、受ける事が出来ない場合も有る。また、工期に苦労している状況。 ・大型案件は動いているが相変わらず、中小物件は少ないように感じる。見積もりは、少し出ています。 ・加工単価の下落が気になります。そして、自社の物件が少なく、他社の加工応援をしています。
和歌山県	県内需要は、公共・民間を問わず相変わらず低調な動きで、年内はこのまま推移しそう。年明けからの案件も散在するが、供給側の加工量を満たすほどではない。県外案件を加工する上位グレード及びその協力加工を行うファブでは、安定的な加工量をキープし続けている模様。地場案件を中心とするファブでは工場稼働率が落ちている分を現場での改修工事等にあてている。

< 中国支部 > 状 況 報 告 書

2024年(令和6年)9月分

(A)

提出日 2024年(令和6年)10月16日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	27 日(土)	東部支部合同例会	10日 全構協:運営委員会 27日 全構協:第6回理事会	
島根県				
岡山県	21 日(土)	青年部会(岡山市)		
広島県	7 日(土)	鉄骨製作管理講習会(1日目)		
	8 日(日)	鉄骨製作管理講習会(2日目)		
	12 日(木)	JSCA意見交換会		
	17 日(火)	勉強会「公共工事の設計見積」		
山口県	27 日(木)	JSCA意見交換会		
	19 日(木)	第3回青年部役員会		
	20 日(金)	鉄骨製作図問題の是正・解消に向けた要望活動		
	25 日(水)	鉄骨製作図問題の是正・解消に向けた要望活動		
	25 日(水)	三役会議		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	3 ~ 20	1 ~ 3.5	1 ~ 3	80 ~ 150			○			
島根県	4 ~ 5	2 ~ 5	1 ~ 2	70 ~ 100			○			
岡山県	4 ~ 21	3 ~ 6	3	70 ~ 100			○			
広島県	9 ~ 18	3 ~ 5	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
山口県	2 ~ 4	0 ~ 3	0 ~ 4	60 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	9月に入り県内全体において新規見積り物件数は少なく、現状のところ各社は受注済みの工場加工で食いつないでいる状況で、春から夏にかけて見積物件の動きも鈍く、年末年始の新規物件の受注見込みが立たない厳しい状況が続くと予想される。以前からの建設資材の急激な値上げにより建設費が高騰し、新規建築物・設備投資への買い控えが進んでいる状況下にある。またスクラップ料金の値下げもあり、鋼材等の値下げにつながり今後どの様な反映・影響するか注視していく必要が高まって来ている。
島根県	Hグレードは、年内の仕事量はありますが、年明け以降の見積・案件が少なく、県内外のゼネコンほか関係筋の情報としても来年秋頃まで仕事量は少ないとのこと。Mグレードも、年内の仕事量は確保出来ているが、見積りが非常に少なくて来年度の稼働に不安が募る状況である。Rグレード以下の下位グレードでは、引き続き鉄骨加工が少なく金物製作や現場工事中心の状況に変わりはない模様である。
岡山県	第三四半期が始まって業界としては繁忙期となるはずであるが都心部を顧客として持つHグレード以外は大変厳しい状況である。余力のある工場や副業、あるいは鉄工所自体が副業の工場はこの厳しい状況下においても対応しているが、一部の工場では感染症拡大期に受けた無金利融資の返済や数年続いた活況によって行った設備投資の返済に苦慮している様子が見受けられる。経営者として好不況を判断する事は当たり前であるが、その判断材料、あるいはアラートを伝える事も協会に課せられた義務であるのではないかと私見として思うところである。
広島県	稼働率100%が調査工場の45%、稼働率80%以上は85%あり、他社応援も含め全体的に高い稼働率が維持されている。 手持工事量は、Hグレードが9ヶ月~18ヶ月であるのに対し、Mグレードが3カ月~5ヶ月、Rグレード以下が1ヶ月~3ヶ月となっており、地域案件の減少傾向が続く中、BIM等に対応し安定した受注ができていない企業、地域外から広域の受注ができていない企業の多いHグレードとそれ以外の企業との格差が大きくなっている。 見積り物件については、6月、7月の調査時点では6割あった「普通」が35%に減少し、「少ない」が65%を占めており、先行きの不透明感が強まっている。
山口県	Hグレードは先月同等の稼働率で見積物件は依然少ない状態。来年度の春頃から物件が本格的に動くような話が出てきており若干の希望が見えてきたが、まだまだ物量は少ない様子。 M・Rグレードは仕事量に差が生じているものの「市中案件、官庁工事とも薄く、手持ち工事が減少傾向にある」との声が多い。次年度着工予定の工事があっても足元の案件がなく非常に苦慮している。また、見積も来年度、再来年度予定の予算見積が多く受注できるか不透明。小規模の鉄骨工事、改修工事等の見積は見受けられるが先細り感が否めない状況で同業他社とのシェアにより工場工程を補っている。 仕事量が少ない上に副資材や消耗品の値上げが続いておりコスト管理が難しい。 製品運搬に関して、積載率80%に抑えての出荷で依頼台数の増に負担がかかっている。

< 中国支部 > 状 況 報 告 書

2024年(令和6年)10月分

(A)

提出日 2024年(令和6年)11月8日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	2 日 (水)	「鳥取県技能祭」第2回実行委員会	3、4 日 人づくり研修(岡山市) 9 日 第3回中国支部会(岡山市) 21 日 全構協:第3回運営委員会 23 日 全構協:技術委員会	
	9 日 (水)	東部支部例会		
	18 日 (金)	第17回島根県・鳥取県交流会(松江市)		
	27 日 (日)	鳥取県技能祭		
島根県	18 日 (金)	第17回鳥取県・島根県交流会(松江市)		
	23 日 (水)	役員会(出雲市)、青年部会役員会(出雲市)		
岡山県	28 日 (月)	第4回理事会(岡山市)		
広島県	11 日 (金)	第5回三役会・理事会		
	12 日 (土)	第16回鋼構造セミナー「鉄骨製作における疑問点と要望」 (主催:(一社)日本建築学会中国支部、(協)広島県鉄構工業会、 (一社)JSCA中国支部)		
山口県	3 日 (木)	鉄骨製作図問題の是正・解消に向けた要望活動(2市)		
	16 日 (水)	(後期)性能評価事前説明会		
	16 日 (水)	第4回理事会		
	18、19日 (金・土)	超音波探傷(UTレベル1、2)実技講習会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	3 ~ 19	1 ~ 4	1 ~ 3	80 ~ 115			○			
島根県	4 ~ 5	2 ~ 5	1 ~ 3	70 ~ 100			○			
岡山県	4 ~ 18	3 ~ 6	3	70 ~ 100			○			
広島県	4 ~ 11	3 ~ 9	1 ~ 5	80 ~ 120			○			
山口県	2 ~ 5	0 ~ 3	0 ~ 3	80 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	新規建築について県内・県外とも見積物件の動きは鈍く少なく、年始から年度末にかけて新規受注工事の確保に不安視、苦慮する傾向が出始めている模様が見える。Hグレード以下のFAB各社の中で、先行き不透明感続くことから建築鉄骨以外のプラント設備等金物工事、橋梁補修工事、現場改修工事などで食いつないでいる状況下であり、今後も厳しい状況が続くことから、バランス感覚良い堅実経営に向けて、組合員同士の各社の底力を発揮しあって、この難局を乗り切る対策と必要性が高まって来ている。
島根県	Hグレードでは、来年前半は県内外共に見積物件・受注工事量が少なく価格面も含めて厳しい見込みです。MグレードもHグレード同様に、見積・引合物件が少なく、来年の稼働状況が非常に不安視され、厳しい1年になると思われます。Rグレード以下の下位グレードでは、上位グレード同様に見積・引合が少なく、来年も引き続き金物製作や現場工事中心となる見込みです。
岡山県	繁忙期に入っているはずであるが、地場を顧客とするMグレード以下の工場は山積量も少なく、年度末には仕事が枯渇するレベルの厳しい状況である。価格についても背に腹は代えられないという状況から安値受注も見られるようになってきていると感じる。Hグレードは主に都市圏に顧客を持つことから地方で厳しい状況ではないように感じるが、一部の工場ではここ数年の好況で行った設備投資が会社経営の重荷になっているのではと思われる所もある。いずれにせよこれから厳しい冬を迎える我々業界であり、当会に於いて、あるいは県内の工場に於いて数社の淘汰が行われる可能性を覚悟する必要がある。
広島県	稼働率は調査工場のすべてが80%以上で、そのうち100%以上が60%と、他社応援も含め、年内は全体的に高い稼働率が維持される見込み。 手持工事量は、地域案件の減少傾向が続く中、地域外から広域の受注ができていた企業の多い高グレードとそれ以外の企業との格差が大きくなっているが、これまで、ほとんどが10ヶ月以上との回答であったHグレードで4ヶ月と回答する社が複数出るなど、Hグレードの中にも受注残に差が出てきている。 見積り物件については、Hグレードは2/3以上が「普通」と回答しているが、Mグレードの半分以上、Rグレード以下のほとんどが「少ない」と回答し、先行きに不安を持つ会社が増えており、2025年の低稼働予想に対する対策が必要との声も出てきている。
山口県	・Hグレード…今月は自社物件がほぼ終わり、他社の応援物件がメインだったが稼働率はまずまずの状態。手持ち工事量が少なくなり年内はなんとかあるものの来年は未だに工事の引き合いが確定しない。見積は先月同様に少なく、来年10月頃からの物件だった。 ・M・Rグレード…ファブによって手持ち工事量に差が生じており「工場加工、現場加工が重なって現状忙しい。小さな物件の工事と見積が多くなってきた。」や「数ヶ月前から山積みが低く見積も非常に少ない。」との声がある。ただ、全般的に動きが悪い様子で年明けから動き出す案件があっても計画通りに行くのか不安視している。 ・銀行金利が上がり、何もかもが値上がりする中、鉄骨以外のすべての業種も値上がりして総工事費の上昇が大きい計画の見直し・延期・中止が増えているそうで先の仕事の見通しがたらず不安が募るばかり。鋼材価格が多少弱含みな部分は期待している。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年) 9月分

(A)

提出日 令和6年10月17日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	7日(土)ゴルフコンペ 13日(金)情報交換会 11日(水)・12日(木)・17日(火)・18日(水)・20日(金)UT1直前受験勉強 9日(月)10日(火)・11日(水)鉄骨製作の基礎	◇四国支部会 日時:9月19日(木) 場所:香川県宇多津町ホテルアネシス瀬戸大橋 議事:①全構協理事会報告 ②全構協各委員会報告 ③「人づくり研修会」受講者募集について ④支部交流会(香川開催)役割分担について ⑤その他 ◇鉄骨製作管理技術者講習会(1,2級) 日時:9月19日(木)～20日(金) 場所:香川県宇多津町ホテルアネシス瀬戸大橋以上
香川県	10日(火)後期工場審査説明会 25日(水)大日本塗料・ダイニツカ打ち合わせ	
愛媛県		
高知県	24日(火)理事会	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ～ 10	1 ～ 4	～ 3	50 ～ 120			○			
香川県	～	2 ～ 3	～	90 ～ 115			○			
愛媛県	6 ～ 12	2 ～ 6	2 ～ 6	80 ～ 100			○			
高知県	6 ～	2 ～ 6	1 ～ 3	70 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	見積り、仕事量、特に県内案件は少ない状態が続いている。材料価格は少し下がったようだが副資材が値上げ。図面承認の遅れが仕事に支障をきたしているので注意。ゼネコンの言い値にならないよう適正価格での受注を心がけたい。土木、設備、橋梁関係が主になっているところもある。
香川県	延期物件などが集中しているFABもあるが、全体的には見積もり地元物件とも少ない前月同様な状況が続いている。単価面においても低下傾向にあり競争が厳しくなっており、今後の見通しも不透明な状況が続くと思われる。
愛媛県	受注状況について県内・地場物件が多いR・Mグレードで年内一杯から年明け2月まで確保。更には来年夏前までの話を進めているとの報告もあった。があり、地場物件は少ないとの話を聞いていたが、受注量・受注単価は別としても、とりあえず各グレードとも当面の受注量を確保出来ている。Hグレードでは山積低いFABで来春まで、山積高いFABで来年1年分を確保している。と充分に思えるが、工場稼働率で100%超え残業ありの工場がほとんどなく、Hグレードでも稼働率が100%以下が大半であり、受注物件数はあるが受注量的には低調さが伺える。
高知県	見積りの少ない状況が続いている。只、HグレードとMの1部のFABは受注も順調であり加工協力を依頼している状況である。今後の先行きも期待できる感はない。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年)10月分

(A)

提出日 令和6年11月11日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	8日(火)情報交換会・理事会 3日(木)4日(金)9日(水)10日(木)11日(金)鉄骨超音波実技 17日(木)18日(金)鉄骨製作管理技術者直前勉強	
香川県	16日(水)理事会 22日(火)新規組合加入促進	
愛媛県	4日(金)理事会 5日(土)青年部例会 6日(日)青年部・協賛店合同コンペ	
高知県		

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ～ 12	2 ～ 5	1 ～ 3	70 ～ 120			○			
香川県	～	2 ～ 3	～	90 ～ 115			○			
愛媛県	5 ～ 12	2 ～ 5	2 ～ 5	80 ～ 100			○			
高知県	6 ～	2 ～ 6	1 ～ 3	70 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	材料費は少しずつ下がっているが副資材は度重なる値上げ、加工単価は安く、見積り仕事量ともに少ない状態が続いており、自社受注が見込めないところ、建物の仕事が少なく橋梁、土木、設備関係が主になっているところもある。相変わらず図面承認の遅れが作業に支障をきたしている。来年秋以降やや回復との見方があるので、それまで安易な安価受注は控え、助け合ってこの苦境を乗り越えていきたい。
香川県	納期が重複して一時的に山が発生しているFABもあるが、県内物件が少なく県外物件や商社・鋼材会社からの依頼物件で工場稼働率を確保している。単価面でも競争が厳しくなっており低下傾向になっている。今後、年末年始にかけても不透明な状況が続くと思われる。
愛媛県	県内・地場物件が中心のR・Mグレードでは平均すると年内一杯から2月まで確保しているが、自社物件が少なく、協力加工で年内を進めるとするMグレードもあり、県内物件の少なさを表している。ただ、昨今は協力加工体制が進み、山積が低いと言って無理に低単価受注に走ることを抑える組合員間の密な情報交換体制が構築されつつある。
高知県	手持ち量は1部のFABを除き少ない状況で、設計見積も少なく先行き不安な状況である。

＜ 九州支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年度(令和6年度) 9月分

(A)

提出日 令和 6年 10月 4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・9/4 青年部 例会・勉強会 ・9/10 日鉄グループ 勉強会 ・9/11 鉄骨製作管理技術者学科講習会 講師との打合せ ・9/13 性能評価工場認定説明会 ・9/18 理事会、例会 ・9/19 福岡県建築鉄骨協議会 第2回運営委員会 ・9/20 福岡県建設業協会、建築士事務所協会、建築士会、建設関連産業協議会への鉄骨製作図面問題の是正と解消を求めた要望活動(訪問) ・9/25 技術委員会と青年部による工場見学及び製作に関するディスカッション	・9/6 九州支部事務局会議 於:熊本県 ・9/26 全構協九州支部H部会 役員会、パトロール委員会、例会
佐賀県	9/17 品質安全パトロール(M3社) 9/19～21 中央会九州大会参加 9/27 第4回 理事会	
長崎県	9/11 総務・経営対策委員会、9/14 溶接技術講習会、9/18 理事会・例会、9/21 溶接技術競技会 参加、9/26 長崎県建築鉄骨研究会「カーボンニュートラルに関する勉強会」出席	
熊本県	9/9.10.24.27.30 認定サポート部会 9/20 理事会・定例会 9/25 外観検査講習会	
大分県	9/10建築鉄骨超音波検査実技対策指導 9/12三役会、理事会、アイム・ジャパン技能実習制度講習、日鉄建材(株)カーボンニュートラル説明会、9/26 令和7年度後期認定申請者対象説明会(WEB)	
宮崎県	9/19 図面問題要望活動実施(県・都城市) 9/27 鹿児島県との交流会(ゴルフ・懇親会)	
鹿児島県	9/11建築専門業団体と建築協会との協議会(図面問題要望) 9/13技術委員会・青年部会役員会 9/18建築士会(図面問題要望) 9/27宮崎県鉄構工業会との交流会	
沖縄県	・9/3日:定例理事会、7日:沖縄県溶接技術競技大会、10日:営業部会、19日:第63回中小企業団体九州大会(沖縄開催)、22日:青年部会	

(B)

①手持工事量(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	4 ～ 12	2 ～ 3	1 ～ 2	80～100			○			
佐賀県	6	1.5 ～ 4	1 ～ 3	50～100			○			
長崎県	5 ～ 12	3 ～ 5	—	65～100			○			
熊本県	7 ～ 8	3 ～ 7	3	97.2			○			
大分県	4 ～ 12	1.5 ～ 4	—	90～100			○			
宮崎県	7 ～ 11	1 ～ 3	1 ～ 3	50～100		○				
鹿児島県	6～12	1～8	1～2	50～100			○			
沖縄県	2 ～ 3	2 ～ 3	1 ～ 3	90～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・鋼材、副資材、運送費、電気代、人件費等の値上げ分が受注単価に転嫁できていない現状。
佐賀県	・仕事量が少なく他社の製作応援で稼働率を確保しているが、全体的に仕事が少ないから厳しい。 ・見積もりが少なく受注環境は厳しい状況が続いている。先行きは不透明。
長崎県	各社ばらつきが大きく、仕事量も目減りの傾向です。一部では安値があっているようです。図面の遅延も大きいと思われます。
熊本県	見積が少ない。公共工事が少ない。 中小物件が少ない。 副資材が高くなった。 運送費が高くなる。 人材が不足している。 図面の承認が遅いので、予定より作図工程が遅くなり工場の工程がうまく流れない。 TSMCの2期工事の陳情を行った。
大分県	◎物件が徐々に出てきたが受注後の変更物件が多い。◎見積りが少ない。直近1.5ほどしか見えない。◎全国的に仕事が減っているため単価が下がっている。図面の決まりが悪い。◎指値が厳しい。
宮崎県	・Hグレードの需要増加に引っぱり張られる形でM・Rグレードも僅かながら稼働率・手持工事量ともに上がってきている。 ・見積は増加傾向にある。需要に関しては、グレードや地域によりバラツキがありそうだ。 ・公共工事(700t～)の価格があわず参加業者が見込めないことから、入札参加期限を修正(条件変更・延長)する事例があった。
鹿児島県	年明けから忙しくなりそうだが、秋にかけて仕事量が少ない。図面遅延により工期が圧迫されていてまだに土日祝日出まくりです。何とかならないものか...
沖縄県	・見積物件は中規模鉄骨が少なく、躯体付属金物及び小規模鉄骨が増えている。工場稼働率が全般に高いファブが多い。台風の影響で鋼材入荷が遅れ工場加工にズレが出たり、また建築鉄骨以外の加工物件で工場稼働率が高いファブもある。

< 九州支部 > 状 況 報 告 書

2024年度(令和6年度) 10月分

(A)

提出日 令和 6年 11月 5日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・9/30～10/2 鉄骨製作管理技術者学科講習会 ・10/15 経営対策委員会(WEB) ・10/17 技術委員会(WEB)	・10/8 全構協九州支部 第4回支部理事会、九州支部・H部会・商社との懇談会 (福岡市) ・10/21 全構協九州支部 第6回支部事務局Web会議
佐賀県	10/21 全構協 運営委員会出席 10/23～25 中央会 全国大会出席 10/26 青年部会 沖縄研修事業 10/31 中央会 運営委員会出席	
長崎県	10/3 長崎県建築鉄骨研究会ポイント集講習会講師打合せ、10/22 長崎県建築鉄骨研究会 専門委員会出席、10/25 三役会、長崎県建築鉄骨研究会ポイント集講習会講師打合せ、10/29 長崎県建築鉄骨研究会 運営委員会出席	
熊本県	10/16 理事会 10/24 鉄骨問題協議会	
大分県	10/5えとう博昭事務所開所式(理事長出席)、10/10えとう博昭後援会団体会議(松崎副理事長出席)、10/1850周年式典実行委員会、青年部役員会 10/22三役会、理事会、認定部会(対面・WEB併用) 10/2950周年記念式典	
宮崎県	10/2図面問題要望活動実施(宮崎市・関係団体) 10/4 第4回 青年部幹事会開催 10/17-19 組合親睦旅行(沖縄県) 10/22 図面問題要望活動(建築協会) 10/24 第3回理事会開催	
鹿児島県	10/4建築士事務所協会・建築構造設計事務所協会(図面問題要望) 10/11理事会・北薩支部交流会 10/18青年部会・JSCA鹿児島地区会・建築士事務所協会青年部との合同勉強会(図面問題要望)	
沖縄県	・10/10日:定例理事会、11日:沖縄県産業安全衛生大会、15日:営業部会、16日:青年部会、26日:青年部九州ブロック会沖縄県事業(沖縄産業まつり見学)	

(B)

①手持工事量(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	3 ～ 10	2 ～ 3	1 ～ 2	60～100			○			
佐賀県	7	2 ～ 5	1 ～ 3	50～100			○			
長崎県	5 ～ 12	3 ～ 6	～	60～100			○			
熊本県	7 ～ 8	3 ～ 7	3	95.9			○			
大分県	3 ～ 12	3 ～ 4	—	80～90			○			
宮崎県	7 ～ 11	1 ～ 3	0.5 ～ 2	50～100			○			
鹿児島県	6～12	1～6	1～2	60～100			○			
沖縄県	2 ～ 3	2 ～ 3	2 ～ 3	70～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・先月同様、現状の工場稼働率は低く、年明けの仕事量も少ない状況。特に中小物件が非常に少ない状況。
佐賀県	・再開発、設備投資案件と物件数は多いが、正式決定せず不安要素も多い。 ・仕事量および見積りも少ない。単価が下がり気味になっているが、安値で受注しないこと。
長崎県	各社ばらつきが大きい。材料費は少し弱含みの傾向。少し涼しくなり作業性は良い。依然チェックバックが課題である。安値傾向がでてきているようだ。
熊本県	見積りが少ない。公共工事が少ない。中小物件が少ない。副資材が高くなった。運送費が高くなる。人材が不足している。図面の承認が遅いので、予定より作図工程が遅くなり工場の工程がうまく流れない。TSMC関連の工事に期待する。
大分県	◎やっと物件が動き出した感じ。見積りは増加傾向。どの現場も図面承認が遅く製作期間を圧迫して製作工程が読めない。変更が多すぎる。◎Mグレードは指値がだんだん厳しくなっている。◎引合いの件数が急に少なくなっている。◎全国的に仕事が減ってきているので単価が下がっている。
宮崎県	・図面遅延による工程の遅れで全体的に稼働率が下がってきている。年明けに一気に動き出す可能性大で工程管理が難しい。 ・補修・改修工事が増えて、新築物件が少ない。
鹿児島県	少し見積りが増えて来たが、まだ絶対量は足りていない状況。来年にかけて仕事量が落ちるとの見方もあるが、材料費の値下がりにより好転することを期待したい。
沖縄県	・公共工事の発注が少ない。見積物件は中規模鉄骨が少なく、躯体金物工事が多い。工場稼働率は図面承認遅れで各社にバラツキがある。

【理24-7-報2①】別冊

業界動向調査(運営委員会)調査結果

速報版／抜粋

調査期間
2024 年 9 月 25 日～10 月 25 日 → ※11 月 8 日まで延長

回答率推移(全体)

2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年(今回)
1,110 件 49.4%	1,127 件 50.7%	1,086 件 48.1%	1,168 件 52.6%	1,077 件 49.5%	1,586 件 73.6%

回答率推移(県別)

	2022 年 回答率	2023 年 回答率	2024 年 回答率
北海道	80%	69.3%	78.9%
青森	72%	36.1%	77.8%
岩手	38%	62.5%	93.5%
宮城	50%	48.8%	84.6%
秋田	44%	34.8%	78.3%
山形	64%	63.0%	51.9%
福島	41%	27.4%	83.3%
茨城	31%	28.3%	73.3%
栃木	40%	44.0%	66.0%
群馬	56%	59.4%	94.0%
埼玉	51%	51.9%	63.3%
千葉	44%	28.1%	57.1%
東京	57%	40.4%	75.0%
神奈川	41%	86.4%	95.3%
新潟	51%	41.2%	59.5%
山梨	48%	35.5%	72.4%
長野	43%	32.3%	46.0%
富山	28%	33.3%	36.8%
石川	70%	69.7%	68.8%
福井	45%	34.9%	54.8%
岐阜	42%	37.0%	43.1%
静岡	61%	34.8%	72.7%
愛知	56%	48.8%	48.0%
三重	71%	63.9%	76.7%

	2022 年 回答率	2023 年 回答率	2024 年 回答率
滋賀	68%	51.6%	83.3%
京都	46%	23.4%	63.8%
大阪	46%	51.9%	86.9%
兵庫	62%	64.0%	71.4%
奈良	38%	33.3%	60.0%
和歌山	74%	54.3%	83.3%
鳥取	64%	86.7%	100.0%
島根	35%	54.5%	77.3%
岡山	70%	71.4%	88.2%
広島	46%	37.5%	72.5%
山口	45%	86.5%	91.9%
徳島	42%	32.0%	84.0%
香川	30%	27.3%	75.6%
愛媛	29%	46.3%	90.0%
高知	21%	31.8%	100.0%
福岡	94%	56.9%	86.0%
佐賀	56%	60.0%	95.8%
長崎	33%	100.0%	100.0%
熊本	100%	100.0%	100.0%
大分	70%	100.0%	100.0%
宮崎	60%	88.0%	92.0%
鹿児島	72%	79.3%	100.0%
沖縄	44%	33.3%	80.0%
全体	52.6%	49.5%	73.6%

2024年度 会員企業 業界動向調査(2023年度分)集計結果について

1. 調査の概要

- 1) 調査対象 構成員工場／2,156社
2) 調査期間 2024年9月25日(金) ～ 11月8日(金)
3) 有効回答企業数

	S/H	M	R	J	未認定	計
調査対象数(社)	301	805	559	39	452	2,156
調査回答数(社)	270	684	419	23	190	1,586
調査回答率(%)	89.7	85.0	75.0	59.0	42.0	73.6

2. 調査結果の概要

従業員数について(全体／男女)

		グレード					合計
		S/H	M	R	J	未	
企業数(回答)		270	684	419	23	190	1,586
従業員数	全体（人）	再集計・再調整					
	平均（人/社）						
	男性（人）						
	平均（人/社）						
	女性（人）						
	平均（人/社）						
女性比率（%）							

注) 労働時間／週20時間未満は、0.5人で計算

従業員数について(詳細／男女)

		グレード					合計
		S/H	M	R	J	未	
企業数(回答)		270	684	419	23	190	1,586
60歳以上の	全体(人)	1,819	2,127	773	28	547	5,294
男性	平均(人/社)	6.7	3.1	1.8	1.2	2.9	3.3
60歳以上の	全体(人)	334.5	349.5	174.5	6	72	936.5
女性	平均(人/社)	1.2	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6
管理職に就いている	全体(人)	2,233	2,584	919	30	824	6,590
男性	平均(人/社)	8.3	3.8	2.2	1.3	4.3	1.4
管理職に就いている	全体(人)	201	327	182.5	11	174	895.5
女性	平均(人/社)	0.7	0.5	0.4	0.5	0.9	0.1
障がい者雇用	全体(人)	121	86.5	24	1	45	277.5
男性	平均(人/社)	0.4	0.1	0.1	0.04	0.2	0.1
障がい者雇用	全体(人)	20	27.5	2	0	7.5	57
女性	平均(人/社)	0.1	0.04	0.005	0	0.04	0.04
外国人技能実習生	全体(人)	1,333	962	297	9	165	2,766
男性	平均(人/社)	4.9	1.4	0.7	0.4	0.9	1.7
外国人技能実習生	全体(人)	2	31	8	0	0	41
女性	平均(人/社)	0.01	0.05	0.02	0	0	0.03
高度外国人材	全体(人)	220	101	53	0	13	387
男性	平均(人/社)	0.8	0.1	0.1	0	0.1	0.2
高度外国人材	全体(人)	65	26	11	0	3	105
女性	平均(人/社)	0.2	0.04	0.03	0	0.02	0.1
特定技能外国人	全体(人)	232	315	53	0	90	690
男性	平均(人/社)	0.9	0.5	0.1	0	0.5	0.4
特定技能外国人	全体(人)	4	12	3	0	0	19
女性	平均(人/社)	0.01	0.02	0.01	0	0	0.01
上記以外での外国人雇用	全体(人)	181.5	149	43	1	17	391.5
男性	平均(人/社)	0.7	0.2	0.1	0	0.1	0.2
上記以外での外国人雇用	全体(人)	29	19	6	0	6	60
女性	平均(人/社)	0.1	0.03	0.01	0	0.03	0.04

注) 労働時間／週20時間未満は、0.5人で計算

従業員数について(女性職種別)

		グレード					合計
		S/H	M	R	J	未	
企業数(回答)		270	684	419	23	190	1,586
女性 職種別	一般事務 構成比(%)	再集計・再調整					
	営業関係 構成比(%)						
	設計・図面・積算 構成比(%)						
	製造管理・検査 構成比(%)						
	工場作業 構成比(%)						
	その他職種 構成比(%)						
	合計 構成比(%)						

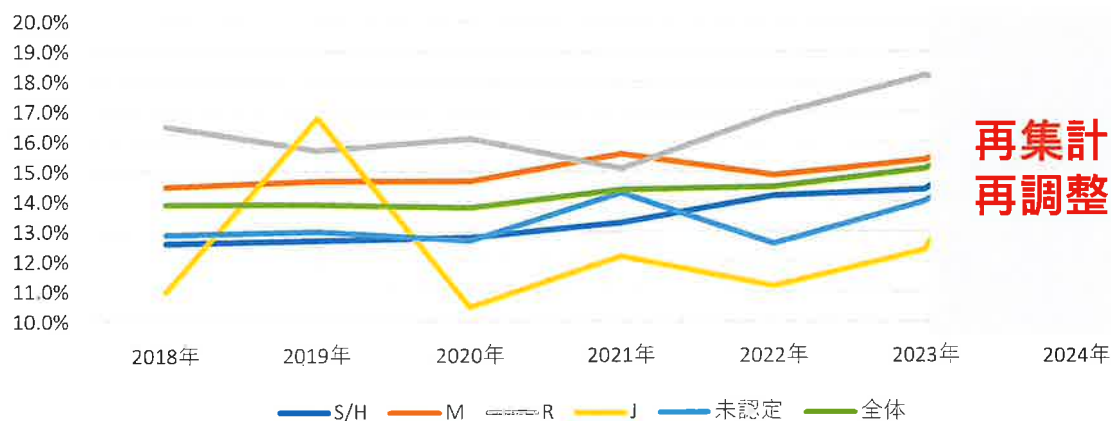
注) 労働時間/週20時間未満は、0.5人で計算

※職責上兼務されている場合、それぞれにカウントしている可能性が高いため
合計数が上記表の女性従業員数と異なっている

従業員女性比率推移（全体・グレード別）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
S/H	12.6%	12.7%	12.8%	13.3%	14.2%	14.4%	再集計 再調整
M	14.5%	14.7%	14.7%	15.6%	14.9%	15.4%	
R	16.5%	15.7%	16.1%	15.1%	16.9%	18.2%	
J	11.0%	16.8%	10.5%	12.2%	11.2%	12.4%	
未認定	12.9%	13.0%	12.7%	14.3%	12.6%	14.0%	
全体	13.9%	13.9%	13.8%	14.4%	14.5%	15.1%	

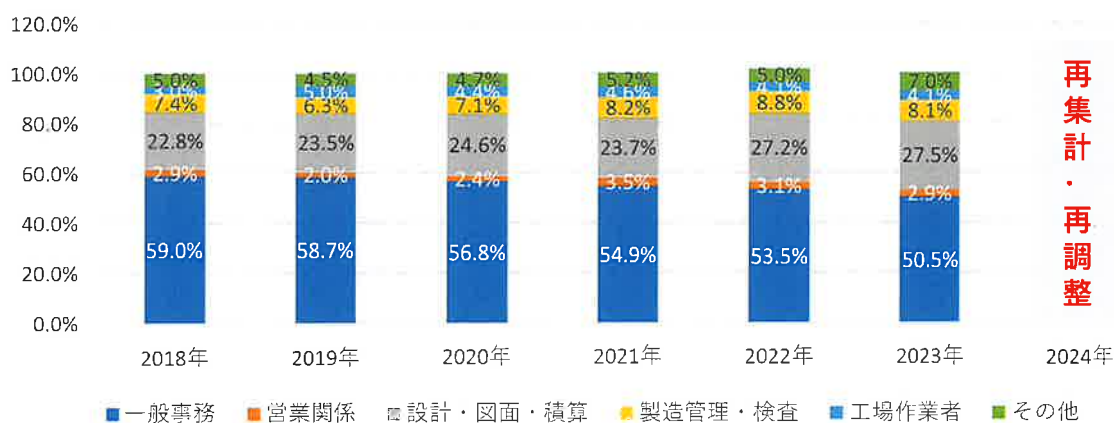
従業員女性比率推移（全体・グレード別）



女性の職種別割合推移（全体）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
一般事務	59.0%	58.7%	56.8%	54.9%	53.5%	50.5%	再集計 再調整
営業関係	2.9%	2.0%	2.4%	3.5%	3.1%	2.9%	
設計・図面・積算	22.8%	23.5%	24.6%	23.7%	27.2%	27.5%	
製造管理・検査	7.4%	6.3%	7.1%	8.2%	8.8%	8.1%	
工場作業	3.0%	5.0%	4.4%	4.6%	4.1%	4.1%	
その他	5.0%	4.5%	4.7%	5.2%	5.0%	7.0%	

女性の職種別割合推移（全体）



設問5

貴社の直近の決算状況についてお尋ねします。(鉄骨事業対象)
損益計算書(P/L)の売上総利益(粗利益)をお答え下さい。

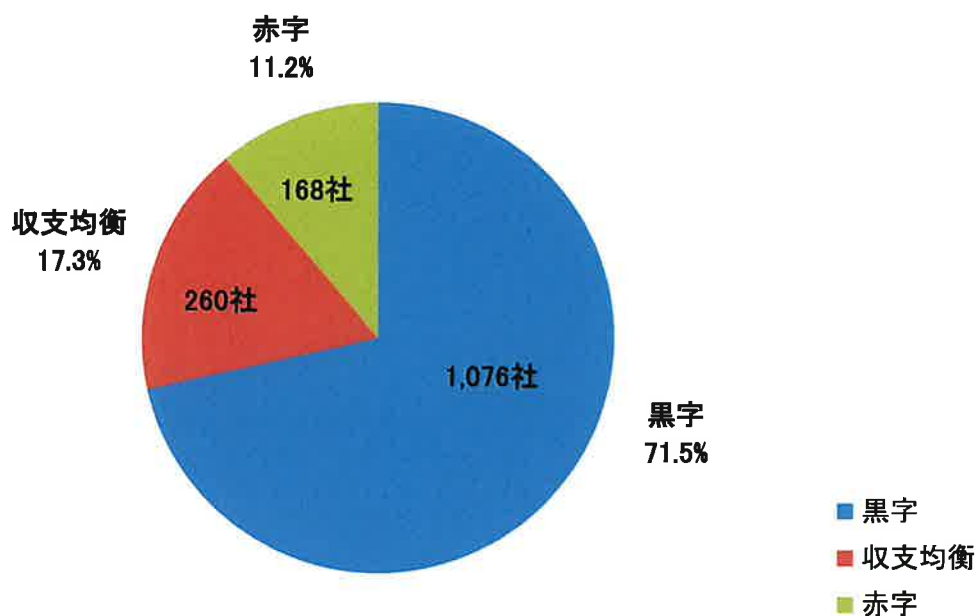
<調査結果のポイント>

※コメント未記入

設問5 損益計算書の売上総利益(粗利益)

有効回答数:1,504社

S/H 262、M 651、R 396、J 20、未 175



※設問5のグレード別分析、地域別分析は後頁参照

	S/H		M		R		J		未		計
	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	
黒字	227	86.6%	489	75.1%	250	63.1%	9	45.0%	101	57.7%	1076
											71.5%
収支均衡	27	10.3%	102	15.7%	78	19.7%	9	45.0%	44	25.1%	260
											17.3%
赤字	8	3.1%	60	9.2%	68	17.2%	2	10.0%	30	17.1%	168
											11.2%
合計	262	100.0%	651	100.0%	396	100.0%	20	100.0%	175	100.0%	1,504

設問6

貴社の直近の決算状況についてお尋ねします。(鉄骨事業対象)
決算書の損益計算書(P/L)の営業利益をお答え下さい。

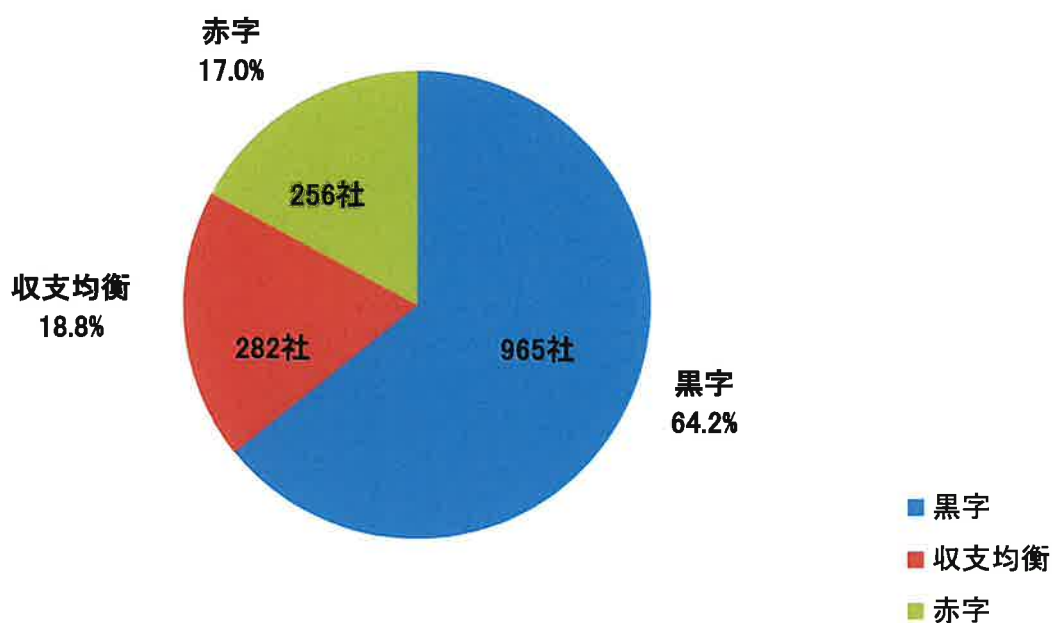
<調査結果のポイント>

※コメント未記入

設問6 損益計算書の営業利益

有効回答数:1,503社

S/H 262、M 655、R 393、J 18、未 175



※設問6のグレード別分析、地域別分析は後頁参照

	S/H		M		R		J		未		計
	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	
黒字	210	80.2%	443	67.6%	209	53.2%	8	44.4%	95	54.3%	965
											64.2%
収支均衡	30	11.5%	112	17.1%	84	21.4%	7	38.9%	49	28.0%	282
											18.8%
赤字	22	8.4%	100	15.3%	100	25.4%	3	16.7%	31	17.7%	256
											17.0%
合計	262	100.0%	655	100.0%	393	100.0%	18	100.0%	175	100.0%	1,503

グレード別決算状況 (未認定含む)

2024 S/H262 M651 R396 J20 未175 合計1,504/2,156
2023 S/H203 M465 R259 J12 未104 合計1,043/2,176

□売上総利益 (粗利益)

グレード	黒字			収支均衡			赤字		
	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異
S/H	86.6%	84.2%	2.4%	10.3%	7.9%	2.4%	3.1%	7.9%	-4.8%
M	75.1%	75.7%	-0.6%	15.7%	17.3%	-1.6%	9.2%	7.7%	1.5%
R	63.1%	62.5%	0.6%	19.7%	20.5%	-0.8%	17.2%	17.0%	0.2%
J	45.0%	66.7%	-21.7%	45.0%	25.0%	20.0%	10.0%	8.3%	1.7%
未認定	57.7%	41.3%	16.4%	25.1%	29.8%	-4.7%	17.1%	28.8%	-11.7%
全体	71.5%	70.6%	0.9%	17.3%	17.3%	0.0%	11.2%	12.2%	-1.0%

□営業利益

グレード	黒字			収支均衡			赤字		
	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異
S/H	80.2%	74.4%	5.8%	11.5%	10.0%	1.5%	8.4%	16.0%	-7.6%
M	67.6%	66.0%	1.6%	17.1%	17.0%	0.1%	15.3%	17.0%	-1.7%
R	53.2%	52.3%	0.9%	21.4%	23.0%	-1.6%	25.4%	25.0%	0.4%
J	44.4%	66.7%	-22.3%	38.9%	25.0%	13.9%	16.7%	8.0%	8.7%
未認定	54.3%	35.2%	19.1%	28.0%	37.0%	-9.0%	17.7%	28.0%	-10.3%
全体	64.2%	61.0%	3.2%	18.8%	19.0%	-0.2%	17.0%	20.0%	-3.0%

地区別売上総利益(粗利益)状況(未認定含む)

	黒字			収支均衡			赤字		
	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異
北海道	72.7%	69.0%	3.7%	16.4%	17.0%	-0.6%	10.9%	14.0%	-3.1%
東北	76.9%	80.0%	-3.1%	14.1%	8.0%	6.1%	9.0%	12.0%	-3.0%
関東	71.5%	73.0%	-1.5%	20.6%	18.0%	2.6%	7.9%	9.0%	-1.1%
北陸	76.8%	78.0%	-1.2%	14.3%	16.0%	-1.7%	8.9%	6.0%	2.9%
中部	71.6%	70.0%	1.6%	16.0%	15.0%	1.0%	12.4%	15.0%	-2.6%
近畿	65.7%	69.0%	-3.3%	20.2%	22.0%	-1.8%	14.0%	9.0%	5.0%
中国	71.9%	66.0%	5.9%	11.6%	14.0%	-2.4%	16.4%	20.0%	-3.6%
四国	70.0%	61.0%	9.0%	16.0%	20.0%	-4.0%	14.0%	20.0%	-6.0%
九州	73.1%	69.0%	4.1%	17.2%	20.0%	-2.8%	9.7%	11.0%	-1.3%
全国平均	71.5%	71.0%	0.5%	17.3%	17.0%	0.3%	11.2%	12.0%	-0.8%

地区別営業利益状況 (未認定含む)

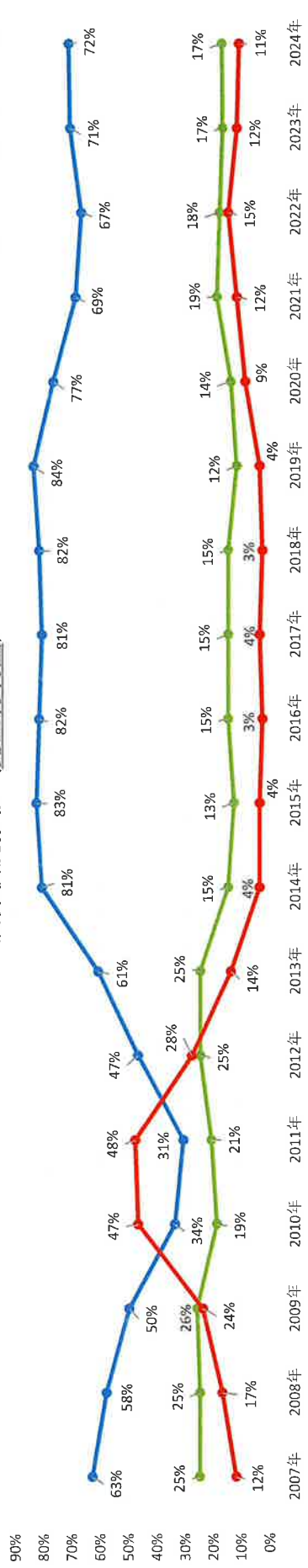
	黒字			収支均衡			赤字		
	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異	2024調査	2023調査	差異
北海道	72.2%	67.0%	5.2%	11.1%	17.0%	-5.9%	16.7%	15.0%	1.7%
東北	65.6%	69.0%	-3.4%	17.2%	13.0%	4.2%	17.2%	18.0%	-0.8%
関東	63.4%	62.0%	1.4%	23.0%	21.0%	2.0%	13.6%	17.0%	-3.4%
北陸	71.4%	76.0%	-4.6%	12.5%	18.0%	-5.5%	16.1%	6.0%	10.1%
中部	65.3%	60.0%	5.3%	17.1%	18.0%	-0.9%	17.6%	22.0%	-4.4%
近畿	60.1%	61.0%	-0.9%	23.9%	22.0%	1.9%	16.0%	17.0%	-1.0%
中国	61.2%	53.0%	8.2%	11.6%	13.0%	-1.4%	27.2%	34.0%	-6.8%
四国	66.0%	54.0%	12.0%	15.0%	26.0%	-11.0%	19.0%	20.0%	-1.0%
九州	65.8%	58.0%	7.8%	18.5%	22.0%	-3.5%	15.8%	20.0%	-4.2%
全国平均	64.2%	61.1%	3.1%	18.8%	19.1%	-0.3%	17.0%	19.8%	-2.8%

決算状況推移 (売上総利益／全体)

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
黒字	63%	58%	50%	34%	31%	47%	61%	81%	83%	82%	81%	82%	84%	77%	69%	67%	71%	72%
収支均衡	25%	25%	26%	19%	21%	25%	25%	15%	13%	15%	15%	15%	12%	14%	19%	18%	17%	17%
赤字	12%	17%	24%	47%	48%	28%	14%	4%	4%	3%	4%	3%	4%	9%	12%	15%	12%	11%

決算状況推移 (売上総利益)

● 黒字 ● 収支均衡 ● 赤字

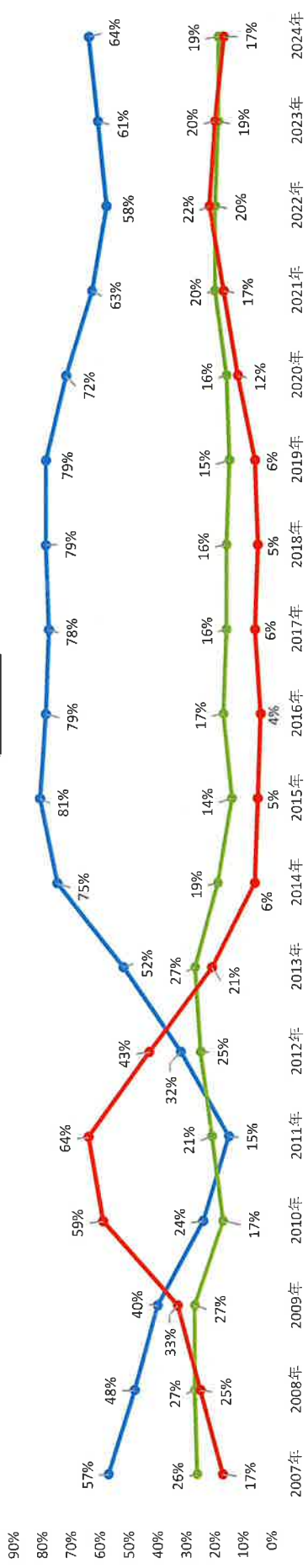


決算状況推移 (営業利益／全体)

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
黒字	57%	48%	40%	24%	15%	32%	52%	75%	81%	79%	78%	78%	79%	79%	72%	63%	58%	64%
収支均衡	26%	27%	27%	17%	21%	25%	27%	19%	14%	17%	16%	16%	15%	16%	20%	20%	20%	19%
赤字	17%	25%	33%	59%	64%	43%	21%	6%	5%	4%	6%	6%	5%	6%	12%	17%	22%	17%

決算状況推移 (営業利益)

● 黒字 ● 収支均衡 ● 赤字



【理24－7－報3】別冊

全構協・青年部 意見交換会

2024年11月20日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

全構協・青年部 意見交換会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協会

場所 鉄鋼会館 801 号室

日時 2024 年 11 月 20 日(水)

時間 13:00-15:50

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 0. 事務連絡(スケジュール概略、出席者紹介) | [2-3 分] |
| 1. 全構協 永井会長 挨拶 | [5 分] |
| 2. 全構協 2024 年度事業計画 説明 | [10 分] |
| 3. 意見交換会 | [60 分] |
| ・ディスカッション 1 | |
| 議題／私たちの業界、自社が抱える課題 | |
| ～人手不足、人材確保、人材育成についての悩みとその解決策～ | |
| ディスカッション(30 分)、グループ発表・三役コメント(30 分) | |
| ～休憩～ | [15 分] |
| ・ディスカッション 2 | [60 分] |
| 議題／青年部活動に関する課題 | |
| ～会員の減少と活動についての悩みとその解決策～ | |
| ディスカッション(30 分)、グループ発表・三役コメント(30 分) | |
| 4. 業界動向調査について | [5 分] |
| 5. 結び 永井会長 | [5 分] |

懇親会

場所 鉄鋼会館 802-804 号室

時間 16:00-17:30

全構協・青年部 意見交換会(懇親会) 出席者名簿／全構協

2024年11月20日

No.	役職名	氏名	意見交換会 13:00～	懇親会 16:00～	備 考
1	会 長	永 井 毅	出	出	
2	副 会 長	大 竹 良 明	出	出	
3	副 会 長	板 垣 昌 之	出	出	
4	理 (相 談 役) 事	米 森 昭 夫	出	出	
5	支 部 長 北 海 道	竹 原 慎 雅	出	出	
6	支 部 長 東 北	三 浦 隆 宏	出	出	
7	支 部 長 関 東	安 達 次 雄	出	出	
8	支 部 長 北 陸	前 田 正 美	出	欠	
9	支 部 長 中 部	稲 垣 法 信	出	出	
10	支 部 長 近 畿	佐 野 勝 也	出	出	
11	支 部 長 中 国	妹 尾 一 人	出	出	
12	支 部 長 四 国	登 尾 昌 弘	出	出	
13	支 部 長 九 州	岩 永 洋 尚	出	出	
14	専 務 理 事	小 貫 武	出	出	
15	事 務 局 長	平 井 直 樹	出	出	
16	技 術 部 長	安 藤 慶 治	出	出	
17	総 務 部 長	大 原 弘 光	出	出	
18	技 術 部 専 任 部 長	新 村 洋 行	出	出	
19	総 務 部 課 長	滝 本 英 二	出	出	

出 席
欠 席

19
0

18
1

全構協・青年部 意見交換会(懇親会) 出席者名簿／青年部

2024年11月20日

<青年部>

グループ	都道府県	氏名	会社名	グレード	役職	意見交換会	懇親会
A	1. 北海道	北川 亮	(株)北川組鉄工所	H	代表取締役専務	○	○
C	2. 青森	菅岡 哲郎	(株)三輪鉄建	M	取締役副社長	○	○
A	3. 岩手	加賀谷 浩一	(株)カガヤ	H	代表取締役	○	○
B	4. 宮城	中辻 淳	正和工業(株)	H	代表取締役	○	○
D	5. 秋田	北嶋 伸也	北嶋鉄工(株)	M	専務取締役	○	○
E	6. 山形	布施 拓也	布施建設(株)	M	代表取締役社長	○	○
F	7. 福島	祓川 英之	(株)郡山鉄工所	M	代表取締役	○	○
I	8. 茨城	加藤 康彦	加藤鉄工建設	未認定	代表	○	欠席
H	9. 栃木	黒須 正明	(有)黒須鉄工	R	代表取締役	○	○
G	10. 群馬	青木 聡	(有)青木鉄工所	M	専務取締役	○	○
A	11. 埼玉	新井 公太	(株)アラコウ	H	代表取締役	欠席	
C	12. 千葉	杉本 龍生	(株)杉本製作所	M	代表取締役	○	○
D	13. 東京	池田 和隆	池田鉄工(株)	M	代表取締役	○	○
I	14. 神奈川	鈴木 昭典	佐原工業(株)	R	専務取締役	○	○
E	15. 新潟	菅家 基史	ファブ・エス(株)	M	代表取締役	○	○
F	16. 山梨	橋本 孝一	(株)橋本鉄工	M	代表取締役社長	○	○
B	17. 長野	長岡 拓馬	長岡鉄工(株)	H	専務取締役	○	○
A	18. 富山	西村 大仁郎	中越鉄工(株)	H	代表取締役社長	○	○
H	19. 石川	松田 真弘	(株)マツダ	未認定	代表取締役	○	欠席
B	20. 福井	富田 康人	テックル(株)	H	代表取締役社長	○	○
B	21. 岐阜	多和田 靖也	(株)カジケイ鉄工	H	代表取締役	○	○
H	22. 静岡	八木 茂晴	(有)八木製作所	R	取締役	欠席	
G	23. 愛知	橋本 直也	(株)橋本鉄工所	M	代表取締役社長	○	○
C	24. 三重	伊藤 健一郎	(株)後藤鉄工所	M	代表取締役	○	○
I	25. 滋賀	前田 祐一	前田工業(株)	R	代表取締役	○	○
H	26. 京都	長西 朋宏	(株)オサニシ	R	代表取締役	○	○
D	27. 大阪	田上 友貴	山堀建設(株)	M	工場長	○	○
E	28. 兵庫	池田 智哉	(株)新免製作所	M	営業部長	○	○
F	29. 奈良	水野 壮平	水野鉄工(株)	M	常務取締役	欠席	
G	30. 和歌山	蒲田 佳亮	(株)蒲田	M	専務取締役	○	○
C	31. 鳥取	西原 泰仁	大照建工(株)	M	専務取締役	○	○
D	32. 島根	岡崎 健悟	建鉄工業(株)	M	取締役工務課長	○	欠席
I	33. 岡山	浜場 光介	(有)勝己鉄工所	R	専務取締役	○	○
A	34. 広島	光村 圭介	ミツヤ工業(株)	H	常務取締役	○	○
E	35. 山口	益田 裕樹	(株)マスタ鉄工	M	常務	○	○
F	36. 徳島	三輪 康貴	(有)三輪鉄工所	M	取締役	○	○
G	37. 香川	小林 鉄平	(株)小林鉄工所	M	代表取締役社長	○	○
B	38. 愛媛	上田 政志	(株)林鐵工所	H	代表取締役社長	○	欠席
H	39. 高知	北村 昌弘	(株)北村工業	R	代表取締役	○	○
C	40. 福岡	堤 倫亮	(株)堤鉄構	M	代表取締役社長	○	○
I	41. 佐賀	上原 泰三	上原鉄工建設(株)	R	代表取締役	○	○
D	42. 長崎	武田 政彦	(有)武田鉄骨	M	専務取締役	欠席	
E	43. 熊本	平松 伸吾	平松建設(株)	M	取締役専務	○	○
F	44. 大分	佐藤 陽一	(株)三陽	M	代表取締役社長	○	○
H	45. 宮崎	淵上 敦之	(有)淵上鉄工所	R	代表取締役	○	○
A	46. 鹿児島	入木田 智聡	(有)入木田鐵工	H	代表取締役	○	○
B	47. 沖縄	下地 秀人	(株)宮昌工業	H	工事部長	○	欠席

出席／47 出席／41

<全青会>

グループ	氏名		会社名	グレード	役職	意見交換会	懇親会
G	会長	坂本 泰雄	坂本建設(有)	M	代表取締役	○	○
C	副会長	金本 貴範	(株)日伸鉄工建設	M	代表取締役	○	○
D	副会長	谷本 匡朗	四国建築鉄工(株)	M	代表取締役	○	○

全構協・青年部 意見交換会 座席表

2024年11月20日(水) 13:00~16:00 於:競綱会館 801号室

北海道支部長 竹原 慎雄	三浦 隆宏	東北支部長	安達 次雄	関東支部長	前田 正美	北陸支部長	稲垣 達信	中部支部長	佐野 勝也	近畿支部長	妹尾 一人	中国支部長	豊尾 昌弘	四国支部長	岩永 洋尚	九州支部長

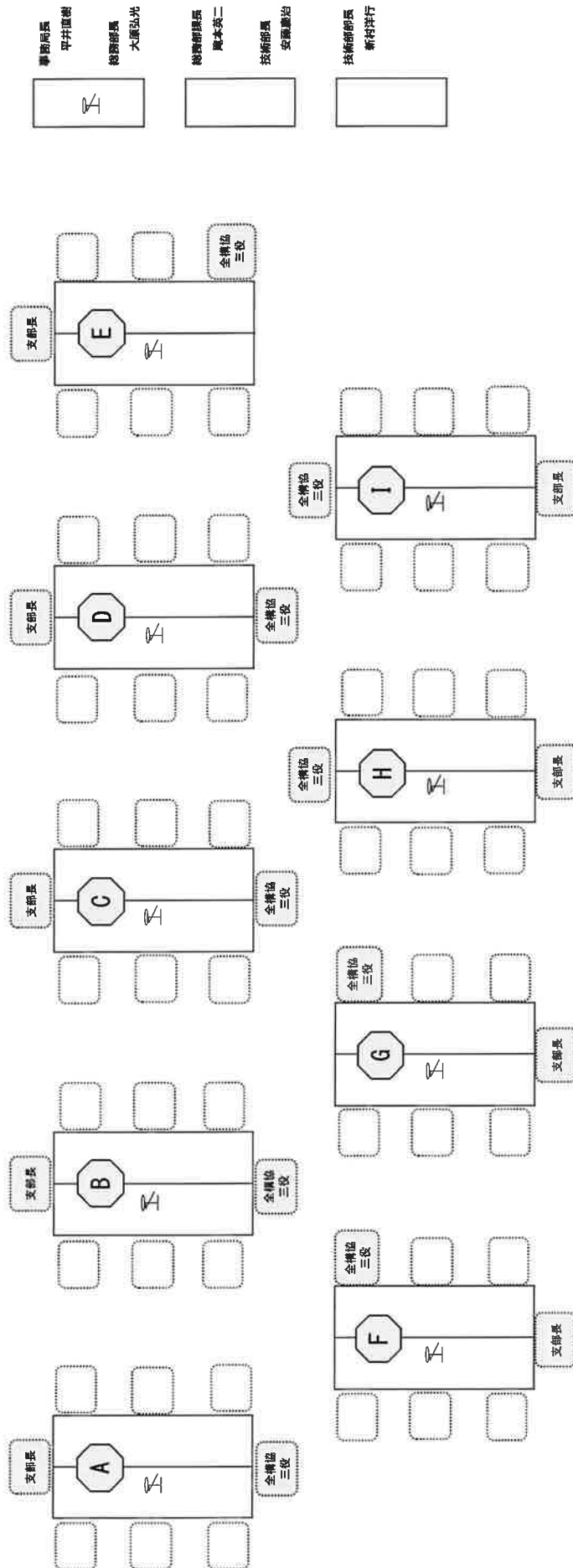
米 相 談 役
米 澤 昭 夫

大 副 会 員
大 竹 良 明

永 井 会 員
永 井 毅

板 垣 副 会 員
板 垣 昌 之

小 崎 理 事
小 崎 武 蔵



【グループ分け】全構協・青年部 意見交換会

2024年11月20日

A	1. 北海道	北川 亮	(株)北川組鉄工所	H
	3. 岩手	加賀谷 浩一	(株)カガヤ	H
	11. 埼玉	新井 公太	欠席	
	18. 富山	西村 大仁郎	中越鉄工(株)	H
	34. 広島	光村 圭介	ミツヤ工業(株)	H
	46. 鹿児島	入木田 智聡	(有)入木田鐵工	H
	前半	竹原理事		
	後半	佐野理事		

F	7. 福島	祓川 英之	(株)郡山鉄工所	M
	16. 山梨	橋本 孝一	(株)橋本鉄工	M
	29. 奈良	水野 壮平	欠席	
	36. 徳島	三輪 康貴	(有)三輪鉄工所	M
	44. 大分	佐藤 陽一	(株)三陽	M
	前半	佐野理事		
	後半	前田理事		

B	4. 宮城	中辻 淳	正和工業(株)	H
	17. 長野	長岡 拓馬	長岡鉄工(株)	H
	20. 福井	富田 康人	テックル(株)	H
	21. 岐阜	多和田 靖也	(株)カジケイ鉄工	H
	38. 愛媛	上田 政志	(株)林鐵工所	H
	47. 沖縄	下地 秀人	(株)宮昌工業	H
	前半	三浦理事		
	後半	岩永理事		

G	10. 群馬	青木 聡	(有)青木鉄工所	M
	23. 愛知	橋本 直也	(株)橋本鉄工所	M
	30. 和歌山	蒲田 佳亮	(株)蒲田	M
	37. 香川	小林 鉄平	(株)小林鉄工所	M
	会長	坂本 泰雄	坂本建設(有)	M
	前半	妹尾理事		
	後半	安達理事		

C	2. 青森	菅岡 哲郎	(株)三輪鉄建	M
	12. 千葉	杉本 龍生	(株)杉本製作所	M
	24. 三重	伊藤 健一郎	(株)後藤鉄工所	M
	31. 鳥取	西原 泰仁	大照建工(株)	M
	40. 福岡	堤 倫亮	(株)堤鉄構	M
	副会長	金本 貴範	(株)日伸鉄工建設	M
	前半	安達理事		
	後半	妹尾理事		

H	9. 栃木	黒須 正明	(有)黒須鉄工	R
	22. 静岡	八木 茂晴	欠席	
	26. 京都	長西 朋宏	(株)オサニシ	R
	39. 高知	北村 昌弘	(株)北村工業	R
	45. 宮崎	淵上 敦之	(有)淵上鉄工所	R
	19. 石川	松田 真弘	(株)マツダ	未認定
	前半	登尾理事		
	後半	竹原理事		

D	5. 秋田	北嶋 伸也	北嶋鉄工(株)	M
	13. 東京	池田 和隆	池田鉄工(株)	M
	27. 大阪	田上 友貴	山堀建設(株)	M
	32. 島根	岡崎 健悟	建鉄工業(株)	M
	42. 長崎	武田 政彦	欠席	
	副会長	谷本 匡朗	四国建築鉄工(株)	M
	前半	前田理事		
	後半	稲垣理事		

I	14. 神奈川	鈴木 昭典	佐原工業(株)	R
	25. 滋賀	前田 祐一	前田工業(株)	R
	33. 岡山	浜場 光介	(有)勝己鉄工所	R
	41. 佐賀	上原 泰三	上原鉄工建設(株)	R
	8. 茨城	加藤 康彦	加藤鉄工建設	未認定
	前半	岩永理事		
	後半	登尾理事		

E	6. 山形	布施 拓也	布施建設(株)	M
	15. 新潟	菅家 基史	ファブ・エス(株)	M
	28. 兵庫	池田 智哉	(株)新免製作所	M
	35. 山口	益田 裕樹	(株)マสด鉄工	M
	43. 熊本	平松 伸吾	平松建設(株)	M
	前半	稲垣理事		
	後半	三浦理事		

2024年度 事業計画

I. 基本方針

2023年暦年の推計鉄骨需要量は約 391万トン（対前年比11.6%減）と、暦年合計では1967年以来57年ぶりとなる400万トン割れとなった。

新型コロナウイルスの収束もあり、緩やかな需要の回復が期待されていたが、各地域で減少するという厳しい結果となった。

2024年の鉄骨市場については、東欧・中東、東アジアにおける世界情勢の混迷や国内経済における長引く円安の影響、諸物価の高騰、各分野における2024年問題等の不透明感が払拭出来ない中、安定しない状況が継続すると予想される。大阪万博や物流中継基地の新築需要、IT 関係の工場建設等、大型物件はあるものの、計画の見直し等の動向に注意を要する状況である。

今我々は、様々な構造変化、特に働き方改革があらゆる分野で進行する中、従来とは異なる事業環境下で生産活動を行っている。今後は、従来とは違う活動水準のもとでも、生産性を向上させることにより収益を確保し、従業員の賃金上昇と人材の確保を実現していくという取組みが求められている。

本年は、このような様々な構造変化に対応しつつ、我々が社会から選ばれる業界となり発展を遂げていくためのスタートの年にすべきと考えており、『社会の変化を見極めて迅速的確に行動する年』と位置付け、以下4点、

1. 品質管理体制の維持強化
2. 人材確保・人材育成
3. 構造変化への対応
4. 業界の将来像を見据えた取組み

を基軸として事業を進めていくこととした。

1. 品質管理体制の維持強化

品質管理体制を維持強化していくことは我々の継続的な発展のために欠かすことのできない取組みであり、鉄骨品質への信頼は、我々が一貫して取り組んできた継続的な活動の成果である。

引き続きこの信頼を守り抜き、社会基盤を支える責務を果たすため、新たな視点をもって関連業界を含めた品質管理体制の維持強化を進めるとともに、品質の向上に努めていく。

2. 人材確保・人材育成

好循環を生み出し、我々が社会から選ばれる業界へと発展を遂げていくためには、人材確保と人材育成は不可欠である。多様な人材確保と継続的な人材育成について、施策内容の一層の充実を図り、実効性のある活動を行っていく。

(1) 人材確保

我々が就業先として選ばれる業界へと発展していくために、業界の認知度と理解を高め、我々が世の中になくてはならない働き甲斐のある業種であることを社会に浸透させていくための取組みを推進していく。

(2) 人材育成

昨年は、今後の人材育成施策の充実を目的として、教育体系について改めて検討したうえで、見直しを行った。本年は、トップ層から若年層まで裾野が広がった人材育成体系を前提に、効果的な教育プログラムを整備・充実させる年とする。

3. 構造変化への対応

本年も昨年同様、社会構造がめまぐるしく変化する年になると想定され、我々は状況に合わせて迅速的確に行動していく必要がある。

構造変化への対応として、以下2点に集中して取り組んでいく。

(1) 働き方改革への対応

既に働き方改革が始まっている当業界に加え、本年度は建設業界・輸送業界でも働き方改革への対応が始まり、あらゆる分野にこの波は確実に押し寄せてくる。

これらの周辺環境を的確に読み取り、我々が置かれる状況について関連業界に対して積極的な情報発信に努めるとともに、鉄骨業界の労働環境の改善を進めていく。

(2) 需給環境変化、諸物価高騰及び図面問題への対応

世界情勢に端を発した需給環境変化、国内経済面での円安傾向に伴う諸物価高騰、働き方改革にも一部起因する図面問題等、不確実性が増す中で、関係業界とのコミュニケーションの深化と情報共有が一段と重要となってきた。今後も関係業界に対して積極的な発信を行うとともに、協力して構造変化に対応していく。

4. 業界の将来像を見据えた取組み

足元の課題に着実に対応するとともに、業界の将来像を的確に見据え、迅速に対応していくことが、益々重要になってきている。

世界共通の長期目標であるカーボンニュートラルへの取り組みやSDGs、産業活動を下支えするデジタル化等の課題に対して、前広な活動計画の策定が求められる中、我々は、「中期ビジョン検討委員会」を立上げ、今後業界として求められるビジョンの策定を進めてきた。本年は、委員会からの提言を踏まえ、具体的に取り組むべき課題を整理し、優先順位を考慮した上で、ビジョンの実現に向けた活動を行っていく。

Ⅱ. 個別事業

1. 会員共益事業

(1) 経営改善関連事業

①働き方改革への対応

昨年末、建設業界に向けて働き方改革を推進していくメッセージを発信したことも踏まえ、今年度は構成員に向けて、より実効性のある働き方改革の推進を行っていく。具体的には、毎年実施している業績調査等を活用して、労働実態を的確に把握し、「年間休日の増加」、「有給休暇取得促進」等、働き方改革の課題を推進し、更には生産性の改善に繋がる様な各種取組みを検討、実施していく。

②図面問題への対応

図面承認遅れの問題に関しては、より深刻化しており、スピード感を持った対応が必要であることから、昨年度、ワーキンググループを設置し、活動を開始した。本年は関係省庁・関連団体へ訪問し要望書を提出するとともに、この活動を全国に拡げ、長年の課題を前進させるべく、各地域とも連携しながら、粘り強い活動を行っていく。

③特定技能外国人材への対応

特定技能外国人材への対応に関しては、各関係先の協力のもと経済産業省と協議を重ねていたが、2024年3月、「鉄骨製造業」が特定技能外国人材の受入れ対象分野として認められることとなった。今後は、実際の受入れに向けて、各関係先と連携しながら、制度・仕組みの検討を精力的に進めていく。

④2024年問題への対応

物流業界・建設業界においては、就労者の減少と高齢化が進展していることから、人手不足が深刻な問題となっているが、加えて、時間外労働の上限規制が2024年4月から適用となったため、特に物流業界において対応が急務となっている。物流の2024年問題に対応するため、昨年度ワーキンググループを立ち上げ、ガイドラインの策定、建設業界に対する申し入れ等の検討を行ってきた。2024年は、実際の取引において改善に繋がる様な具体的な施策を整備し構成員への周知を進めるとともに、各地域に根ざした活動を展開していく。

⑤業績等実態調査

業績等調査については、業界の現状と課題を把握するために今年度も実施する。足元の環境の変化を的確に捉えるため設問内容の整備を行うとともに、より信頼性の高い調査とすべく、回答率向上の施策についても運営委員会で検討し、構成員にとって有意義な情報となるよう取組みを進める。

⑥政府機関による諸支援制度の周知及び活用支援

「金融支援」「人材育成」等の公的支援制度について、内容の周知を図る。

⑦他団体との交流促進

賛助会員との連携と関係強化に引き続き取り組むべく、今年度も賛助会員との懇談会を開催する。

(2) 教育関連事業

①人材確保

我々が仕事に傾ける熱意を社会に知ってもらい、理解を深めてもらうツールとなるよう、昨年協会50周年の記念事業として『鉄骨人物讃歌』を作成した。業界の仕事内容、女性活躍状況等を紹介する既存の映像コンテンツ等と合わせ、各社の採用活動の充実に向け広く活用出来る様な取組みを進めていく。具体的には、コンテンツの効果的な活用方法等を検討した上で各地域に展開し、構成員の採用活動を支援していく。

②人材育成

昨年度は次世代経営研修を全9支部で開催し、幹部経営層に求められる広範なスキルに対応した教育を行った。本年度は、中堅若手社員層の更なる成長を促し将来のリーダーとなるべく育成する場を提供するという観点から、各支部において『人づくり研修』を開催すべく準備を進めていく。

また、鉄骨技術者教育センターが実施している社長の右腕育成講習会についても、引き続き助成を行っていく。

(3) その他の会員共益事業

①広報活動の推進

- i) ホームページ活用による発信力強化、迅速な情報共有
- ii) 会報の発行
- iii) 鋼構造ジャーナルの配布
- iv) 安全ポスターの作成・配布
- v) 記者会の協力を得ての広報活動

②青年部会の活動支援と連携強化

各県青年部会への助成金給付についてはこれまでも行っているが、全青会との連携と組織の在り方についても、昨年度から協議をしているところである。連携強化のため、指導・検討を継続していく。

2. 共済事業

共済事業に関する課題整理と検討については、今年度も引き続き行っていく。各支部・各協力会社と連携し、共済制度としての各事業の有効性・効率性を図りながら運営していく。

(1) 生命共済の制度維持と推進について

各県組合への収入にも影響することを再度認識し、正会員の財政基盤確立のため新規加入を推進していく。

保有契約高310億円を目標とする。

(2) 指定塗料の販売推進について

前年販売缶数30万缶を目標とする。

(3) 鋸刃の販売推進について

前年売上高1.5億円を目標とする。

(4) 損害保険の取組みについて

共済制度としての認知については、昨年度取組みを行ってきた。契約切り替えの手段も含め、実績を上げていく。

(5) オートリース事業について

事業運営自体は継続していくが、推進的な要素はなくし、必要な構成員については確実に利用できる体制とする。

3. 技術開発・普及事業

(1) 技術開発関連

①鉄骨技術研究開発助成制度の活用促進と円滑な運用

- ・鉄骨業界に有益と考えられるテーマについての研究開発に要する費用を助成する本制度の趣旨・目的等について再度周知するとともに、日常的な鉄骨製作作業の改善に係るテーマなど、身近なテーマについても積極的に応募するよう会員、構成員に対する働きかけを行う。
- ・2023年度助成案件の成果をホームページ等に公開する。

テーマ	実施者
自主検査にPA検査法を導入する為の諸課題の解決策研究について	東京鉄構工業協同組合

- ・本制度の全構協実施型として採択された以下の案件について、技術委員会にて学識者の協力を得て研究を継続する。

テーマ	提案者
溶接の入熱・パス間温度の管理方法について (標準積層図の改訂へ向けて)	東京鉄構工業協同組合

②デジタル技術の活用による鉄骨製作業務の効率化、改善の推進

- ・各種デジタル化ツールの活用支援

これまでの協会活動による下記の各種デジタル化ツールを協会会員向けホームページに公開してきた。今後も本ツールの活用の支援を行うと共に改善及び新たなツールの追加を行う。

- i) 「原価早わかりシート」「仮設金物類 原価算出シート」
- ii) 「見積一般条件」及び「見積範囲チェックリスト」「工程管理表」
- iii) 日報デジタル化ツールの情報公開
- iv) 「リモート製品検査 実施マニュアル」
- v) 「技術者・技能者資格管理一覧表」

- ・ CADによる各種の効率化及び省力化
3D-CAD利用の実態調査を踏まえ、工作図作成の効率化及び省力化を検討し、業務改善を更に推進する。

③鉄骨製作に係る技術向上・作業改善に向けた調査研究

- ・ 鉄骨製作に関する技術の向上等に資する調査研究について、技術委員会にて検討を行う。
 - i) 中期ビジョンに応じた技術的活動項目の実施
 - ii) 3D-CAD利用の実態調査を踏まえたテーマの検討
 - iii) 全構協実施型の研究開発の推進 等

④関連団体との共同研究及び委員派遣

- ・ 関連団体からの要請に応じて、技術的事項を取り扱う各種委員会に全構協鉄骨技術アドバイザー及び技術部員を派遣する。
 - 日本建築学会 : 鉄骨工事運営委員会
 - 日本溶接協会 : 溶接管理技術者認証委員会 他
 - 日本鋼構造協会 : 鉄骨工事管理責任者専門委員会 他
 - 日本非破壊検査協会 : 諮問委員会 他

(2) 技術者・技能者の技術力強化支援

①NDI-UT（レベル1）資格を取得するための講習会開催支援

- ・ 非破壊検査協会が認証するNDI-UT（レベル1）資格取得を目的として、受験申請に必要なカリキュラム（40時間）を満たす「基礎講座講習会」及び実技試験受験者を対象に行う「実技試験対策講習会」の開催について、日程、講師調整、使用教材、テキスト発注等について支援する。

②鉄骨技術者資格、鉄骨技能の検討推進

- ・ 鉄骨製作管理技術者資格の社会的価値向上を目指し、検討を継続する。また、鉄骨技能検討WGで2023年度に作成した鉄骨製造業における独自技術の評価方法を用いて、対外的に技術力をアピールする方策を継続的に検討する。

(3) 鉄骨製作工場への技術支援・指導

①技術・品質サポート制度の推進

- ・ 鉄骨製作工場の認定取得の推進、及び認定工場の技術・品質の向上を目的として、県組合が行うサポート活動を支援する。
〔実施予定工場数 全国300工場〕
- ・ 「鉄骨製作工場性能評価 工場審査の手引き」に基づき、県組合事務局をバックアップする。

②安全衛生関連の支援

- ・ 今後予想される安全衛生関連法令の改正に備え、構成員が事前準備できるよう、協会ホームページ等を活用して鉄骨製造に使用される対象化学物質等の関連情報の周知に努める。

③高規格材鉄骨製作支援制度の継続

- ・高規格材適用鉄骨の需要に円滑に対応するため、十分な技術力と品質管理能力を有する工場を適合工場として認定する高規格材鉄骨製作支援制度の円滑な運用に努める。〔2023年度末の認定工場数：17〕

④技術関連ホームページの充実

- ・鉄骨製作工場を選定する際に必要となる情報として、工場規模や加工能力などをホームページに開示するとともに、最新情報を提供できるよう適宜更新に努める。
- ・会員専用ホームページを活用して、各種技術情報を提供する。

(4) 品質管理体制の強化

- ・大臣認定工場の信頼性維持・向上を目的として、大臣認定取得後3年目の全構成員に対して、工場審査時の品質管理体制の維持状況及び技術者・技能者の資格有効の期限を含めた一覧表の整備を確認する。
- ・品質管理責任者講習制度の実施に伴い、品質管理責任者の能力向上の為の講習会に全認定工場の対象者が3年間で受講できるよう参加を推進し、講習費の全額助成を行う。
- ・一次加工は、鉄骨骨組の安全性に関わる重要な工程であり、特に接合部の品質管理については溶接やボルト接合の品質に直結する最も重要な管理項目である。製作実態の変化に伴い、一次加工の品質管理の在り方について再検討する。

4. 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者養成事業

（一社）鉄骨技術者教育センターが認定登録する「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格取得を支援する講習会を鉄骨建設業協会と共同で開催する。

(1) 新規（実技試験のための実技講習会）

※（ ）内数字は、2023年度実績（以下同様）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2024年9月～12月	2024年8月～11月
実施地	7会場（札幌、仙台、川崎、名古屋、大阪、広島、福岡）	4会場（札幌*、川崎、大阪、福岡）
予定者数	899 (913) 名	196 (244) 名

*受講者人数による

(2) 更新（実技試験のための更新講習会）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2024年8月～11月	2024年8月～11月
実施地	8会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）	6会場（札幌、仙台、川崎、名古屋、大阪、福岡）
予定者数	1,022 (1,130) 名	417 (426) 名

(3) 教育委員会講師の育成及び講習会実施方法の検討

- ・実技講習会において講師の担い手が不足しており、新たな講師を早急に育成することが、引き続きの課題となっている。この状況をふまえ、他団体へ講師派遣を要請するなど新たな人材の確保、教育委員への抜擢も視野に入れた教育事業の中核を担う人材の育成の取組みを一層強化する。

5. 鉄骨技術者教育センターの事業支援

鉄骨製作の技術者を育成するため（一社）鉄骨技術者教育センターが認定登録する「鉄骨製作管理技術者」の試験立会業務、「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の試験、講習及び登録業務を事務請負するとともに、同センターが行う教育事業等に協力する。

5-1. 鉄骨製作管理技術者関連業務の事務請負

(1) 新規試験

- ・新規の資格取得希望者を対象とした学科試験の当日立会

	1 級	2 級
試 験 日	2024年10月19日（土）	
実 施 地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡）	

5-2. 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者関連業務の事務請負

(1) 新規

- ・新規の資格取得希望者を対象とした学科試験及び実技試験の運営業務

①学科試験

※（ ）内数字は、2023年度実績（以下同様）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
試 験 日	2024年 7 月 6 日（土）	
実 施 地	8 会場（札幌、仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、広島、福岡）	7 会場（札幌、仙台、東京、 金沢、名古屋、大阪、福岡）
予 定 者 数	815（835）名	265（254）名

②実技試験

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実 施 期 間	2024年 9 月～12月	2024年 9 月～11月
実 施 地	7 会場（札幌、仙台、川崎、 名古屋、大阪、広島、福岡）	4 会場（札幌*、川崎、 大阪、福岡）
予 定 者 数	948（936）名	233（256）名

*受講者人数による

(2) 継続

- ・2025年3月31日で資格取得後5年を経過する者を対象とした継続講習の運営業務（講習動画の配信及びレポートの審査）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2025年2月	
実施地	オンデマンド	
対象者数	1,422 (1,158) 名	629 (485) 名
予定者数	1,138 (725) 名	503 (285) 名

(3) 更新

- ・2025年3月31日で資格取得後10年を経過する者を対象とした資格更新のための更新試験の運営業務

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2024年8月～12月	2024年8月～11月
実施地	8会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）	6会場（札幌、仙台、川崎、名古屋、大阪、福岡）
対象者数	1,392 (1,786) 名	569 (672) 名
予定者数	1,161 (1,187) 名	473 (480) 名

(4) 認定登録

- ・実技試験及び更新試験の合格者、並びに継続講習修了者で、認定登録を受けた者に対する登録証（2025年4月1日付け）の発行業務

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新規	556 (549) 名	158 (174) 名
継続	1,138 (1,032) 名	503 (451) 名
更新	1,120 (1,145) 名	447 (453) 名
合計	2,814 (2,419) 名	1,108 (887) 名

6. 鉄骨製作支援協議会（旧称；鉄骨製作管理技術者登録機構）の事業支援

- ・鉄骨製作に関する技術の向上等に資する調査研究の実施

以上

都道府県	議題① 「私たちの業界、自社が抱えている課題」 人手不足、人材確保、人材育成についての悩み また、それに対する解決策	議題② 「青年部活動に関する課題」 会員の減少と活動についての悩み また、それに対する解決策	左記以外で意見・質問等があれば
1. 北海道	人手不足・人材確保→ロボット化や技能実習生で補っています。	北海道は会員減少していません。 卒業会員が卒業される1～2年程前から交代予定会員に並行して入会して頂き、会の雰囲気や仲間作りをしてもらいます。また経営層からサラーマン会員の入会も増えています。維持されている状態です。	特にありません。
2. 青森	人手不足により外国人研修生頼みになっている状態。今後はグレード維持も困難になる 解決策／なし	会員の減少と家族行事が優先され活動も少なくなっていく。 解決策／なし	
3. 岩手	人手不足・人材確保が今後深刻な問題になると考えている。現状はCMや広告などを展開しており、ある程度募集に応じてはもらえている。今後は業界全体的に外国人材も増えていくと思うが彼らに対しての福利厚生もしっかり考えていかねば離職率につながるため今後はそういうことも対応していかなければならない。	県の会員数も親会・青年部とも創設期の1/3まで減少している。しかしながら直近1～2年で世代交代がようやく進み少しだけ希望が持てるようになってきたと感じている。	
4. 宮城	なし	グレードに関係なくメリットのある活動(メーカーや同業の工場見学など)が行えれば、会員減少や出席率アップに繋がるのでは。今後は親会との共同事業を行い、業界としての活性化に繋がればと思います。	
5. 秋田	・人手不足で募集をかけているが、人が入ってこない。その為、加工能力が減少し、場合によっては見積りを断るような状況もある。現状の解決策としては外注業者・業務委託をして対応している状況(例えば施工図(一般図)の作成・図面調整等)である。 ・人材育成については、教えられる側のセンスや素質もあるが、教える側の教え方も大事だと思う。別の業界から入社した人に専門用語で話をしても伝わらない。専門用語や道具・機械についても分かっているのが当たり前のというスタンスで教えても育成スピードは遅いと思うし、モチベーションも上がらないと思う。 結果、早期離職になりかねない。解決策があれば教えて頂きたいが、例えば社外の組織で図面を読みとって柱・梁の組立が出来るところまで教育してもらえ(人材育成の外部委託)ような組織があればありがたいと思う。	当県の青年部会とは比較的に若い会員にも入会して頂いているが、会員の構成比で見ると半数以下というところまで、すでに組織は老朽化していると言っても過言ではないと思う。活気の低下や活動内容やその頻度に影響があるのは避けられないと思う。会の役員構成や活動内容を見直す必要があると思う。	
6. 山形	・人手不足…高校生をターゲットとし文系理系を問わずに事業PRを行っていく ・人材確保…同上 ・人材育成…育成カリキュラムがこれまで無い⇒指導員を数名選抜し、新入社員に対しマンツーマンでの指導を行う	無し	・物価高騰と反比例し一部地域でトン単価の値崩れという話が聞こえてきているが、全社足並みを揃えるとはいかずとも、価格維持の努力は必要です。全国一斉に集まるこの場で意識統一は必要ではないでしょうか。
7. 福島	新卒・中途ともに入社希望者が少なく高齢化してきている →外国人採用しているが、期限が決まっていたりするので技術継承にはなりにくい 建設業界は、資金も安いに納期に合わせた長時間労働もあるのが職場としてのイメージが悪い →建設・製造業者連携して施主・自治体・政治にたいして納期・予算含めて特例なく休日の確保・適切な賃金を払えるための予算確保を求めていく 業界のための人材育成のための教育訓練機関(溶接など)がなくなってきた	生産年齢人口減の状況なので、すべての業種で人材不足の問題はあると思われる。減ったなりに、身の丈にあった活動を行うことが大切だと思う。青年部は気が許せる場所であることは変わりないので、存続は必要であるが、無理に拡大せずに仕事に干渉しない程度の範囲の活動を続けて行けばいいと思う	
8. 茨城	1. 職安からの面接で、業務内容の話をし、来月から来てくださーいと言った採用したにも関わらず、結局来なかった。 解決策／なし 2. 現場に行きたくないの、製造にまわしてほしいと言った社員が増えていく。 解決策／なし	1. やはり後継者が少ないのと、茨城県では定年制(50歳卒業)を設けているので、新入会員より卒業の方が多くなる傾向にある。 解決策／なし	

都道府県	議題① 「私たちの業界、自社が抱えている課題」 人手不足、人材確保、人材育成についての悩み また、それに対する解決策	議題② 「青年部活動に関する課題」 会員の減少と活動についての悩み また、それに対する解決策 会員の減少。	左記以外で意見・質問等があれば
9. 栃木	社員の給与のベースアップしているFABの現状とそのアップ率を知りたい。 人材育成ができていない。定期的に社内講習会を開く。 社員の定着率がよくない。働きやすい環境作り、会社休日を増やしている。 若手社員とベテラン社員の価値観が異なるためそのすり合わせが難しい。	会員の減少。	他県との会費の統計を知りたい。
10. 群馬	人材不足、人材確保については高校新卒に向けて求人を出してもほぼ来ないの で、大手企業に就職し、工場勤務での勤務体系や作業内容が合わなくてやめた人 を採用できれば良い方。 求人問い合わせが来ても、50歳以上で未経験だとなかなか採用できない。 若い人に選ばれるには年間休日が120日以上必要、校舎で省かれてしまうが急に 休みを増やせない。 人材育成では、パワハラ的な指示や指導が許されないの的的確な対応を取る、ま たお互い話しやすい状況を作る。	社員の方も会員になっているので会員数は維持している状況です。 年間の行事を真面目に行う、行事には賛助会員も参加しているので交流を深め、 様々なメリットを感じられれば辞める会員もなく、新規の会員も誘えるのではな いかと思います。	
11. 埼玉	無し	会員の減少とそれに伴う人材不足	無い
12. 千葉	人手不足と働き方改革	会員の減少と親会と青年部会両方への参加	
13. 東京	人材確保について、社員満足度を高める取り組みをしており、休日日数の増加、 福利厚生などを充実することで、リファラル採用が可能になります。	今後、青年部会員減少は免れないことだと思っています。しかしながら、業界の未来 を考へていく若手中心の組織は必要だと思っており、会員枠の緩和（1社2-3名、 賛助会員から募集）の検討をし、極端に会員数が減る都道府県は、隣県同士で1 つの青年部を運営する時代になってくるかもしれません。	バックオフィスのDX化に各社どのような 取り組みをしているか聞きたい 例：仕入れなどの入力を簡素化している か？ 例：請求書発行など人の手ではなく、他 の方法でやっているか？ 例：社内での業務効率化アプリを活用し ているか？
14. 神奈川	人材育成の解決策として、国も技術取得のための支援金をもっと個人的に受け取 りやすいものにしてはどうだろうか	仕事と家庭の両立でなく、家庭に重心をおく機会が増えている 組合活動として、家族のトン僕できる機会をふやす 新人がほぼ入って来ない。既存のメンバーはほとんど年をとっていく。年齢制限 は設けてないから人数の変更はないがほぼ全員親会と青年部を兼務している状 態。 また、予算も親会の助成のみで全然足りず万年金欠状態。	
15. 新潟	人手不足、人材確保 折角育つてきても辞めてしまう。給料面や休暇等、待遇を良くしていついてく る人が一定数でくる。新しい人はなかなか入って来ない。入ってきてもず ぐ使える様になるわけではない。負のスパイラル。生産量もなかなかあがらな い。	新人がほぼ入って来ない。既存のメンバーはほとんど年をとっていく。年齢制限 は設けてないから人数の変更はないがほぼ全員親会と青年部を兼務している状 態。 また、予算も親会の助成のみで全然足りず万年金欠状態。	
16. 山梨	人材不足、人材確保についてですが、当社の現状は人員的にはギリギリ足りては いるが将来的には厳しいです。 今年では中途採用で二名採用したが、一人が一月、一人が一週間で辞めてしま いました。 人材確保、人材育成に関しては不安しかありません。	なし	なし
17. 長野	人口減少が避けられない中、ブルーカラーの職種では人手不足で人手不足になる事 は必然かと思えます。 人手不足を考えると先人数に合った受注量や作業員の製作量の向上に努める ことが必要だと感じております。	会員の減少については後継者不足による減少が要因として大きいと思います。 親会で行われている後継者支援カリキュラムと共に新規参入を促進出来れば良い と感じております。 活動の悩みについては他県との交流や県単位での活動の活発化に差があると感じ ております。 SNS以外にも全国展開できるプラットフォームやツールがあれば良いと思いま す。	鉄骨需要に対して政治的な要素はどの程 度あるのでしょうか？
18. 富山	人材不足、人材確保、人材育成ではないが、鉄構業の契約体系に課題があると考 える。近年、受注内定後、施主の意向により工期の遅延や中止があり、各社山積 みの確保に苦慮していると思う。この遅延時期も、現在鋼材の納期が短い為、発 注自体が遅くなっており、リカバリーできない時期での山積み変更を迫られてい る。業界としての指針を作成すべきではないか。	富山県の場合は、青年部の年齢制限がなく、会員減少はあまり起きていない。た だ、従業員（役員）の比率が高く、他県と環境が違うために、県外での活動が 中々難しい状況である。	

都道府県	議題① 「私たちの業界、自社が抱えている課題」 人手不足、人材確保、人材育成についての悩み また、それに対する解決策	議題② 「青年部活動に関する課題」 会員の減少と活動についての悩み また、それに対する解決策	左記以外で意見・質問等があれば
19. 石川	なし	会員の減少と共に、世襲問題もあり、このような活動等は、普通の会社員ではできないのではないかと、プロック等の活動を拝見すると、普通の会社員では無理なので、活動の減少、やり方等を考えていかないといけない。	
20. 福井	引き継ぎリクルートに努めます。しかし、根本的には人手不足、人材確保の解決はその時の縁でしかないと考えています。やれることは、省力化・簡易化のために機械化・AI活用などのハード的対策が、生産量の調整(減少)などの量的な対応しかないと想定しています。特に生産量の不足に伴う加工応援などの観点からも近隣のFABとの関係は重要と考えています。	基本的に青年部はあくまで各社の希望や協力で成り立っているものと考えています。各社の本業あつての組合活動だし、青年部会活動だと思っています。無理に会員を集めて今まで通りの活動を続けていくことは無理だし、そのために各社や本人に許容できないほどの負担をかけることは時代に合わないと考えています。よって青年部活動の縮小や最悪の場合、休会することは仕方のないと考えています。特に全青会は最も先に休会等を検討すべきと考えています。	
21. 岐阜	人材の教育について、人手不足の昨今、個々の能力の違いは大きいですがその違いを教育によって小さくして、会社はいかなる人も貴重な人材と捉えて、教育の果てには双方が相乗効果を生むべく教育の模索。人材不足も教育育成によってその不足分を多少なりとも補うことができると思っています。	岐阜県は比較的会員が多い方ではと思いますが、組合加入企業数＝青年部会会員数ではありません。減少しているのであれば、もっと各社経営陣にとつて、その企業の時期幹部候補を青年部会へ加入させたいと思わせようが必要があります。全体の会員減少によりよめるものは仕方ないですが、そうでない減少は自県青年部の努力不足と捉えておられます。事業についても各県において特色があると思えますので、自県の特長と要望と必要性に沿ったものをつくるにあたり組合の方々の意見も参考にお聞きし相応しい事業を定期的に開催することを日々努力することが大切であると思います。会社の全責任を担う次期幹部に必要な事柄は何か？の問いは常に念頭に置かないと事業を間違える可能性があります。	平素は大変御世話になりありがとうございます。今後共ご指導の程宜しくお願い申し上げます。
23. 愛知	土曜日を休みにしたことによって、残業、休日出勤が増え、人件費の経費がかかる。	全国的に組合数も減っているの、青年部も減少するのは、しょうがないと思います。解決策として、次期後継者へ青年部活動が魅力的だということを示して行きたいと思っています。	特にありません。
25. 滋賀	●業界の課題『鉄鋼業界の魅力が少なく、若い世代がこの業界へ入ってこない』 解決策『鉄鋼業界の社会的地位向上による世間の認知や単価UP』、『学生へのPR強化』、『職場環境の改善』 ●自社の課題『人数の多い世代が定年退職しだすと、人材不足により事業縮小の可能性が高い』 解決策『減った人数を補うための個々のスキルアップ』、『協力会社への外部委託』、『外国人労働者の確保』、『女性性が活躍できる職務分担』	●会員の減少の課題『勧誘しても興味を持たれない』、『親会加入の事業所でも青年部ゼロの所がある』 解決策『興味を引くようなメリットを創出』、『次期経営者にこだわらず、社員を入れてもらう』 ●活動の課題『会員不足・資金不足によりこれまで出来た事業規模を縮小せざるを得ない』 解決策『少人数でも持続可能なあり方を模索する』、『FAB以外の協力業者からの求人や参画を募る』	
26. 京都	人手不足、建築業界全体的での人材不足。なぜ担い手がいないかの検証、人を増やすためにどのようなことをするかを議論する必要があります。私たちの業界が楽し、やりがいのある仕事だということ。スペシャリストが多く存在し、人に夢を与えられる職業だということなど。	メリットを全面的にアピールする必要がある。一子相伝みたいな業界体制に問題ありだと思っています。会社を存続させるための仕組み作り。経営者なのか自営業なのか？各社それぞれの規模と会社経営の持続を目的として何を行うか？解決策はわからないのですが、私たちが何をしたいのかを今一度検証する必要があると思う。	業界全体が社会に与える影響なども考える。鉄鋼を必要とされている業界での自社のポジショニングを確認することなども必要。異業種との交流も含めて検討する必要があります。
27. 大阪	若者が働きやすい環境づくりが必要。 1. 工場内のエアコン導入 2. 育児休暇や有給を申請しやすい環境(使う際仲間や上司の顔色をうかがわなければならぬ現状) 3. 全国的に人手不足だと思う。 全国の人材を募集する窓口を一つ作り、そこから就職希望者にファブを選ばせるのはいいのではと思います。	1. 会員でありながら自分たちの世代じゃないからと言う理由で事業に参加しない。 2. 自社の若手を青年部に入会させないファブが多数。 1. 2の解決策は若手に世代交代をするべき。 3. 鉄鋼業界を一般の方に知ってもらうために活動したいが予算が足りない。	

都道府県	議題① 「私たちの業界、自社が抱えている課題」 人手不足、人材確保、人材育成についての悩み また、それに対する解決策	議題② 「青年部活動に関する課題」 会員の減少と活動についての悩み また、それに対する解決策	左記以外で意見・質問等があれば
28. 兵庫	募集はしているが中々入ってこない。 採用しても中々続かない。 解決策の一つとしては年間休日を増やす事。 日本人の若い世代はとにかく土曜日に休みがほしい。 (週休2日制) 外国人研修生はお金が好きで、土曜日も働きたい。 工場内統制をとっていきいくのは難しい 土曜日を休みにした場合の月曜着の積込に影響 土曜積みは出来ないかと理解してもらっている	会員数は他県より多いが実情としては半分くらいの人数に感じる。 7支部あるが会員が親会との兼任してたり、優先順位が低い為、参加者が少なく支部毎の活動自体が少ない。 より魅力的な活動を行う事が参加人数、会員の増加につながると思う ある支部では会員増加に向けて役員候補を呼び勉強会を開き、親睦を深める活動をしている。	
30. 和歌山	若者の定着率の低下、職人の高齢化により、出ていく人数の方が多くなっていることに不安を感じています。対策としては、金銭面での優遇が有効と考えますがそれでもできないのが現状です。	会員が年齢制限により退会する際、経営側ではない方でも入れ替わりで他の人材の入会をお願いしていききたいと思っています。	特になし
31. 鳥取 32. 島根	人材育成が難しい 勉強会の実施や、マニュアルを作成中 人手不足：CADオペレーターや事務作業員の不足がある。残業が増えてくる。 解決策：受けきれない物件は外注に出したり等の対応をしかでできていない。 人材確保：現状は知り合いの伝手で人材を確保できていて、工場の規模を考えると不足はない。 人材育成：1. 知識不足や他社の取り組みなどを知らない人材が多い。自社だけでなく広い視野で考え、レベルアップをしていきたい。 2. 安全への意識がまだまだ薄いところがある。 解決策：1. 他社に工場見学をさせてもらい、レイアウトや加工の仕方、設備などを勉強しに行く企画をしている。 2. 工場内にKYボードを置き、安全スローガンを掲げた	なし 親会と青年部会を掛け持ちされている会社が多いことから、親会のスケジュールを踏まえた日程を組まなければならないところがあるのが少し難点である。 また、掛け持ちをしている方々は多忙になってしまいうため、青年部会は免除にしたいが後継者がおらず会員数が減少してしまいうため、現状維持状態である。社員を会員に出してもらうことも考えたが、Hグレード以下は人員を取られてしまうと回らなくなる等の意見があり若返りが難しい。 10年後には、親会なのかな青年部会なのかわからない状態になる可能性が懸念される。	
33. 岡山	若手人材不足により5年～10年先に不安がある。 今の所、溶接工の外注や溶接ロボットの導入などで不安を取り除いている。	今期になりメンバーが若手に切り替わり、前向きにみんな活動に取り組んでくれている。今の所悩みはない。	
34. 広島	若手の人材不足、技術継承 解決策：求人方法の工夫・改善、技術のマニュアル化、DX化、機械化 技術の海外流出 解決策：業界の魅力向上(給与・休日・やりがい)、少子化対策 仕事の山谷 解決策：長い目で見た工程管理(元請との共有)、同業者との繋がりが	青年部に所属はしているが、集まるのは役員が多く、一般の会員が集まる機会が少ない。 講習会など社業に有益な事を開催しても、そこで仲が深まるとは思えず。結局は企画や立案をしている役員だけが仲良くなる。事業を開催する事も良い事だが、まずはおもしろくないと の向上、青年部の存在意義を徐々に学ぶのではないかと思います。 そして、青年部が存続する目的を明確にしないといけないと思います。 私が思う青年部の意義とは、経営者となる前から同業の仲間と知り合い、良きライバルとして仲を深めることで、将来経営者となった際に、相談・協力できるのはもちろんの事。仕事がバツィングした際など、昔からの人と成りが分かつていたら少々の事では凌ぎあいにいらないのではと思います。凌ぎあいにいなければ人間不信が生まれ価格競争にもなりまします。 そもそも組合がある意義にも繋がると考えます。私は親同士、そしてその子供同士の繋がりが経緯させてももっているもので、そこにも感じ入るものがあります。 近年、青年部会員の減少からサラリーマンの方も入会できるように、平日の動きやすい日程で事業をおこなったりする取組をしておりますが、目的を踏まえればどういった人を会社から出さないといいけないかも自ずと決まってくるのではと思います。	特にありません。

都道府県	議題① 「私たちの業界、自社が抱えている課題」 人手不足、人材確保、人材育成についての悩み また、それに対する解決策	議題② 「青年部活動に関する課題」 会員の減少と活動についての悩み また、それに対する解決策	左記以外で意見・質問等があれば
35. 山口	(悩み) ・求人を出していても、応募が少なく、特に技術職の人が集まりにくい。 ・各班の班員をまとめる、リーダー的な役割になることを避ける。こちらが指名、依頼しても嫌がる。 (解決策) ・求人広告を変えていく。 (社の風景、社員の声、交流の様子などを掲載する) ・班のリーダー、長になる人材に手当をつける。	ほぼ毎年、卒会者がいる一方、新規青年部入会者の方が少なく、会員数は減少してきているのが現状です。 私達の県で言えば、入会して間もない方や、まだ入会されていない若い方などは組合の活動内容、存在意義等を全く知らないと思います。 解決策として、 ・役員だけでなく、組合員全員が集まれる場を増やす。 ・組合員に社に戻ってPRしてもらい、講習会等の場を設け、組合員以外の方が参加できる場を設け、組合活動に興味を持ってもらう。	
36. 徳島	人手不足に対しては、人口減少していく中で現状がまだマシな方になっている。 人手不足とは無縁で毎年入社されている会社もある。 人材確保には、福利厚生、就業規則の改善、職場環境作り、積極的な採用活動が必要で、ハローワークや工業系の高校へのアプローチ、工場見学など外部から来て頂く企業を知ってもらう事が必要 人材育成については、これまでも職人と呼ばれた人達にも、コンプライアンス研修を受けてもらい、若手社員へハラスメントとなるような言動や、行動を無くしていく。若手社員には、マナー研修を受けてもらい、ベテラン社員と接する際に失礼の無いような行動をしてもらう。	現状、親会と青年部の両方に参加している方がほとんどになってきている。経営者だけではなく社員を参加させて、他社との勉強会や、交流を図る場としていく事も大事ではないか。まだ全構協に入っていない会社もあるので、メリットを示しつつ新規の会社を巻き込んでいく。	
37. 香川	人材確保：求人は各社出していると思うが、新卒、既卒からの就職希望順位はかなり低いと思う。 年間休日の増加、給与の増加を行っていない状況が続いている。他社さんで、今年高卒の求人を出しているが、応募すらない状況が続いている。他社さんで、今年から実習生を受け入れを始めたところがある。 休日を増やすにしても、自社だけではどうにもならない事がある。今は、福利厚生を充実させる方向に重きを置いている。	特に悩みはありません	
38. 愛媛	働き方改革での製作加工時間の確保。	退会される方には、代わりに社員の方に入会してもらったり、新たに入会してもらい会員数はなんとか維持できているが、ここ数年、一部の会員のみで役員を交代しながら続いている。他県さんの具体的な青年部活動を教えて頂きたいです。	
39. 高知	人材育成	なし	
40. 福岡	(悩み) ・少子高齢化、有効求人倍率の上昇、仕事に対する価値観の変化など考えると、今後も続く悩みであるが、即効性のある手段は全く出来るところから手をつけている状況。 ・人材育成については、Mグレードかつ小規模である我々では、資格を取得させるのにも、一人あたりの取得数も多く、当人たちの負担もあるが、どこか社員から足元を見透かされている面も見受けられる。 ・取得時の報酬制度、月々の手当等支給もしているが、頭打ち感もある。 ・技術者や熟練工の不足が悩みである。 ・求人票を出しても応募が少ない状態が長期にわたっている。 ・若い世代の技術者が少なく、業界に対する関心が薄れている。 ・技術の伝承や育成プログラムの整備が急務だが、どのように取り組めばよいのか分からない。 (解決策) ・業界のイメージアップ、会社のイメージアップ、労働環境の改善、スキルアップサポート、業務効率化、生産性向上、DX化、など総合的に幅広く改善していく。 ・完全週休2日制に移行して1年半の現在、人手不足は以前より改善されてきた。 ・福利厚生の充実：給与体系や、柔軟な勤務時間、育児休暇の充実など。 ・社内イベントを通じて、従業員の絆を深め、良好な職場環境を築く。 ・若者だけでなく、シニア層や女性、未経験者も積極的に採用していく。 ・業界団体との協力：業界団体と連携し、共同で人材育成プログラムを実施し、業界全体の底上げを図る。 ・講習会等の情報を集め積極的に参加させる。	悩みはありません。 会員同士が、悩み・困った事・分らない事などを共有し、解決のきっかけが作れる様なネットワークが構築出来れば良いと思う。	
43. 熊本			

都道府県	議題① 「私たちの業界、自社が抱えている課題」 人手不足、人材確保、人材育成についての悩み また、それに対する解決策	議題② 「青年部活動に関する課題」 会員の減少と活動についての悩み また、それに対する解決策	左記以外で意見・質問等があれば
44. 大分	弊社の課題ですが、現在工場の人員を増員でき、工場加工の人手不足は解消できなくなりました。しかし、増員した弊害が受注減の為か、工場が遊ぶことが目につくようになっています。加工図が間に合わない事も要因にあると悪いですが、バランスがとれていません。今ですとこのような状況だった気もしますが、皆さまはどうされているのでしょうか？	会員の減少が問題になっており、前期から5名ほど増えましたが、また数年で卒業される方も多くいます。やはりまだ少ないと感じます。各社1名を目標に声をかけをしていきませんが、何か解決策がありますでしょうか？	
45. 宮崎	確認申請待ちや図面承認待ち等で工場が空くタイミングに仕事がない時に何をさせれば良いかを悩んでいます。	青年部活動は皆参加率が高いので悩みの多いのですが、新規入会候補者が見つからないので、これから数年で卒業して人数が減るのが課題です。	
46. 鹿児島	人手不足、人材確保、人材育成 全てです。	会員にプラス、または興味を持ってもらえるような事業・活動を行うことが必要であると考えます。	
47. 沖縄	人手不足（若年層、新卒・中途採用） ＝工業高校へ溶接指導や職場体験受入 人材不足（CAD）＝他業種、未経験者の採用 ⇒育成 人材育成（離職対策）＝休日取得、残業減、勉強会、業務適正 ⇒配置転換	遠隔地域、空路の為、ブロック会活動に多数参加が難しい	